

第41回 河内長野市民意識調査

＜地域福祉＞と ＜斎場整備＞について



平成26年度

河内長野市

目 次

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 回収状況	1
4. 報告書の見方	1
II. 回答者の属性	2
1. 性別（問 40）	2
2. 年齢（問 41）	2
3. 家族構成（問 42）	3
4. 結婚（問 43）	3
5. 居住年数（問 44）	4
6. 前居住地（問 45）	4
7. 仕事の有無（問 46）	5
8. 就業状況（問 46）	5
9. 居住地区（問 49）	6
III. 調査結果の分析	7
1. 地域とのかかわりについて	7
2. 地域の福祉サービスなどについて	25
3. 「つながり」などについて	31
4. 市営斎場建替事業について	41
5. 市政全般について	46
IV. まとめ	57
1. 地域とのかかわりについて	57
2. 地域の福祉サービスなどについて	58
3. 「つながり」などについて	58
4. 市営斎場建替事業について	59
5. 市政全般について	59
6. 経年比較	60
V. 資料（調査票）	64

I. 調査の概要

1. 調査の目的

＜地域福祉＞と＜斎場整備＞について、それぞれに対する市民意識を把握し、今後の施策推進のための参考資料とする。

2. 調査の設計

(1) 調査対象

住民基本台帳（基準日：平成 26 年 6 月 30 日）から無作為に抽出した満 20 歳以上 90 歳未満の市民 2,000 人

(2) 調査方法

郵送による配布及び回収

(3) 調査期間

平成 26 年 7 月 25 日から 8 月 8 日

(4) 調査内容

- 地域とのかかわりについて
- 地域の福祉サービスなどについて
- 「つながり」などについて
- 市営斎場建替事業について
- 市政全般に関連した内容について

3. 回収状況

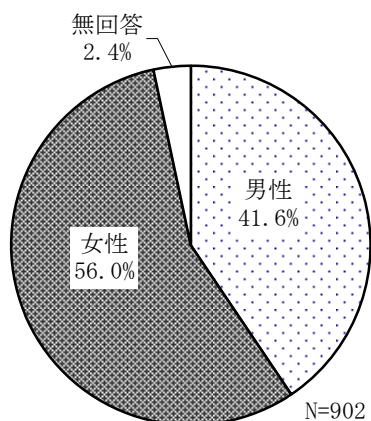
配付数	回収数		有効回収数			有効回答率
	902 票	うち無効票	902 票			
2,000 票				男性	女性	不明
		0 票	375 票 41.6%	505 票 56.0%	22 票 2.4%	

4. 報告書の見方

- (1) 比率は、原則として各設問の不明・無回答を含む集計対象総数（副設問では設問該当対象数）に対する百分比（%）を表している。1 人の対象者に複数の回答を求める設問では、百分比（%）の合計は 100.0%を超える。
- (2) 百分比（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体の示す数値とが一致しないことがある。
- (3) 分類別の表中の百分率（%）は、すべて各分類項目の該当対象数を 100.0%として算出した。
- (4) 図表にある「N」は、集計対象票数（あるいは、分類別の該当対象数）を示し、比率は「N」を 100.0%として表した。
- (5) クロス集計の表内の「全体」には、性別不明、年齢不明、地域不明も含む。
- (6) 表の単位は、2 段の場合、上段が実数、下段が構成比（%）、1 段の場合、構成比（%）である。
- (7) クロス集計内の網掛けは、クロス項目（表側の項目）ごとの上位 2 項目を示しており、数値が大きくなるに従って網掛けの色が濃くなる。
- (8) 本調査の『1. 地域とのかかわりについて』『2. 地域の福祉サービスなどについて』『3. 「つながり」などについて』では、平成 21 年度（N=1004）と平成 15 年度（N=1447）に行った調査と比較を行っている。

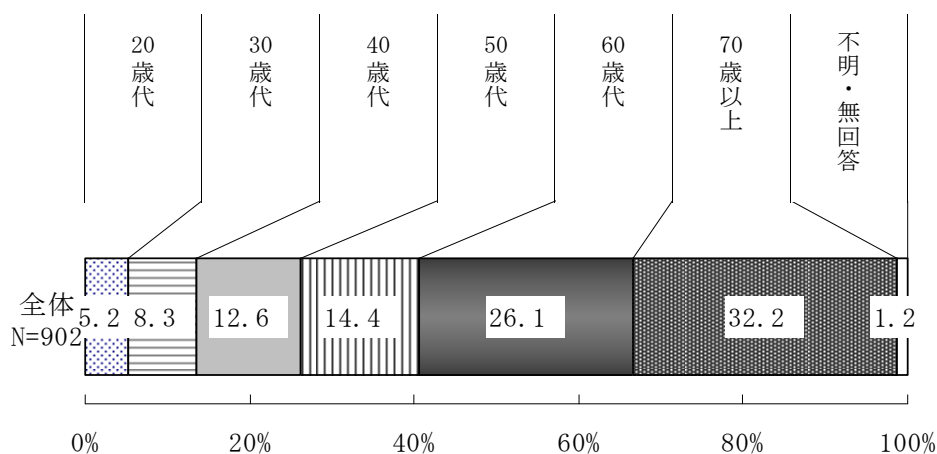
Ⅱ. 回答者の属性

1. 性別 (問 40)



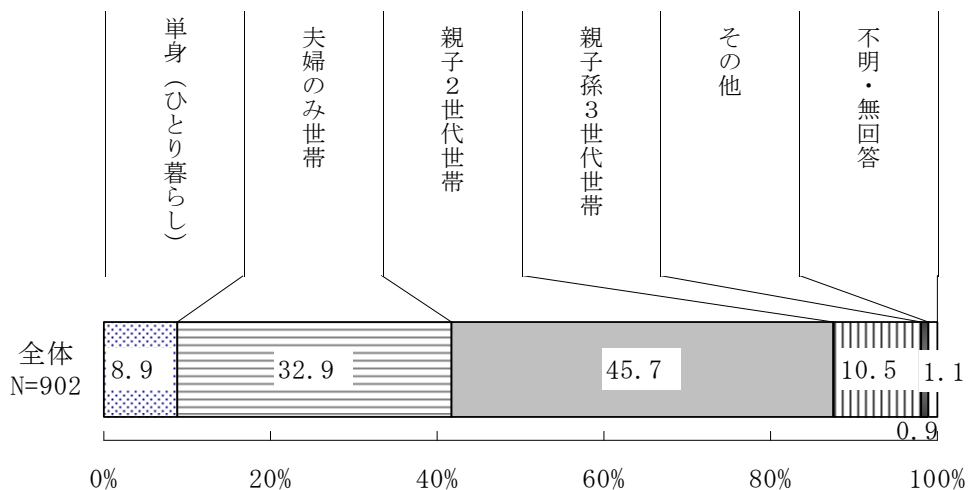
回答者の性別は、「男性」が 41.6%、「女性」が 56.0%で、女性の方が 14.4 ポイント多い。

2. 年齢 (問 41)



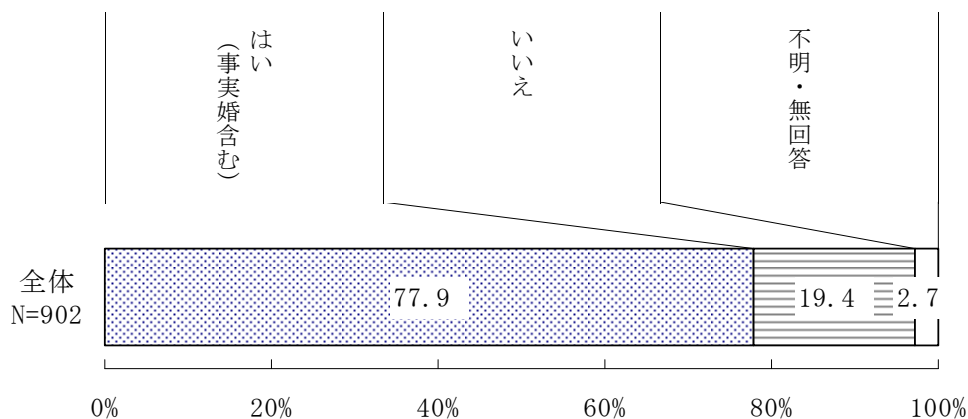
年齢は、「60 歳代」が 26.1%、「70 歳以上」が 32.2%で 60 歳以上が全体の 6 割近くを占めており、次に「50 歳代」が 14.4%となっている。

3. 家族構成 (問 42)



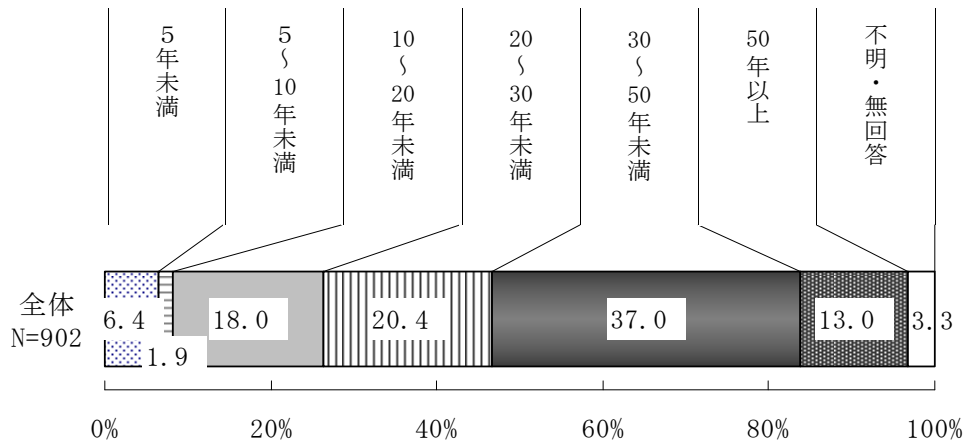
家族構成は、「親子2世代世帯」が45.7%で最も多く、次に「夫婦のみ世帯」が32.9%、「親子孫3世代世帯」が10.5%、単身 (ひとり暮らし) が8.9%となっている。

4. 結婚 (問 43)



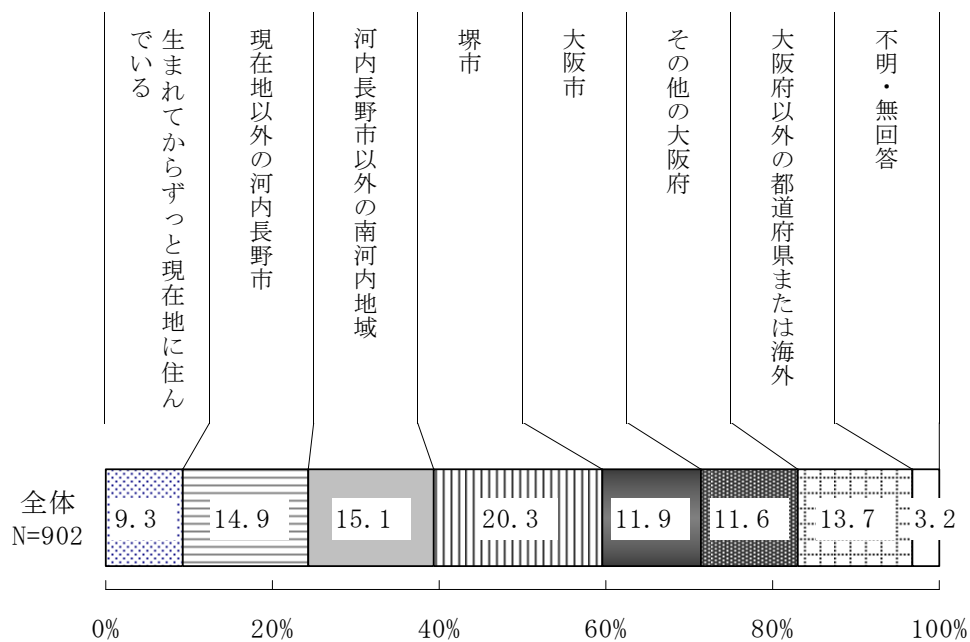
現在の婚姻状況については、「はい (婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係にある場合も含む)」が77.9%、「いいえ」が19.4%となっており、結婚している人が8割近くを占めている。

5. 居住年数（問 44）



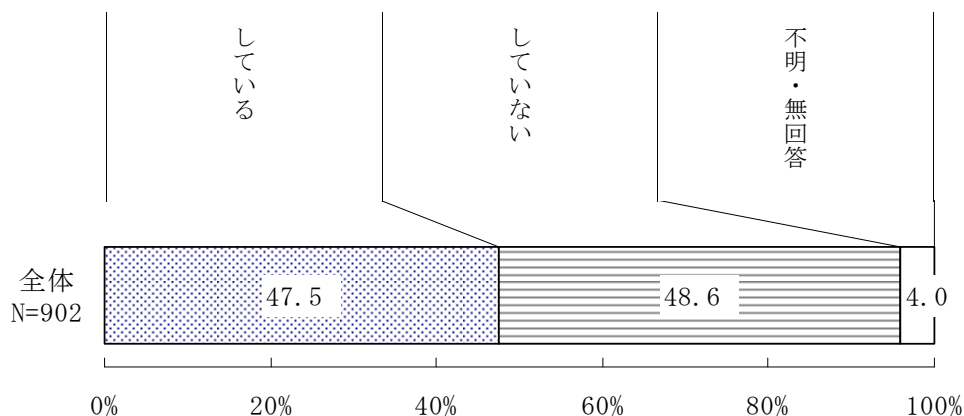
河内長野市での通算居住年数は、「30～50年未満」が37.0%で最も多く、次いで「20～30年未満」が20.4%、「10～20年未満」が18.0%、「50年以上」が13.0%となっており、10年以上の長期居住者が9割近くとなっている。

6. 前居住地（問 45）



以前の居住地は、「堺市」が20.3%で最も多く、次いで「河内長野市以外の南河内地域」が15.1%、「現在地以外の河内長野市」が14.9%とほぼ同率となっている。以前から河内長野市内に住んでいる人は24.2%となっている。

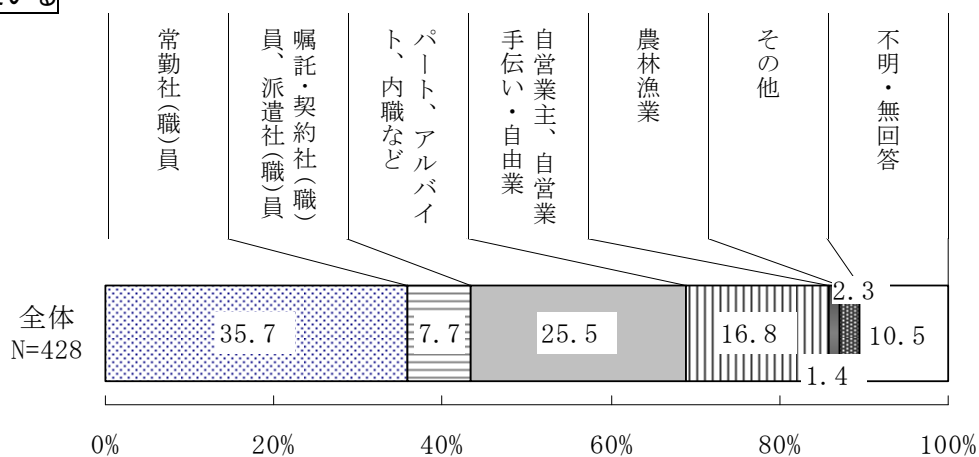
7. 仕事の有無（問 46）



回答者の年齢層が高いことに起因して、仕事（継続的に就労し、収入を伴うもの）をしていない人が 48.6% で仕事をしている人（47.5%）の割合をわずかに上回っている。

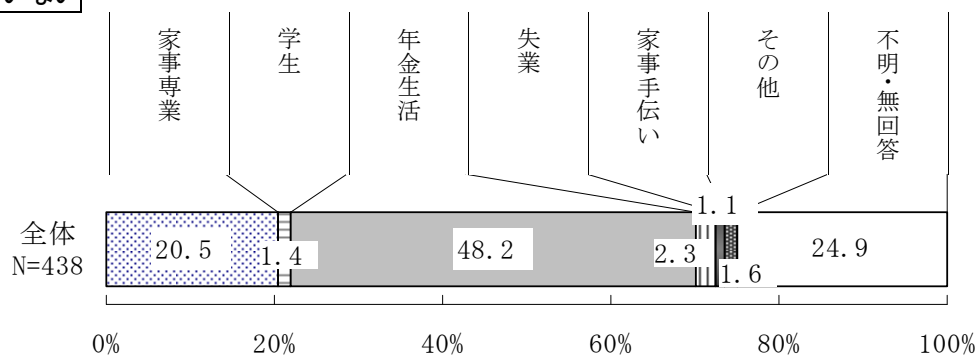
8. 就業状況（問 46）

仕事をしている



仕事をしている人の就業形態は、「常勤社（職）員」が 35.7% で最も多く、次に「パート、アルバイト、内職など」が 25.5%、「自営業主、自営業・手伝い・自由業」が 16.8% の順となっている。

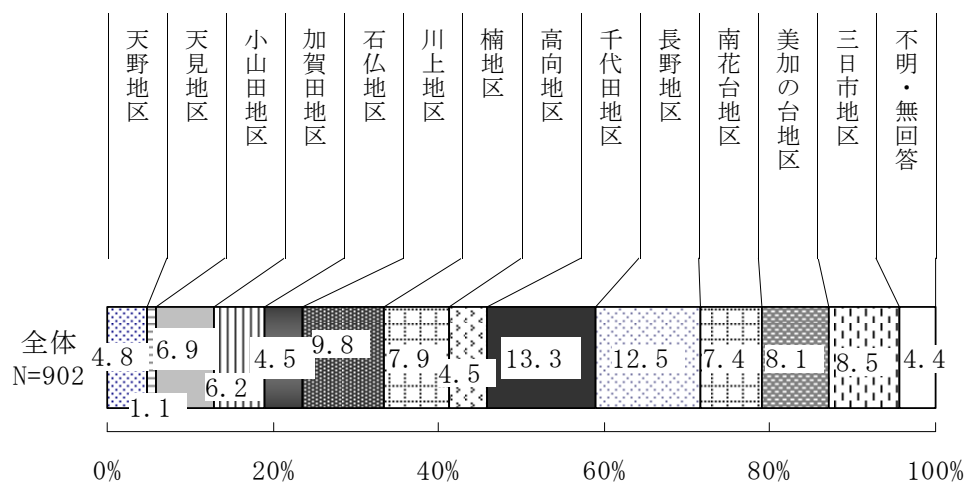
仕事をしていない



仕事をしていない人については、「年金生活」が 48.2% で最も多く、次に「家事専業」が 20.5% となっている。

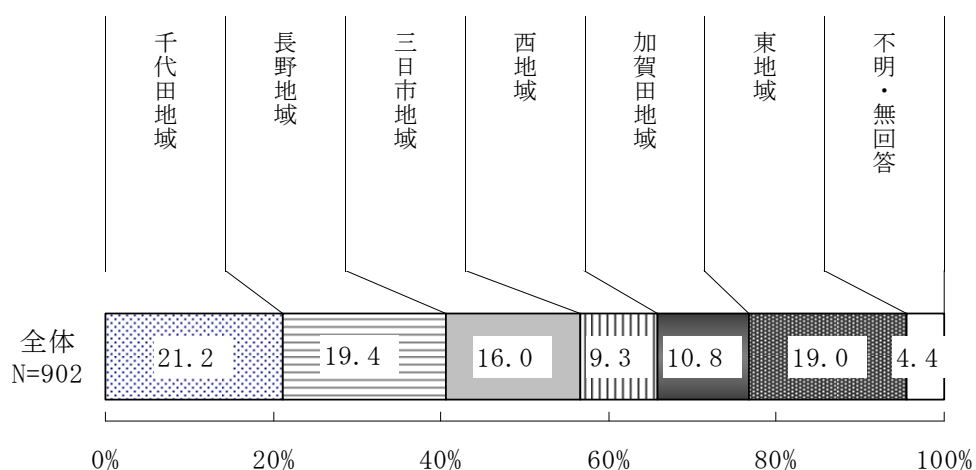
9. 居住地区（問 49）

【地区別】



居住地区は「千代田地区」が 13.3%で最も多く、次いで「長野地区」が 12.5%で続いている。上記以外の地区はそれぞれ 1 割未満となっている。

【地域別】



【地域の分類】

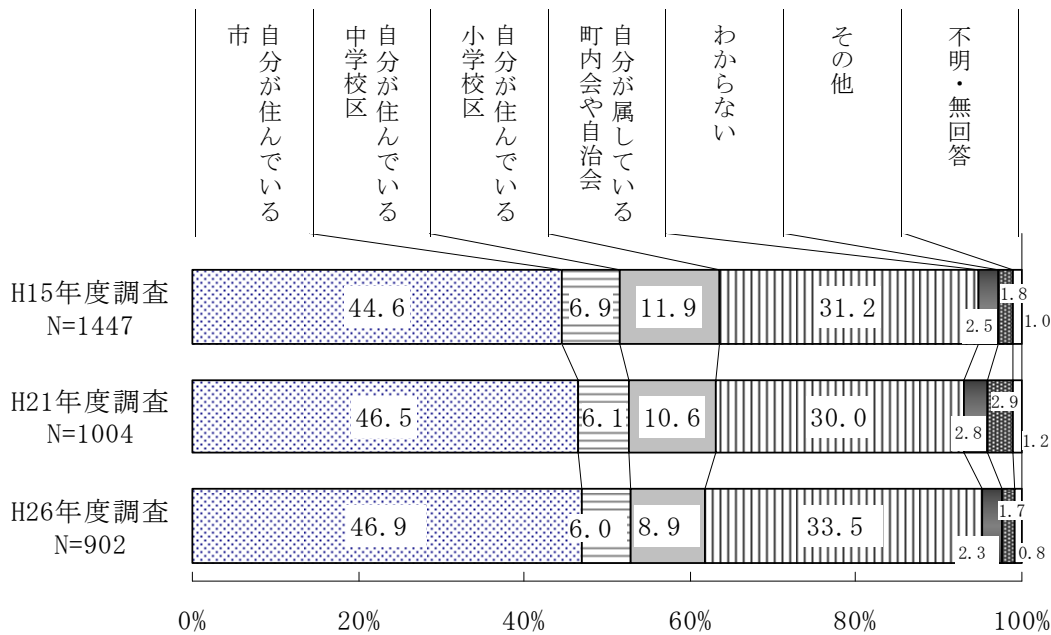
- 千代田地域 一楠地区、千代田地区
- 長野地域 一小山田地区、長野地区
- 三日市地域 一南花台地区、三日市地区
- 西地域 一天野地区、高向地区
- 加賀田地域 一加賀田地区、石仏地区
- 東地域 一天見地区、川上地区、美加の台地区

地域別でみると、「千代田地域」が 21.2%で最も多く、「長野地域」(19.4%)と「東地域」(19.0%)がほぼ同率となっている。

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 地域とのかかわりについて

問1. あなたが「自分の地域」と感じておられるのはどの範囲ですか。(1つだけ○)



『自分の地域』と認識している範囲は、「自分が住んでいる市」が 46.9%で最も多く、約半数を占めている。次に「自分が属している町内会や自治会」が 33.5%となっており、広域と狭域にはほぼ二分されている。

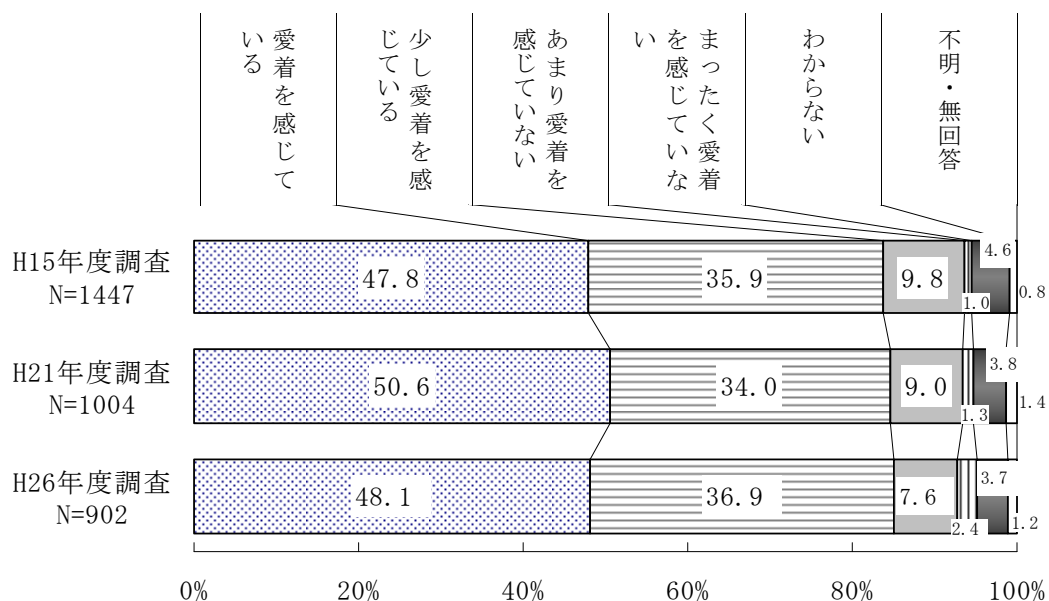
過去調査と比較しても、大きな差はみられない。

【年代別】

	全体	自分が住んでいる市	自分が住んでいる中学校区	自分が住んでいる小学校区	自分が属している町内会や自治会	わからない	その他	不明・無回答
全体	902	46.9	6.0	8.9	33.5	2.3	1.7	0.8
20歳代	47	55.3	17.0	10.6	8.5	6.4	2.1	-
30歳代	75	70.7	9.3	8.0	8.0	4.0	-	-
40歳代	114	44.7	12.3	15.8	21.1	3.5	2.6	-
50歳代	130	46.2	7.7	10.0	33.1	0.8	2.3	-
60歳代	235	43.8	4.3	6.0	41.3	1.7	2.1	0.9
70歳以上	290	42.1	1.7	8.3	43.1	2.1	1.0	1.7

年代別にみると、30歳代では「自分が住んでいる市」が 70.7%で広域の認識が強い。一方で、60歳以上では「自分が属している町内会や自治会」が 4割を超えており、年代が高いほど、割合も多くなっている。

問2. 今お住まいの地域に対して、どのように感じておられますか。(1つだけ〇)



「愛着を感じている」(48.1%)と「少し愛着を感じている」(36.9%)を合計すると、85.0%が地域への愛着を感じている。

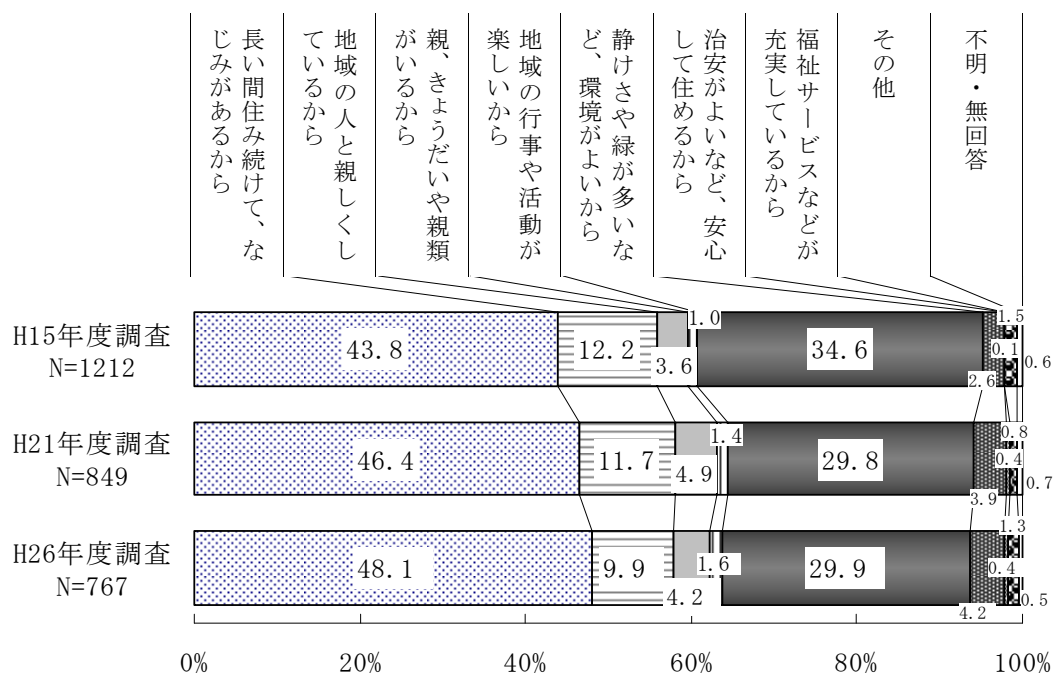
過去調査と比較しても、大きな変化はみられない。

【居住年数別】

	全体	愛着を感じている	少し愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	まったく愛着を感じていない	わからない	不明・無回答
全体	902	48.1	36.9	7.6	2.4	3.7	1.2
5年未満	58	17.2	46.6	19.0	8.6	8.6	-
5～10年未満	17	23.5	64.7	5.9	5.9	-	-
10～20年未満	162	36.4	46.3	7.4	3.1	6.2	0.6
20～30年未満	184	46.7	37.5	7.6	2.7	3.8	1.6
30～50年未満	334	53.6	35.3	6.3	1.2	2.4	1.2
50年以上	117	67.5	21.4	6.0	0.9	1.7	2.6

居住年数別にみると、年数が長いほど地域への愛着が強まる傾向にあり、「30～50年未満」と「50年以上」では「愛着を感じている」と「少し愛着を感じている」の合計が9割近くを占める。

問3. 問2で「1. 愛着を感じている」「2. 少し愛着を感じている」とお答えの方にいかがいたします。お住まいの地域に愛着を感じているのはどういうことからですか。(1つだけ〇)



「長い間住み続けて、なじみがあるから」が48.1%で最も多く、次いで「静けさや緑が多いなど、環境がよいから」(29.9%)、「地域の人と親しくしているから」(9.9%)の順となっている。

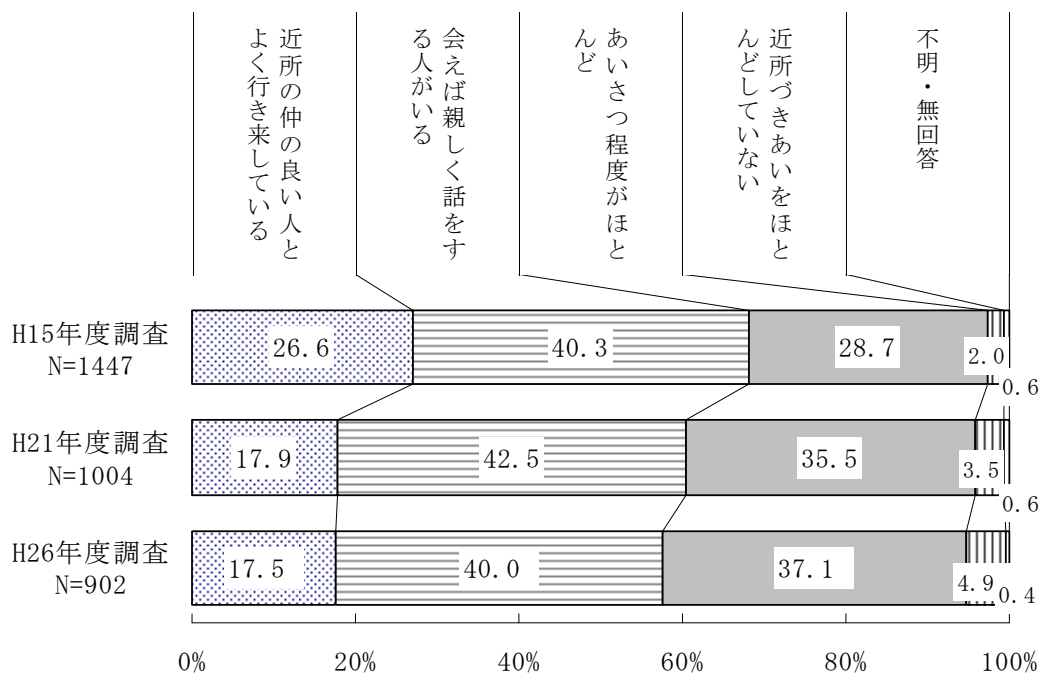
平成15年度調査と比較すると、「長い間住み続けて、なじみがあるから」の割合は今回の調査の方が4.3ポイント多く、「静けさや緑が多いなど、環境がよいから」が4.7ポイント少なくなっている。

【居住年数別】

	全体	長い間住み続けて、なじみがあるから	地域の人と親しくしているから	親、きょうだいや親類がいるから	地域の行事や活動が楽しいから	静けさや緑が多いなど、環境がよいから	治安がよいなど、安心して住めるから	福祉サービスなどが充実しているから	その他	不明・無回答
全体	767	48.1	9.9	4.2	1.6	29.9	4.2	0.4	1.3	0.5
5年未満	37	8.1	8.1	18.9	5.4	45.9	2.7	2.7	5.4	2.7
5～10年未満	15	6.7	20.0	13.3	-	53.3	-	6.7	-	-
10～20年未満	134	29.1	8.2	3.7	2.2	47.8	7.5	-	0.7	0.7
20～30年未満	155	45.8	12.3	3.2	0.6	31.0	5.2	-	1.9	-
30～50年未満	297	56.9	8.8	2.4	2.0	26.6	2.4	-	0.7	0.3
50年以上	104	69.2	10.6	4.8	-	7.7	4.8	-	1.9	1.0

居住年数別にみると、「50年以上」では「長い間住み続けて、なじみがあるから」が7割近くにのぼる。20年未満では、「静けさや緑が多いなど、環境がよいから」が4～5割台となっている。

問4. あなたの近所づきあいの程度はどのようなものですか。(1つだけ○)



「会えば親しく話をする人がいる」が40.0%で最も多く、次に「あいさつ程度がほとんど」が37.1%、「近所の仲の良い人とよく行き来している」が17.5%となっている。「近所づきあいをほとんどしていない」は4.9%である。

平成15年度調査と比較すると、今回調査の方が「近所の仲の良い人とよく行き来している」が9.1ポイント少なく、「あいさつ程度がほとんど」が8.4ポイント増えている。

【年代別】

	全体	近所の仲の良い人とよく行き来している	会えば親しく話をする人がいる	あいさつ程度がほとんど	近所づきあいをほとんどしていない	不明・無回答
全体	902	17.5	40.0	37.1	4.9	0.4
20歳代	47	2.1	17.0	63.8	17.0	-
30歳代	75	6.7	25.3	54.7	13.3	-
40歳代	114	10.5	39.5	44.7	5.3	-
50歳代	130	16.2	39.2	41.5	3.1	-
60歳代	235	19.1	43.4	34.5	2.1	0.9
70歳以上	290	24.5	45.5	25.9	3.4	0.7

年代別にみると、70歳以上では「近所の仲の良い人とよく行き来している」が24.5%と他の年代に比べて多く、20歳代と30歳代は「あいさつ程度がほとんど」が5～6割台となっている。

【居住年数別】

	全体	近所の仲の良い人とよく行き来している	会えば親しく話をする人がいる	あいさつ程度がほとんど	近所づきあいをほとんどしていない	不明・無回答
全体	902	17.5	40.0	37.1	4.9	0.4
5年未満	58	3.4	13.8	60.3	22.4	-
5～10年未満	17	5.9	23.5	58.8	11.8	-
10～20年未満	162	14.2	37.7	44.4	3.7	-
20～30年未満	184	9.8	38.0	44.6	7.1	0.5
30～50年未満	334	20.4	46.7	30.2	2.4	0.3
50年以上	117	31.6	45.3	21.4	-	1.7

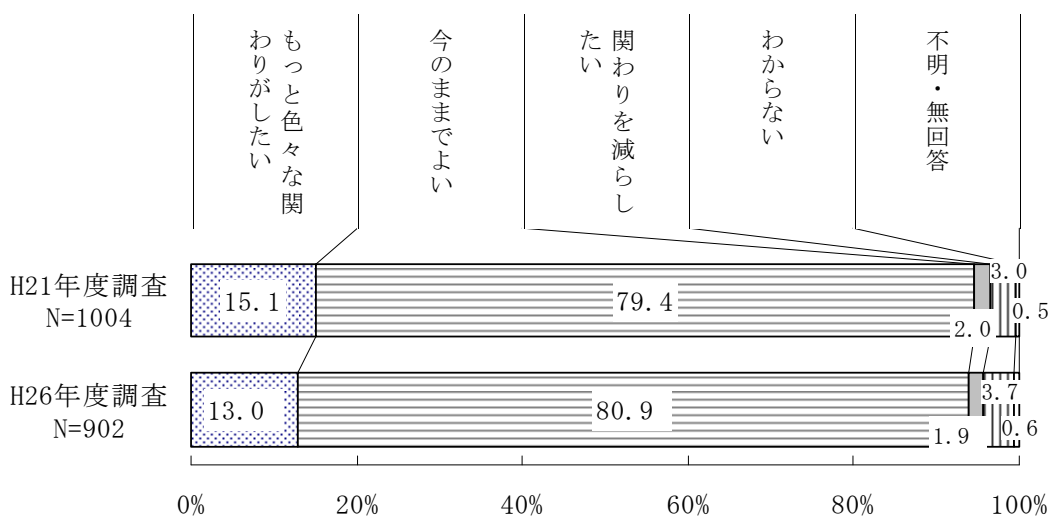
居住年数別にみると、年数が長くなるほど、近所づきあいも親密になる傾向にあり、「50年以上」では「近所の仲の良い人とよく行き来している」が31.6%と多くなっている。

【愛着度別】

	全体	近所の仲の良い人とよく行き来している	会えば親しく話をする人がいる	あいさつ程度がほとんど	近所づきあいをほとんどしていない	不明・無回答
全体	902	17.5	40.0	37.1	4.9	0.4
愛着を感じている	434	25.6	44.7	27.9	1.8	-
少し愛着を感じている	333	12.3	42.3	40.8	4.5	-
あまり愛着を感じていない	69	5.8	21.7	62.3	10.1	-
まったく愛着を感じていない	22	-	-	59.1	40.9	-
わからない	33	-	21.2	63.6	15.2	-

愛着度別にみると、愛着を感じている人ほど、近所づきあいも親密な傾向にある。

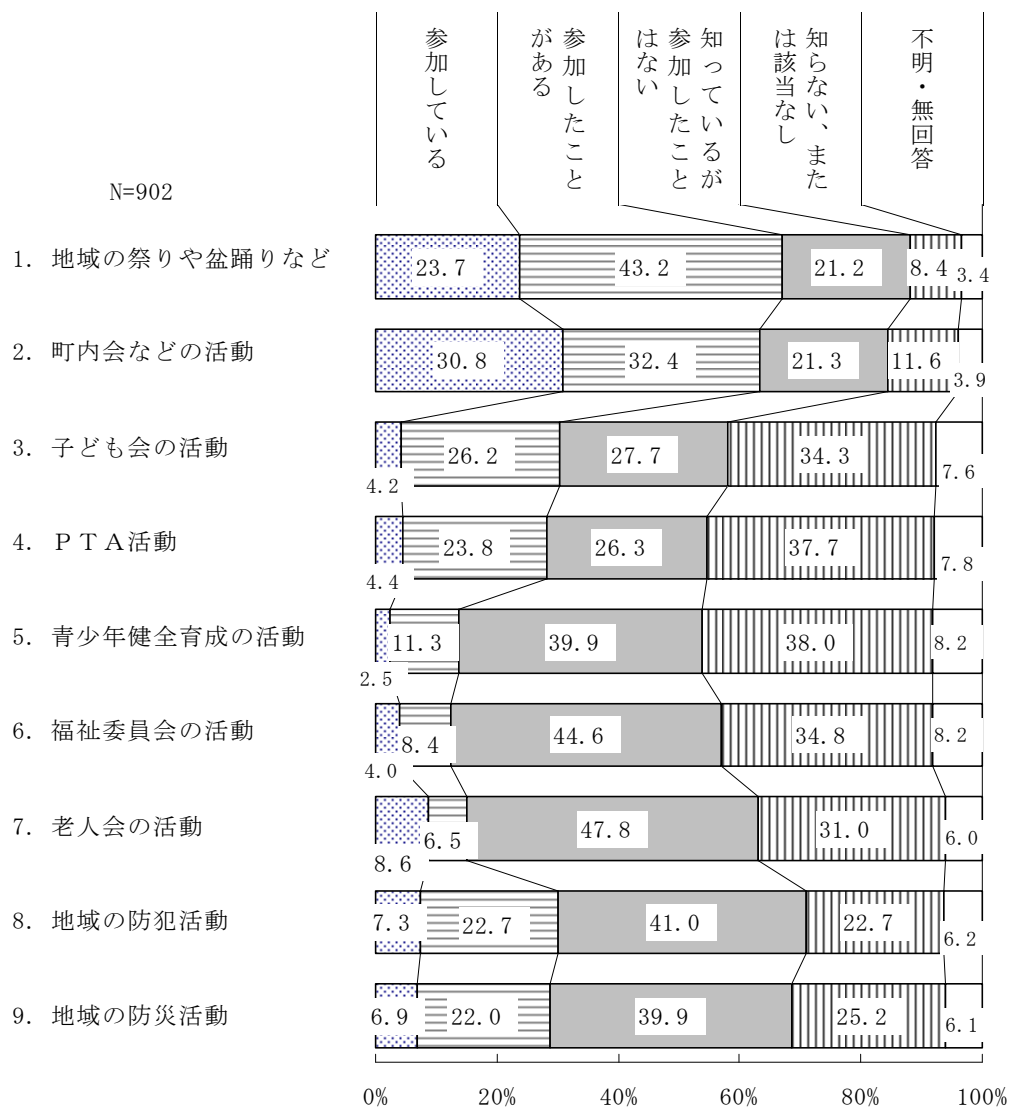
問5. あなたは近隣や地域ともっと深く関わりたいと思いますか。(1つだけ○)



「今のままでよい」が最も高く、80.9%を占めている。次に「もっと色々な関わりがしたい」が13.0%となっている。

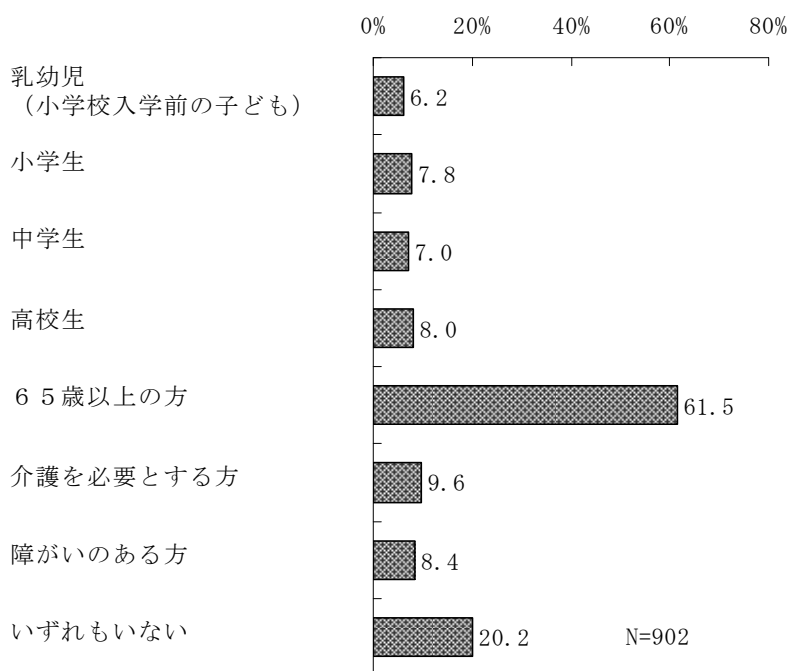
平成21年度調査と比較しても大きな差はみられない。

問6. お住まいの地域で行われている行事や活動の参加状況についておうかがいします。(それぞれの項目の該当する番号に1つだけ○)



[地域の祭りや盆踊りなど] [町内会などの活動] は『参加』（「参加している」「参加したことがある」の合計）がそれぞれ66.9%、63.2%と多い。一方、[福祉委員会の活動] [老人会の活動] は、「知っているが参加したことはない」が4割台、「知らない、または該当なし」が3割台と参加割合、認知度がともに低い。

問7. あなたが現在一緒にお住まいのご家族の中に、次のような方（あなた自身も含みます）はおられますか。（あてはまるものすべてに○）



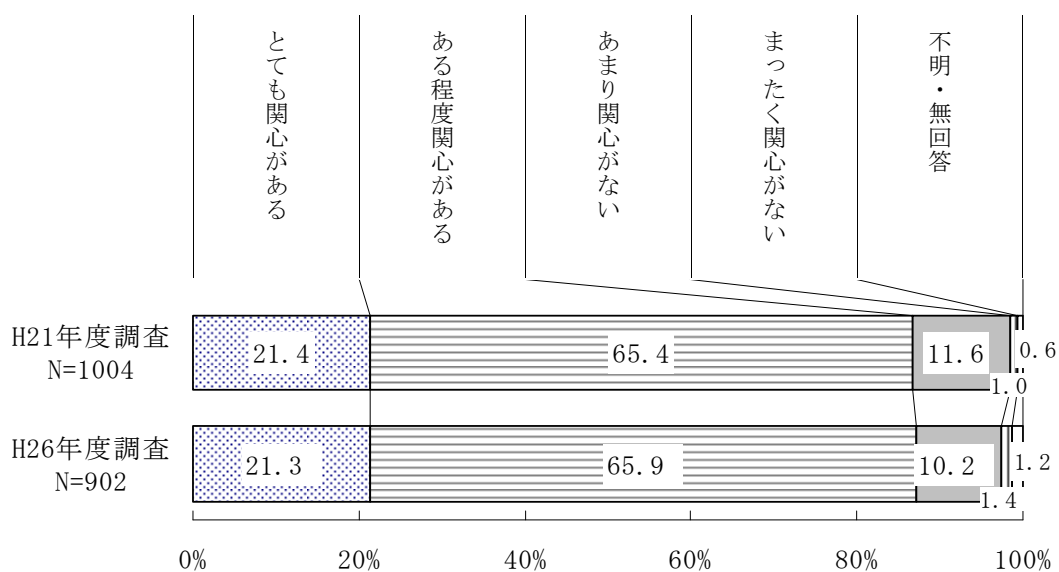
「65歳以上の方」が61.5%で最も多い。「いずれもない」が20.2%となっており、8割近くが高校生以下の子どもや高齢者、要介護者、障がい者と同居している。

【地域別】

	全体	乳幼児 (小学校入学前の子ども)	小学生	中学生	高校生	65歳以上の方	介護を必要とする方	障がいのある方	いずれもない	不明・無回答
全体	902	6.2	7.8	7.0	8.0	61.5	9.6	8.4	20.2	1.7
千代田地域	191	5.8	9.4	8.9	8.4	46.1	5.8	5.2	29.8	4.2
長野地域	175	6.3	9.7	6.9	6.9	68.0	12.6	13.1	14.9	-
三日市地域	144	9.0	9.7	9.7	11.8	54.2	6.3	5.6	20.1	2.1
西地域	84	6.0	7.1	3.6	3.6	82.1	13.1	9.5	9.5	-
加賀田地域	97	7.2	9.3	5.2	8.2	61.9	8.2	7.2	19.6	1.0
東地域	171	4.1	2.3	5.8	8.2	62.0	11.1	7.6	23.4	1.8

地域別にみると、西地域で「65歳以上の方」82.1%と多い。三日市地域では高校生以下の子どもと同居している若い世帯が多い。千代田地域は「いずれもない」が29.8%で他の地域に比べて多い。

問8. あなたは、高齢者や子ども、障がいのある方、その他のさまざまな社会的立場の弱い人々をとりまく地域の福祉課題に関心がありますか。(1つだけ○)



「ある程度関心がある」が65.9%で最も高く、次いで「とても関心がある」が21.3%となっており、合計すると87.2%が関心をもっている。

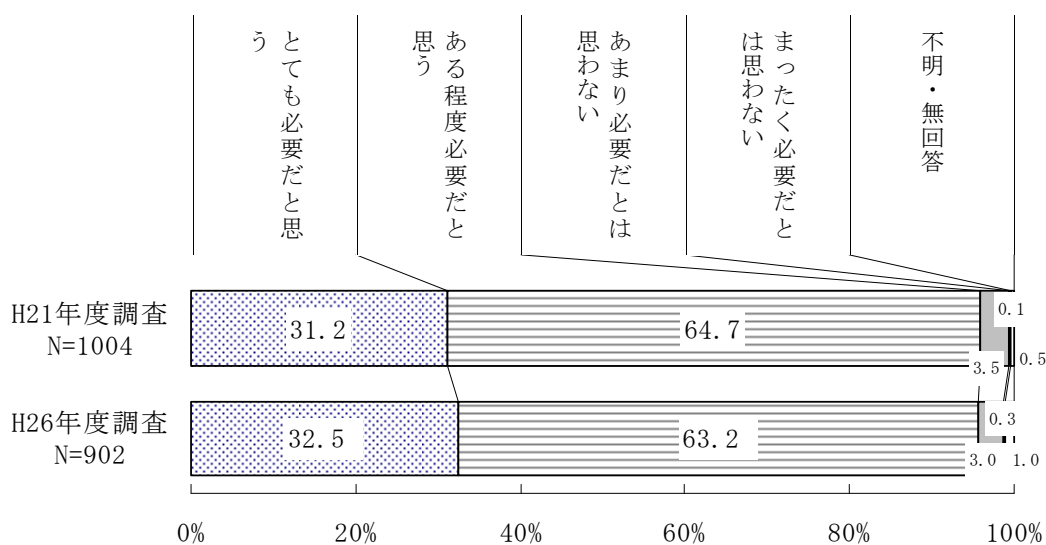
平成21年度調査と比較しても大きな差はみられない。

【愛着度別】

	全体	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	まったく関心がない	不明・無回答
全体	902	21.3	65.9	10.2	1.4	1.2
愛着を感じている	434	25.1	64.5	8.3	1.2	0.9
少し愛着を感じている	333	17.7	70.6	9.6	0.9	1.2
あまり愛着を感じていない	69	17.4	65.2	15.9	1.4	-
まったく愛着を感じていない	22	22.7	40.9	18.2	18.2	-
わからない	33	15.2	54.5	24.2	-	6.1

問2の愛着度別にみると、地域に愛着を感じている（「愛着を感じている」および「少し愛着を感じている」）では、地域の福祉課題に「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると9割近くにのぼり、今住んでいる地域への愛着度が高いほど地域の福祉課題への関心が高い。

問9. あなたは、地域の福祉課題に対し、住民相互の自主的な支えあい、助けあいの必要性についてどう思いますか。(1つだけ○)



「ある程度必要だと思う」が63.2%で最も多く、「とても必要だと思う」(32.5%)と合計すると95.7%を占めている。

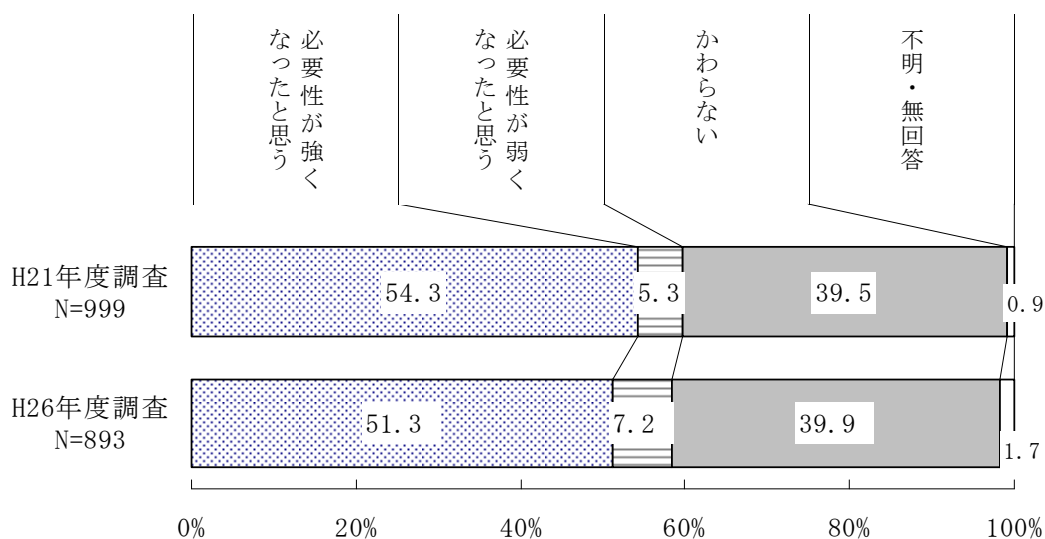
平成21年度調査と比較しても大きな差はみられない。

【福祉課題への関心度別】

	全体	とても必要だと思う	ある程度必要だと思う	あまり必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	不明・無回答
全体	902	32.5	63.2	3.0	0.3	1.0
とても関心がある	192	64.1	33.3	2.6	-	-
ある程度関心がある	594	26.6	71.0	2.2	-	0.2
あまり関心がない	92	9.8	82.6	6.5	1.1	-
まったく関心がない	13	15.4	46.2	23.1	15.4	-

問8の福祉課題への関心度別にみると、社会的立場の弱い人々をとりまく地域への福祉課題への関心度が高い人ほど住民相互の自主的な支えあい・助けあいの必要性も強く感じている。

問 10. 問 9 の答えは以前(約 5 年前)と比べてどのように変化したと感じますか。(1 つだけ○)



「必要性が強くなったと思う」が 51.3%で最も多く、次に「かわらない」が 39.9%、「必要性が弱くなったと思う」は 7.2%にとどまっている。

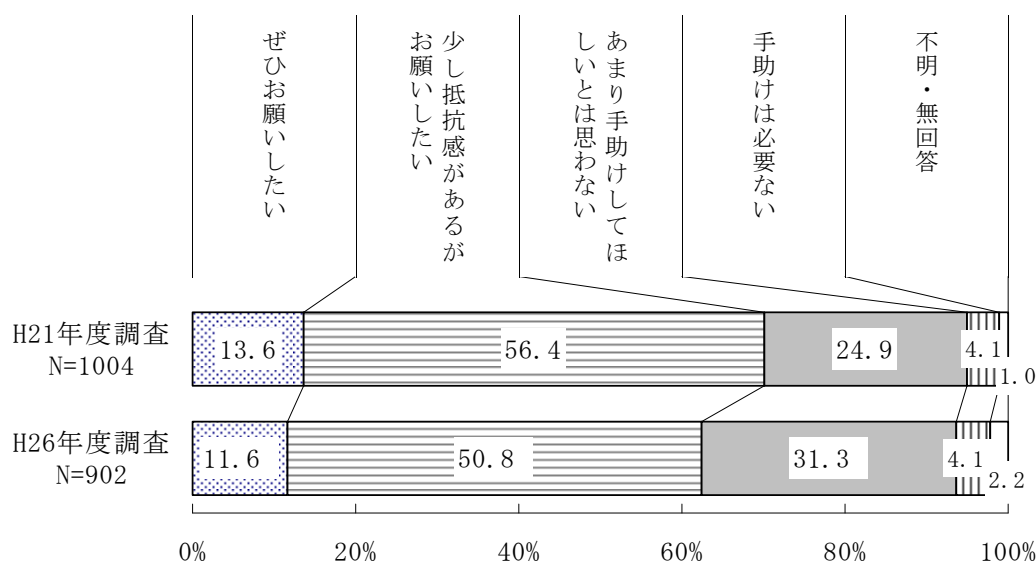
平成 21 年度調査と比較しても大きな差はみられない。

【支えあい・助けあいの必要性別】

	全体	必要性が強くなったと思う	必要性が弱くなったと思う	かわらない	不明・無回答
全体	893	51.3	7.2	39.9	1.7
とても必要だと思う	293	70.0	5.1	24.2	0.7
ある程度必要だと思う	570	44.2	7.5	46.0	2.3
あまり必要だとは思わない	27	3.7	22.2	74.1	-
まったく必要だとは思わない	3	-	-	100.0	-

問 9 の支えあい・助けあいの必要性別にみると、支えあい・助けあいが「とても必要だと思う」と感じている人は、「必要性が強くなった」が 70.0%で最も多い。「ある程度必要だと思う」では「必要性が強くなった」と「かわらない」がそれぞれ 4 割台で拮抗しており、「あまり必要だとは思わない」と「まったく必要だとは思わない」では「かわらない」が最も多くなっている。

問 11. あなたやご家族が日常生活で介助や支援が必要になった場合、近所の人などから手助けしてもらうことについてどう思いますか。(1つだけ○)



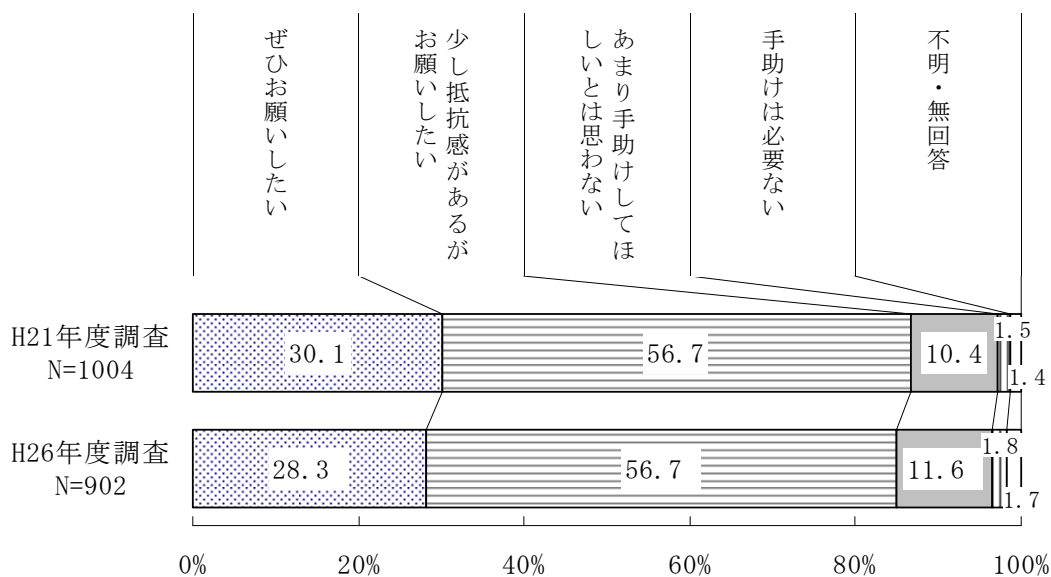
「少し抵抗感があるがお願いしたい」が50.8%で最も多い。次に「あまり手助けしてほしいとは思わない」が31.3%となっており、「ぜひお願いしたい」は11.6%にとどまっている。

【同居している家族の状況別】

	全体	ぜひ お願い したい	少し 抵抗 感 が あ る が お 願 い し た い	あ ま り 手 助 け し て ほ し い と は 思 わ な い	手 助 け は 必 要 な い	不 明 ・ 無 回 答
全体	902	11.6	50.8	31.3	4.1	2.2
乳幼児（小学校入学前の子ども）	56	7.1	55.4	33.9	3.6	-
小学生	70	10.0	57.1	30.0	2.9	-
中学生	63	7.9	50.8	41.3	-	-
高校生	72	11.1	54.2	31.9	2.8	-
65歳以上の方	555	12.4	48.1	33.3	4.3	1.8
介護を必要とする方	87	14.9	40.2	40.2	2.3	2.3
障がいのある方	76	13.2	52.6	30.3	2.6	1.3
いずれもない	182	9.9	57.7	24.7	5.5	2.2

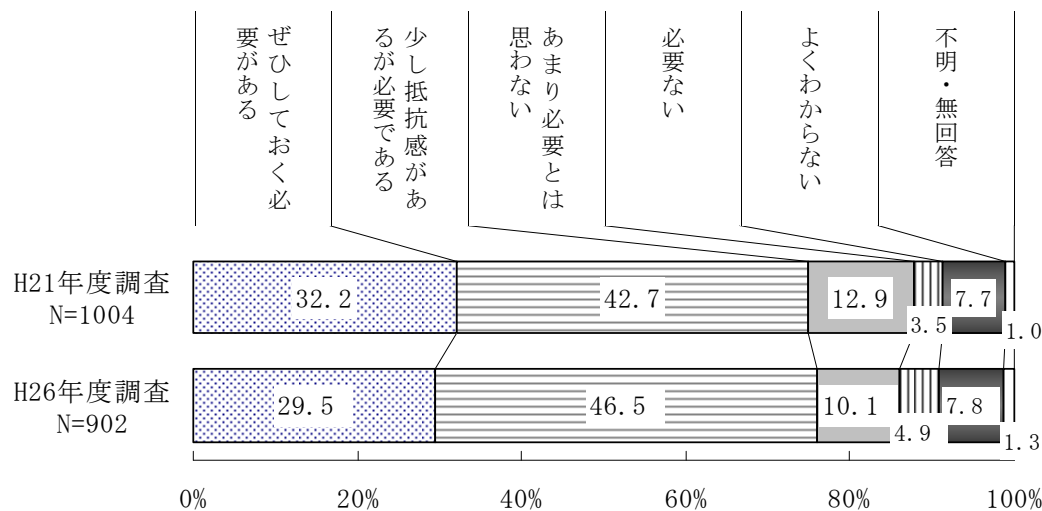
同居している家族の状況別にみると、「介護を必要とする方」では「ぜひお願いしたい」が14.9%で全体と比べて多いものの、「あまり手助けしてほしいとは思わない」も40.2%と多い。

問 12. あなたやご家族が災害などのため、日常生活に支障が生じた場合、近所の人などから手助けしてもらうことについてどう思いますか。(1つだけ○)



「少し抵抗感があるがお願いしたい」が56.7%で最も多く、次に「ぜひお願いしたい」が28.3%となっており、問 11 の日常生活の場合と比べて、災害時の方が手助けを要望する声が多い。

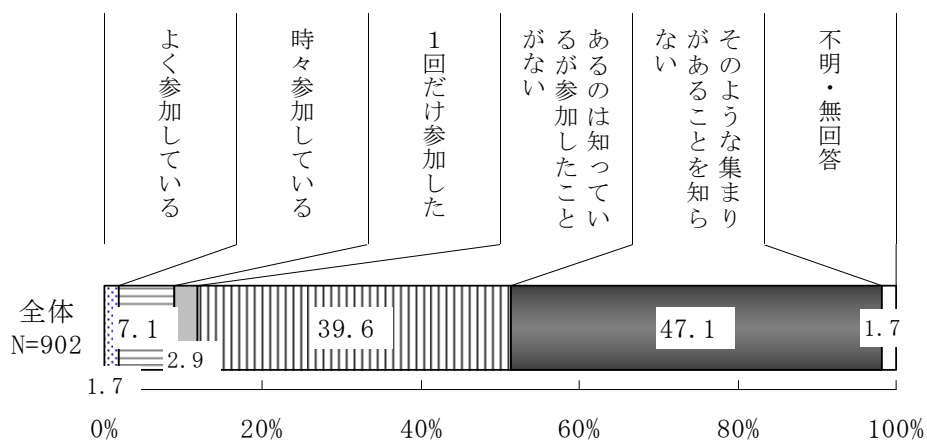
問 13. 問 12 のような災害時に地域で助けあうことがすぐできるよう、個人情報(住所、氏名、家族構成、連絡先など)を普段から地域で収集しておくことについてどう思いますか。(1つだけ○)



「少し抵抗感があるが必要である」が46.5%、「ぜひしておく必要がある」が29.5%で必要があると考える人は76.0%を占めている。一方で「あまり必要とは思わない」が10.1%、「必要ない」が4.9%となっている。

平成 21 年度調査と比較しても大きな差はみられない。

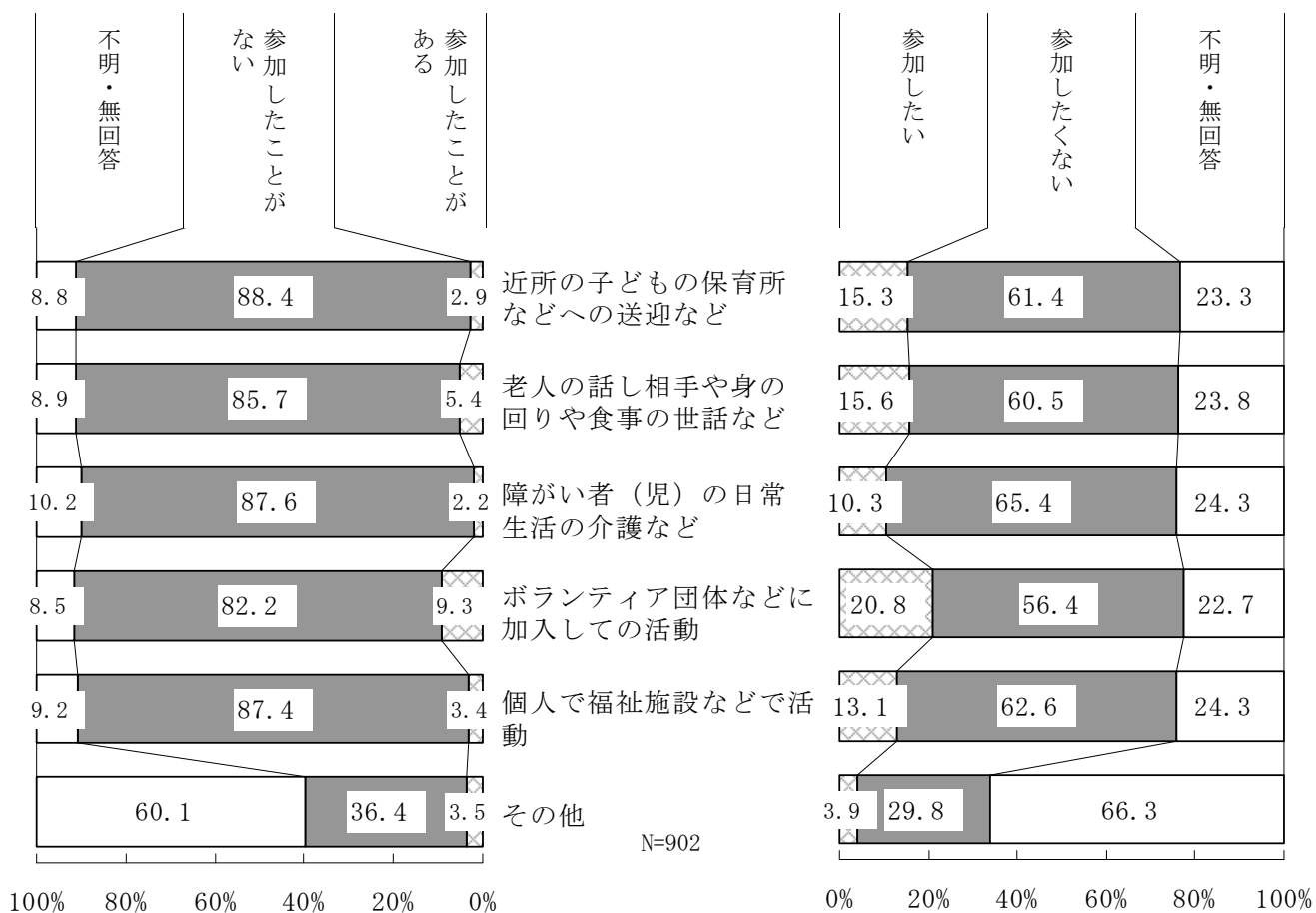
問 14. あなたは地域や社会の課題解決に取り組む「地域まちづくり協議会」などの取組みに参加したことがありますか。(1つだけ○)



「そのような集まりがあることを知らない」が47.1%を占めているものの、各小学校区で「地域まちづくり協議会」が設立中であるため、認知度が低いとはいえない。

問 15. ボランティア活動などについておうかがいします。

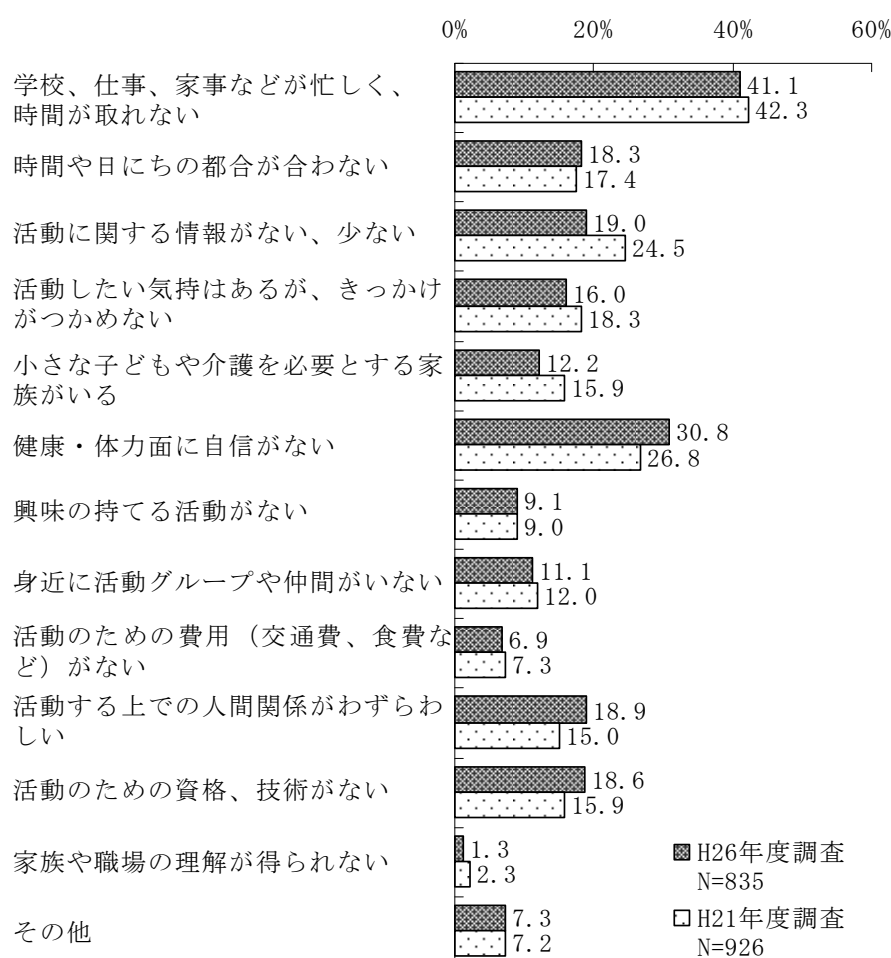
(1) あなたは、過去1年間にボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後の参加意向についてお答えください。(それぞれの項目の該当する番号に○)



参加状況は、いずれのボランティアも「参加したことがある」が1割未満となっており、[ボランティア団体などに加入しての活動]が9.3%で他の項目よりやや参加割合が高い。

今後の参加意向は、[ボランティア団体などに加入しての活動]で「参加したい」が20.8%と多くなっている。[障がい者(児)の日常生活の介護など]は「参加したくない」が65.4%で他の項目よりやや多くなっている。

(2)「参加したことがない」または「参加したくない」とお答えの方におうかがいします。
その理由は何ですか。(3つまで○)



「学校、仕事、家事などが忙しく、時間が取れない」が41.1%で最も多く、次に「健康・体力面に自信がない」(30.8%)、「活動に関する情報がない、少ない」(19.0%)、「活動する上で人間関係がわずらわしい」(18.9%)、「活動のための資格、技術がない」(18.6%)とつづいている。

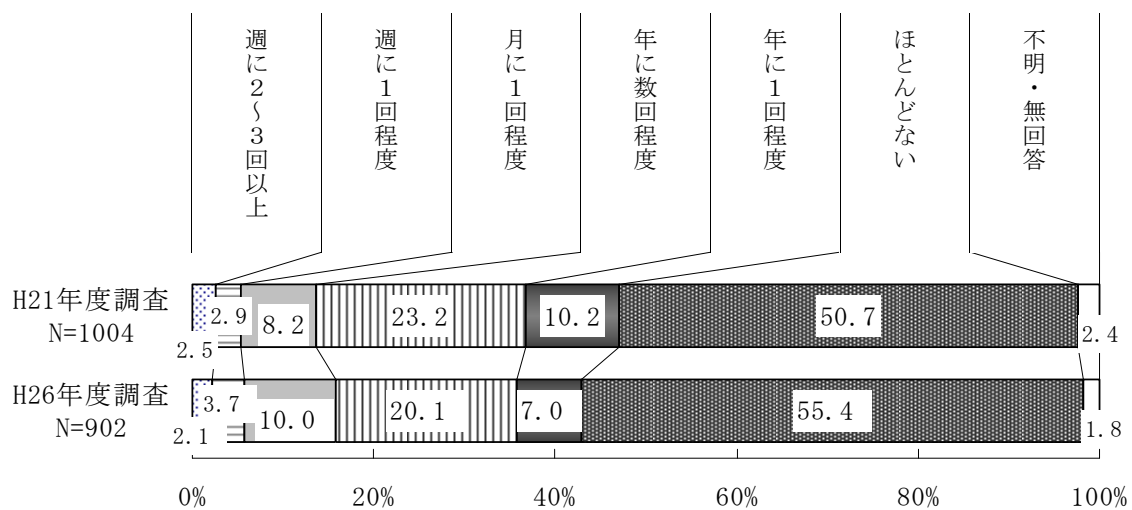
平成21年度調査と比較すると、今回調査の方が「活動に関する情報がない、少ない」が5.5ポイント少なくなっている。

【年代別】

	全体	取れが忙しく、家事がな	学校、仕事、家事などが忙しく、時間が取れない	時間や日にちの都合が合わない	活動に関する情報がない、少ない	活動したい気持はあるが、きっかけがつかめない	活動したい気持はあるが、きっかけがつかめない	小さな子どもや介護を必要とする家族がいる	健康・体力面に自信がない	興味の持てる活動がない	身近に活動グループや仲間がいない	活動のための費用（交通費、食費など）がない	活動する上で人間関係がわずらわしい	活動のための資格、技術がない	家族や職場の理解が得られない	その他	不明・無回答
全体	835	41.1	18.3	19.0	16.0	12.2	30.8	9.1	11.1	6.9	18.9	18.6	1.3	7.3	5.0		
20歳代	46	63.0	21.7	26.1	21.7	23.9	4.3	19.6	17.4	8.7	13.0	8.7	2.2	6.5	2.2		
30歳代	74	67.6	29.7	20.3	6.8	29.7	8.1	9.5	9.5	13.5	17.6	6.8	-	5.4	5.4		
40歳代	111	74.8	27.9	21.6	9.9	12.6	5.4	9.0	6.3	11.7	20.7	12.6	2.7	3.6	1.8		
50歳代	128	60.2	21.9	11.7	20.3	11.7	21.1	6.3	9.4	7.0	18.0	18.0	2.3	4.7	3.1		
60歳代	223	34.1	17.0	23.3	17.5	11.2	32.7	11.7	12.6	3.6	20.2	22.4	-	6.3	6.3		
70歳以上	245	9.8	9.8	15.5	17.1	6.1	57.6	6.5	12.2	5.3	19.2	23.7	1.6	12.2	6.5		

年代別にみると、50歳未満では「学校、仕事、家事などが忙しく、時間が取れない」が6～7割台と多くなっており、60歳以上では「健康・体力面に自信がない」が3～5割程度にのぼる。30歳代では「小さな子どもや介護を必要とする家族がいる」が約3割にのぼる。

問 16. あなたはこの1年で、市内の地域やまちづくりの活動にどの程度参加されましたか。
(1つだけ○)



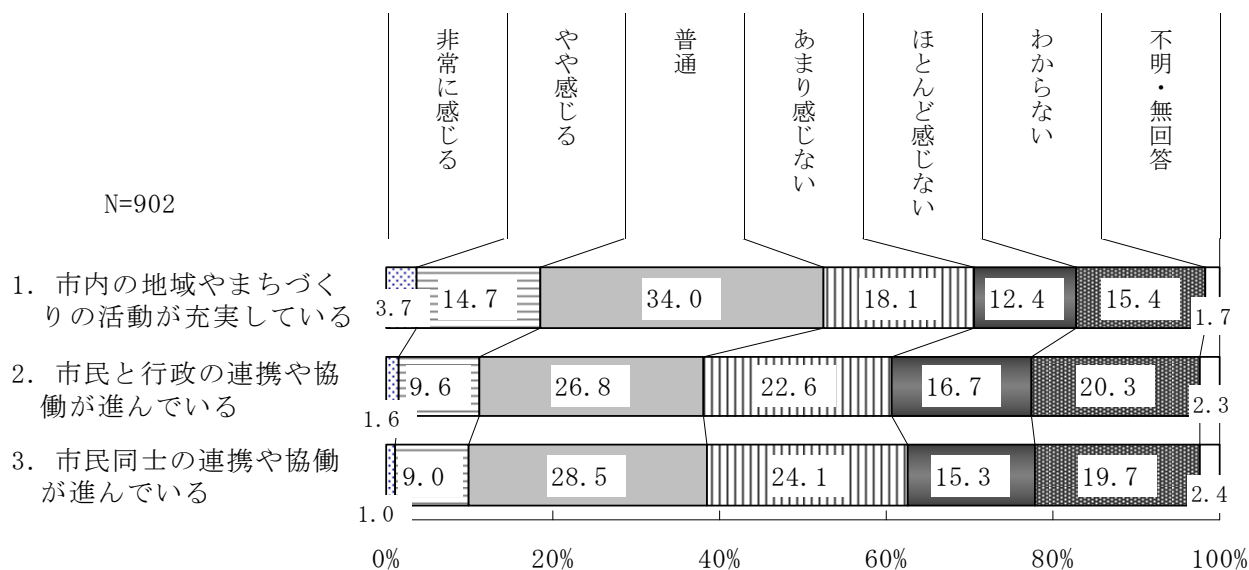
市内の地域やまちづくり活動への参加は、「ほとんどない」が 55.4%で最も多く、次いで「年に数回程度」(20.1%)、「月に1回程度」(10.0%)の順となっている。年に1回以上の参加がある人は全体の42.9%にとどまる。

【年代別】

	全体	週に2〜3回以上	週に1回程度	月に1回程度	年に数回程度	年に1回程度	ほとんどない	不明・無回答
全体	902	2.1	3.7	10.0	20.1	7.0	55.4	1.8
20歳代	47	-	-	-	4.3	6.4	89.4	-
30歳代	75	1.3	-	8.0	16.0	4.0	70.7	-
40歳代	114	0.9	2.6	13.2	22.8	8.8	50.9	0.9
50歳代	130	0.8	3.1	9.2	23.1	8.5	53.8	1.5
60歳代	235	1.7	2.1	10.6	22.1	7.7	55.3	0.4
70歳以上	290	4.1	7.2	10.3	19.3	6.2	49.3	3.4

年代別に参加状況を見ると、「ほとんどない」が20歳代で約9割、30歳代で約7割を占める。70歳以上では1割強が週に1回以上参加している。

問 17. あなたは、次のそれぞれについて、どのように感じていますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。（それぞれの項目の該当する番号に○）



いずれの項目も「普通」が最も多い割合となっている。

『感じる』（「非常に感じる」と「やや感じる」の合計）が多い項目は、[市内の地域やまちづくりの活動が充実している]で18.4%となっている。

一方で、[市民と行政の連携や協働が進んでいる]と[市民同士の連携や協働が進んでいる]では、『感じない』（「あまり感じない」と「ほとんど感じない」の合計）の割合がほぼ4割を占めており、『感じる』を上回っている。

【地域やまちづくりの活動の参加状況別】

	全体	1. 市内の地域やまちづくりの活動が充実している			2. 市民と行政の連携や協働が進んでいる			3. 市民同士の連携や協働が進んでいる		
		感じる	普通	感じない	感じる	普通	感じない	感じる	普通	感じない
全体	902	18.4	34.0	30.5	11.2	26.8	39.3	10.0	28.5	39.4
週に2～3回以上	19	21.1	57.9	15.8	15.8	36.8	47.3	31.6	36.8	26.3
週に1回程度	33	45.5	30.3	15.2	27.2	33.3	18.2	27.3	36.4	21.2
月に1回程度	90	27.8	34.4	32.2	12.2	31.1	50.0	11.1	37.8	45.5
年に数回程度	181	27.0	35.9	30.4	17.2	27.6	43.6	13.8	30.4	43.1
年に1回程度	63	12.7	36.5	36.5	6.4	38.1	36.5	6.4	31.7	44.4
ほとんどない	500	12.6	33.4	31.4	8.4	24.0	38.2	7.0	25.4	38.8

感じる＝「非常に感じる」＋「やや感じる」　感じない＝「あまり感じない」＋「ほとんど感じない」
「わからない」と「不明・無回答」は省略

地域やまちづくりの活動の参加状況別にみると、いずれの項目でも「週に1回程度」で『感じる』より『感じる』が多くなっている。[市民同士の連携や協働が進んでいる]では、「月に1回程度」「年に数回程度」「年に1回程度」で『感じる』が多くなっている。

【地域別】

	全体	1. 市内の地域やまちづくりの活動が充実している			2. 市民と行政の連携や協働が進んでいる			3. 市民同士の連携や協働が進んでいる		
		感じる	普通	感じない	感じる	普通	感じない	感じる	普通	感じない
全体	902	18.4	34.0	30.5	11.2	26.8	39.3	10.0	28.5	39.4
千代田地域	191	10.9	35.6	32.0	4.7	23.0	42.4	5.2	24.6	42.4
長野地域	175	19.4	37.1	24.5	14.3	29.7	33.1	11.4	32.0	34.3
三日市地域	144	26.4	28.5	27.0	12.5	29.9	35.4	12.5	34.7	32.6
西地域	84	19.1	36.9	27.4	15.5	28.6	33.3	13.1	27.4	35.7
加賀田地域	97	16.5	33.0	39.2	12.4	29.9	39.2	6.2	34.0	41.2
東地域	171	19.9	33.3	35.1	12.2	23.4	47.3	11.1	22.2	46.8

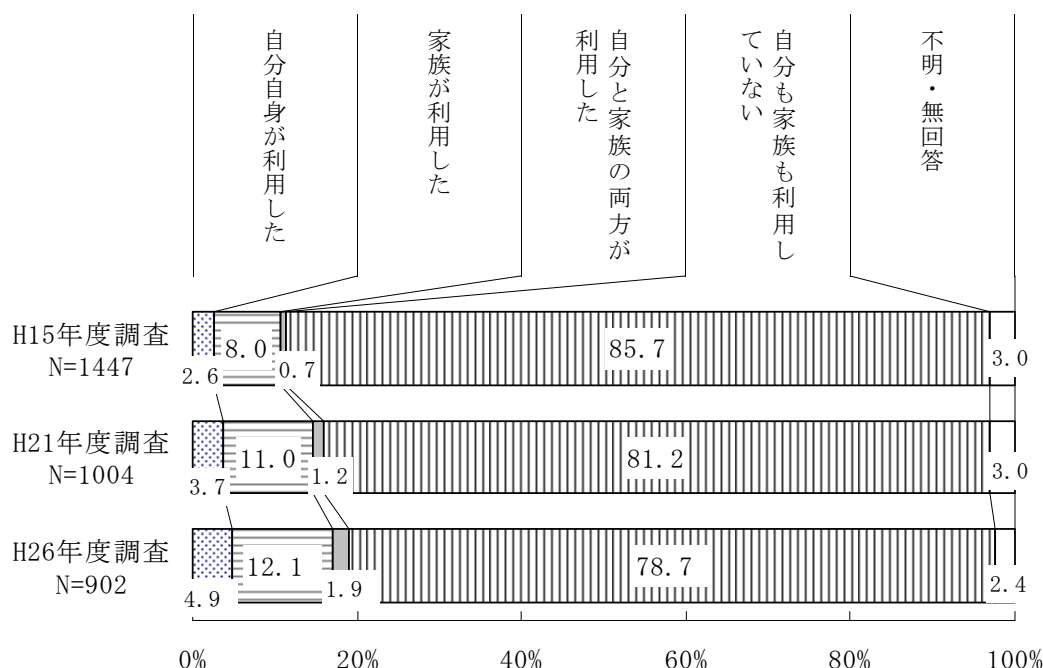
感じる＝「非常に感じる」＋「やや感じる」　感じない＝「あまり感じない」＋「ほとんど感じない」
「わからない」と「不明・無回答」は省略

地域別にみると、[市内の地域やまちづくりの活動が充実している]では、三日市地域で『感じる』が26.4%とやや多い。[市民同士の連携や協働が進んでいる]では、東地域で『感じる』が46.8%と他の地域に比べて多くなっている。

2. 地域の福祉サービスなどについて

問 18. 高齢者・障がい者や子育て支援などの福祉サービスについておうかがいします。

(1) あなたを含め、ご家族の中で最近 1 年間に福祉サービスを利用した人がおられますか。
(1 つだけ〇)



「自分も家族も利用していない」が 78.7% で最も多くなっている。「家族が利用した」(12.1%)、「自分自身が利用した」(4.9%)、「自分と家族の両方が利用した」(1.9%) を合計すると、18.9% は世帯員の誰かが利用経験がある。

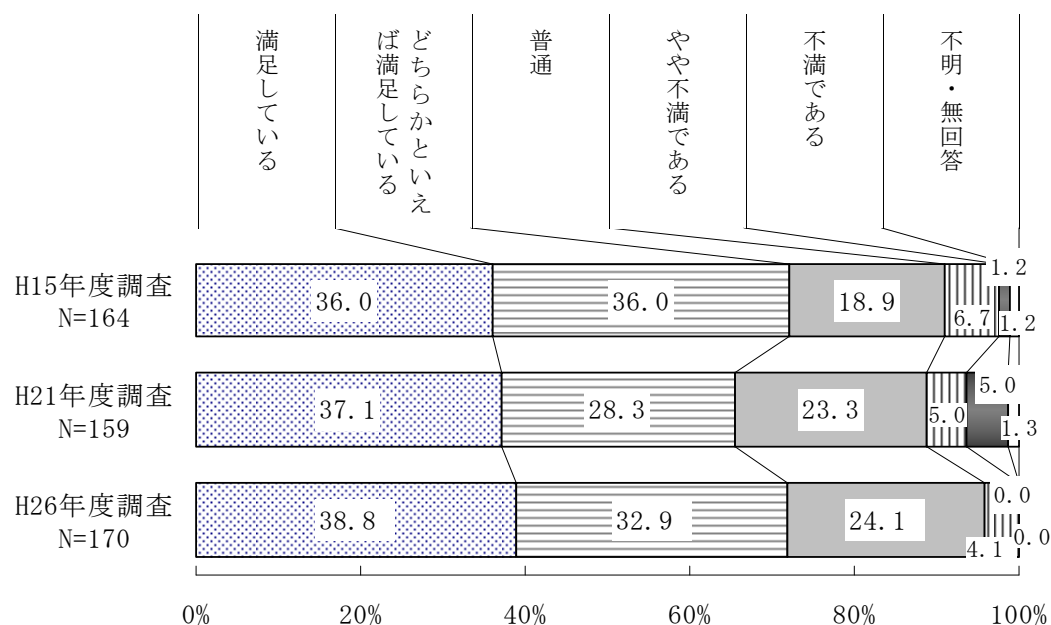
過去調査と比較すると、世帯員の誰かが利用したことのある割合は、今回調査の方がわずかに多くなっている。

【同居している家族別】

	全体	自分自身が利用した	家族が利用した	自分と家族の両方が利用した	自分も家族も利用していない	不明・無回答
全体	902	4.9	12.1	1.9	78.7	2.4
乳幼児 (小学校入学前の子ども)	56	10.7	19.6	12.5	57.1	-
小学生	70	8.6	8.6	2.9	80.0	-
中学生	63	-	9.5	3.2	87.3	-
高校生	72	-	4.2	2.8	91.7	1.4
65歳以上の方	555	5.8	13.3	1.4	76.4	3.1
介護を必要とする方	87	6.9	56.3	2.3	31.0	3.4
障がいのある方	76	13.2	38.2	2.6	44.7	1.3
いずれもない	182	1.1	3.3	-	94.0	1.6

同居している家族別にみると、「介護を必要とする方」と「障がいのある方」で「家族が利用した」がそれぞれ 56.3%、38.2% と利用率が高くなっている。

(2)「1. 自分自身が利用した」、「2. 家族が利用した」または「3. 自分と家族の両方が利用した」とお答えの方におうかがいします。あなたやあなたのご家族が利用した福祉サービスに満足していますか。(1つだけ〇)



「満足している」が38.8%で最も多く、「どちらかといえば満足している」(32.9%)と合わせると71.7%が満足している。

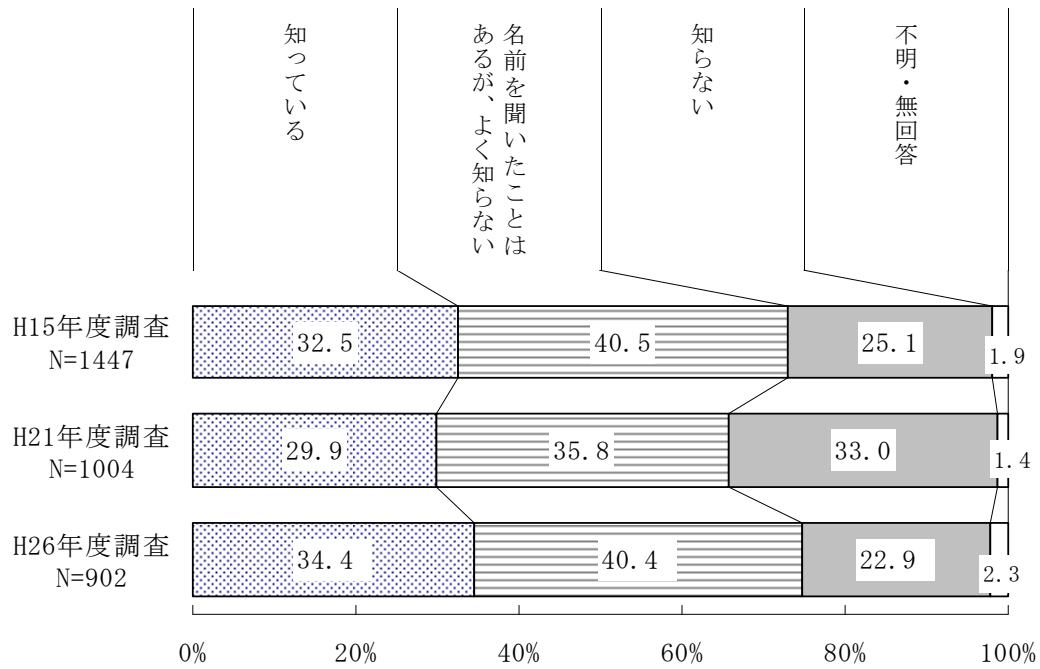
平成15年度調査との差はみられないが、平成21年度調査と比較すると「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、今回調査の方が6.3ポイント多くなっている。

【同居している家族別】

	全体	満足している	どちらかといえば満足している	普通	やや不満である	不満である	不明・無回答
全体	170	38.8	32.9	24.1	4.1	-	-
乳幼児 (小学校入学前の子ども)	24	54.2	25.0	20.8	-	-	-
小学生	14	28.6	28.6	42.9	-	-	-
中学生	8	25.0	62.5	12.5	-	-	-
高校生	5	60.0	-	40.0	-	-	-
65歳以上の方	114	37.7	34.2	23.7	4.4	-	-
介護を必要とする方	57	31.6	40.4	21.1	7.0	-	-
障がいのある方	41	34.1	34.1	24.4	7.3	-	-
いずれもない	8	12.5	25.0	50.0	12.5	-	-

同居している家族別にみると、「乳幼児 (小学校入学前の子ども)」で5割を超えている。

問 19. 社会福祉協議会を知っていますか。(1つだけ〇)

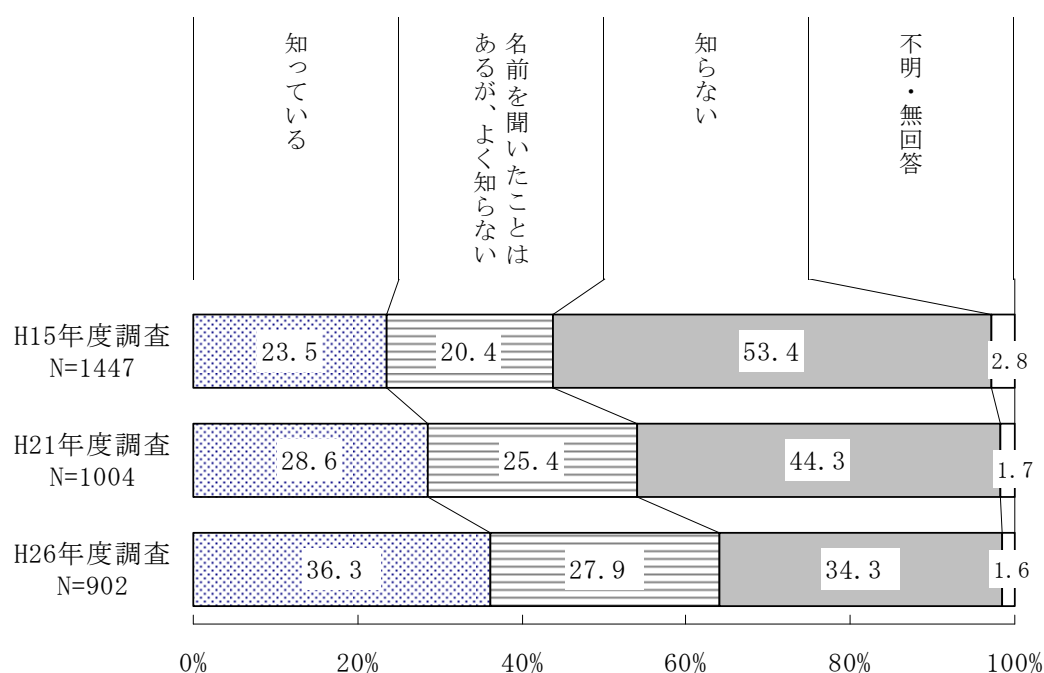


「名前を聞いたことはあるが、よく知らない」が40.4%で最も多く、次に「知っている」が34.4%、「知らない」が22.9%が続いている。「知っている」と「名前を聞いたことはあるが、よく知らない」を合わせると認知度は74.8%となっている。

平成15年度調査との差はみられないが、平成21年度調査と比較すると今回調査の方が認知度が9.1ポイント多くなっている。

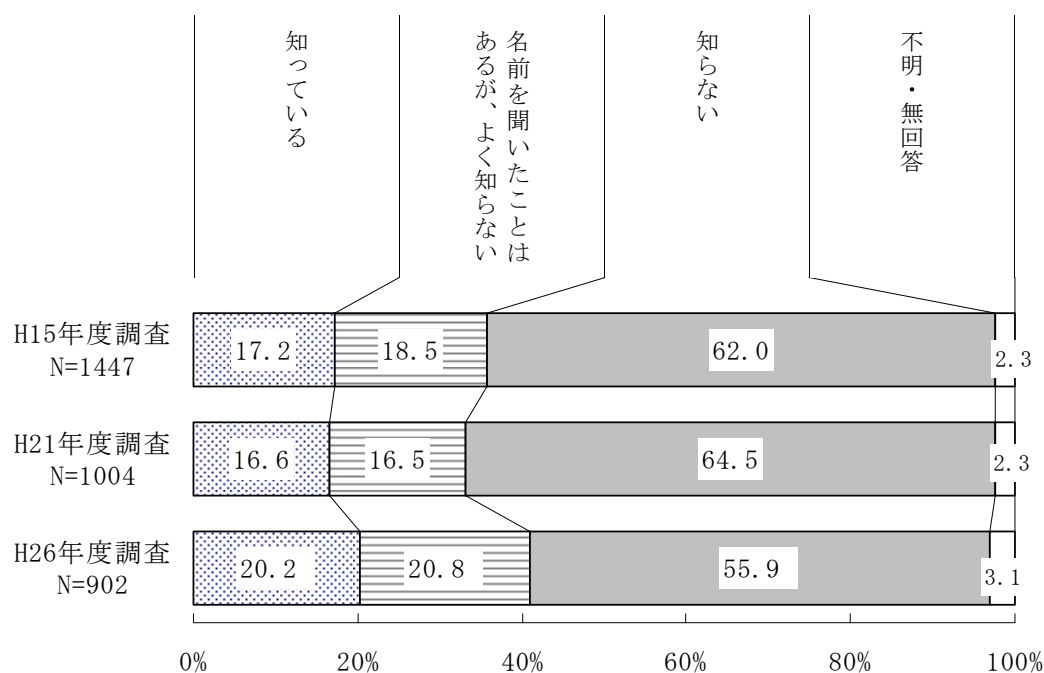
問 20. 福祉委員会についておうかがいします。

(1) あなたがお住まいの小学校区に福祉委員会があることを知っていますか。(1つだけ○)



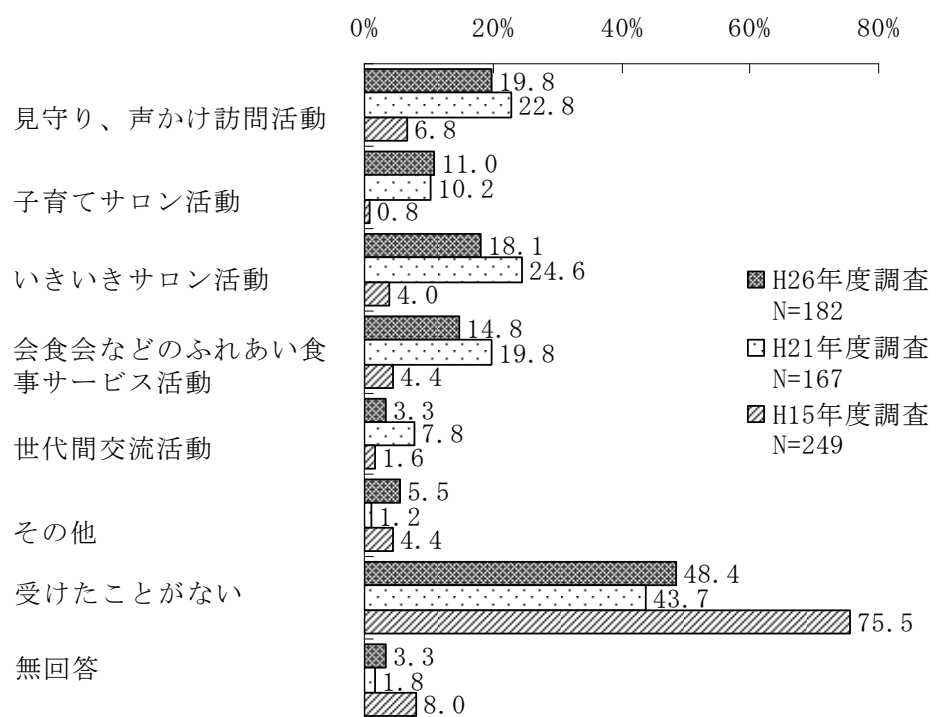
「知っている」が 36.3%で最も多く、次に「知らない」(34.3%)、「名前を聞いたことはあるが、よく知らない」(27.9%)の順となっており、前問の社会福祉協議会より認知度が低い。過去調査と比較すると、認知度は徐々に上がってきている。

(2) あなたは、福祉委員会が中心となって行っている「小地域ネットワーク活動」を知っていますか。(1つだけ○)



「知らない」が 55.9%で最も多く、次に「名前を聞いたことはあるが、よく知らない」(20.8%)、「知っている」(20.2%)がほぼ同率で続いている。平成 21 年度調査と比較すると、今回調査の方が認知度は 7.9 ポイント多くなっている。

(3) 「1. 知っている」とお答えの方におうかがいします。あなたは「小地域ネットワーク活動」のどのようなサービスを受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

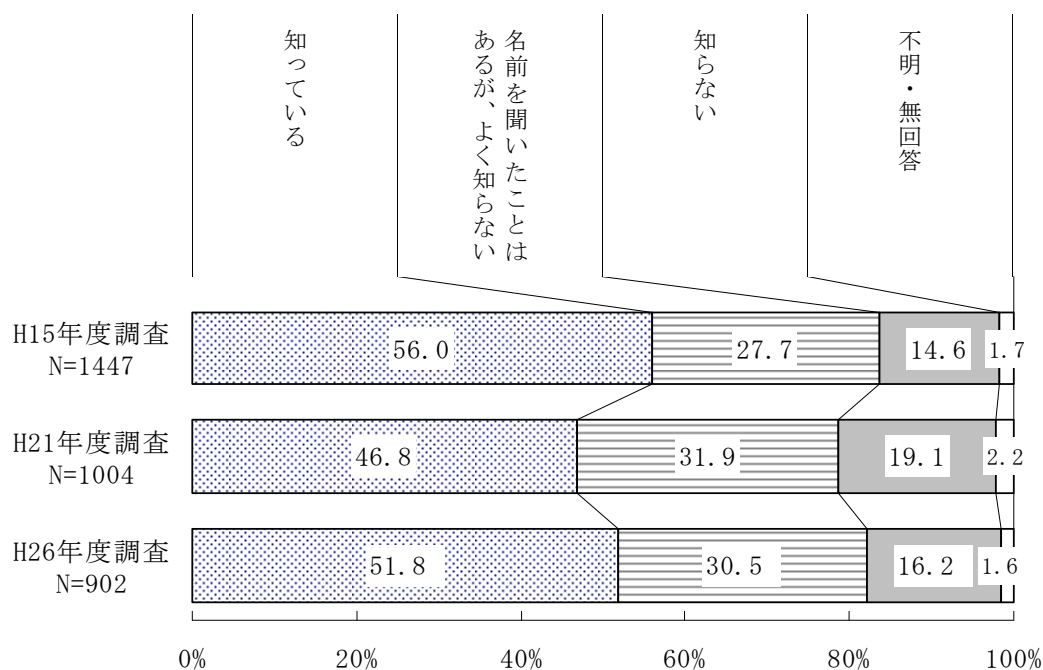


受けたことのあるサービスでは「見守り、声かけ訪問活動」が19.8%で最も多く、次に「いきいきサロン活動」(18.1%)、「会食会などのふれあい食事サービス活動」(14.8%)の順となっている。一方で、「受けたことがない」が48.4%となっている。

平成21年度調査と比較すると、「子育てサロン活動」と「その他」を除く全ての項目で今回調査の方がサービスの利用が少なくなっている。

問 21. 民生委員・児童委員についておうかがいします。

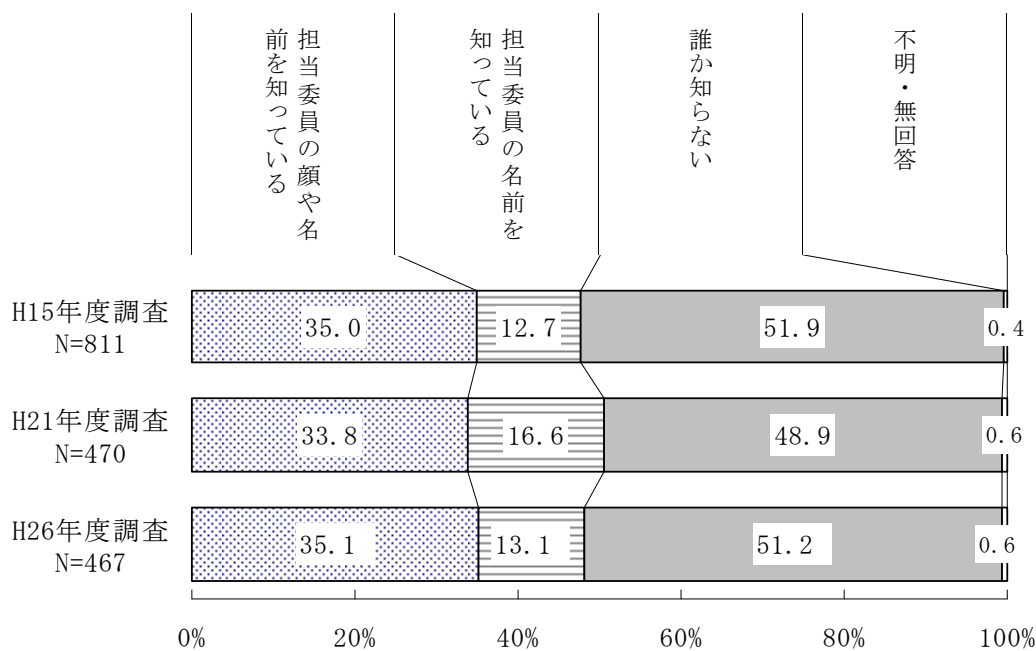
(1) あなたは民生委員・児童委員を知っていますか。(1つだけ○)



「知っている」が51.8%で最も多く、次に「名前を聞いたことはあるが、よく知らない」が30.5%で続いており、「知らない」は16.2%となっている。

平成21年度調査と比較すると、今回調査の方が「知っている」が5.0ポイント多い。

(2) 「1. 知っている」とお答えの方におうかがいします。あなたがお住まいの地域を担当している民生委員・児童委員をどの程度知っていますか。(1つだけ○)

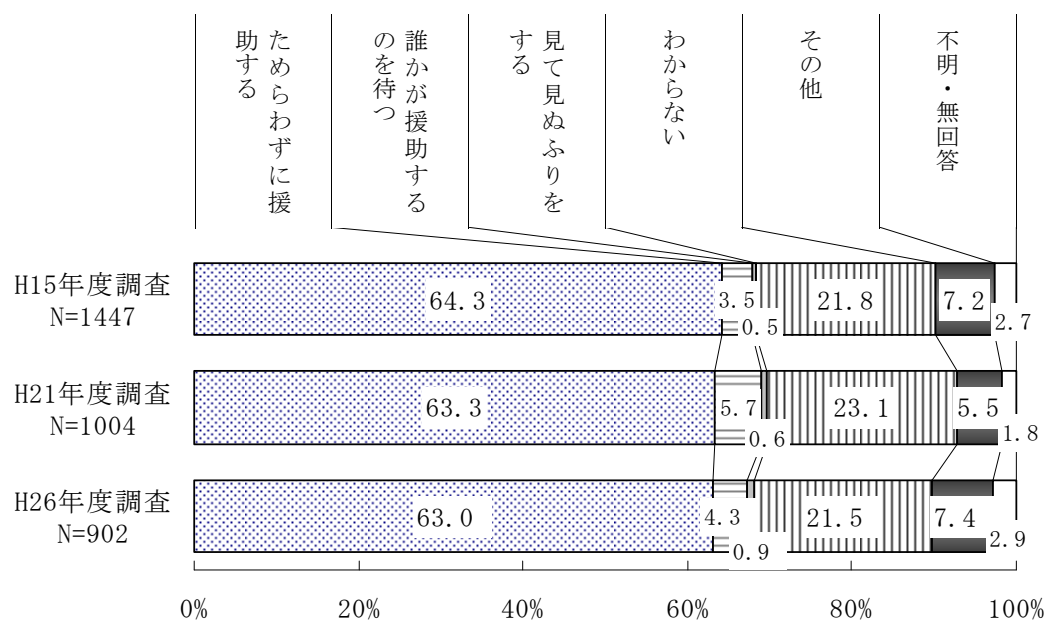


「誰か知らない」が51.2%で最も多く過半数を占める。「担当委員の顔や名前を知っている」(35.1%)、「担当委員の名前を知っている」(13.1%)を合わせると、名前まで知っているのは48.2%にとどまる。

過去調査との比較では、大差はみられない。

3. 「つながり」などについて

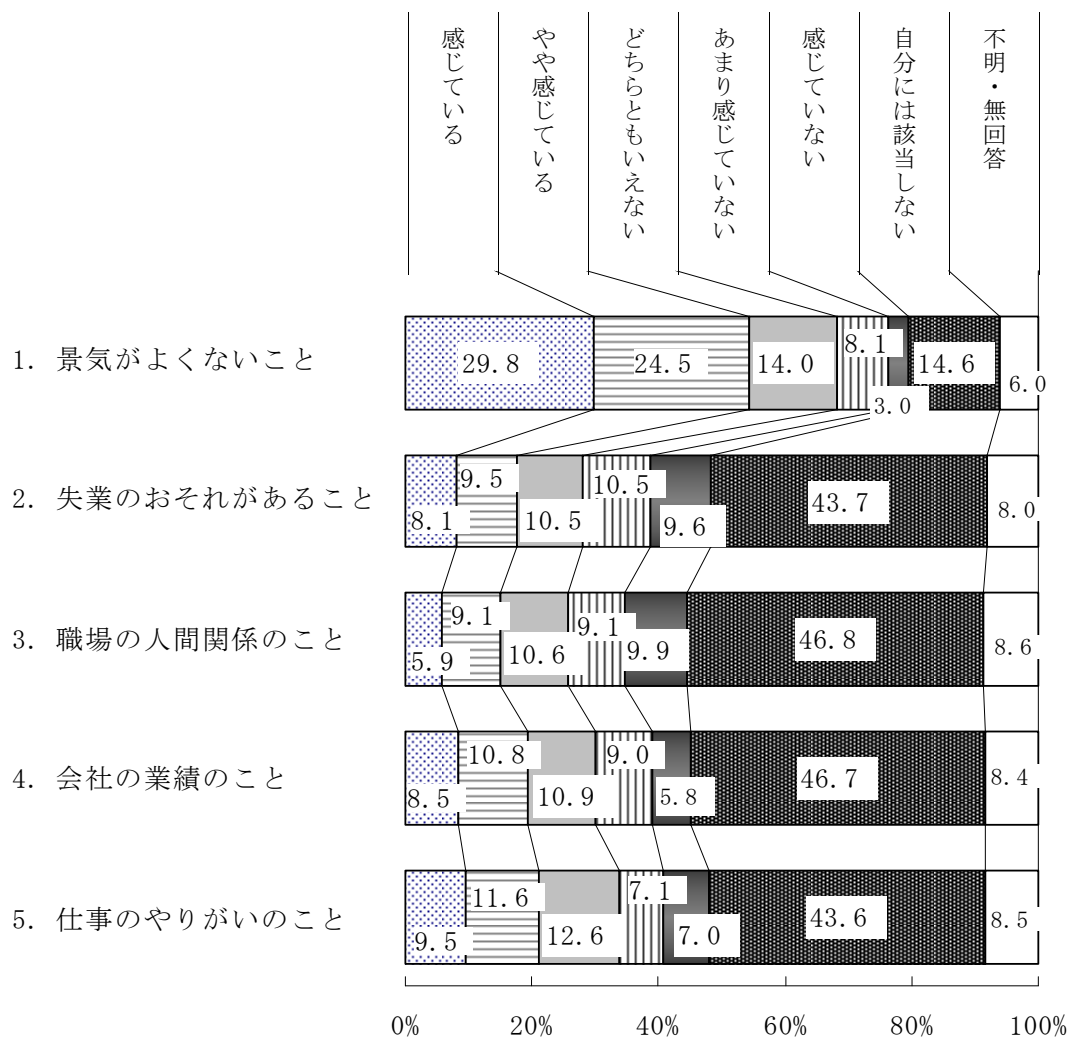
問 22. あなたのお住まいの地域の中で高齢者や障がい者(児)の方が困っている場面にあった時、どのように対応されますか。(1つだけ○)



「ためらわずに援助する」が63.0%で最も多く、次に「わからない」が21.5%となっている。過去調査との比較では、大差はみられない。

問 23. 日頃の生活の中で、あなたの悩みや不安を感じていることについて、各項目ごとにどのように感じているかに○をつけてください。（それぞれの項目の該当する番号に○）

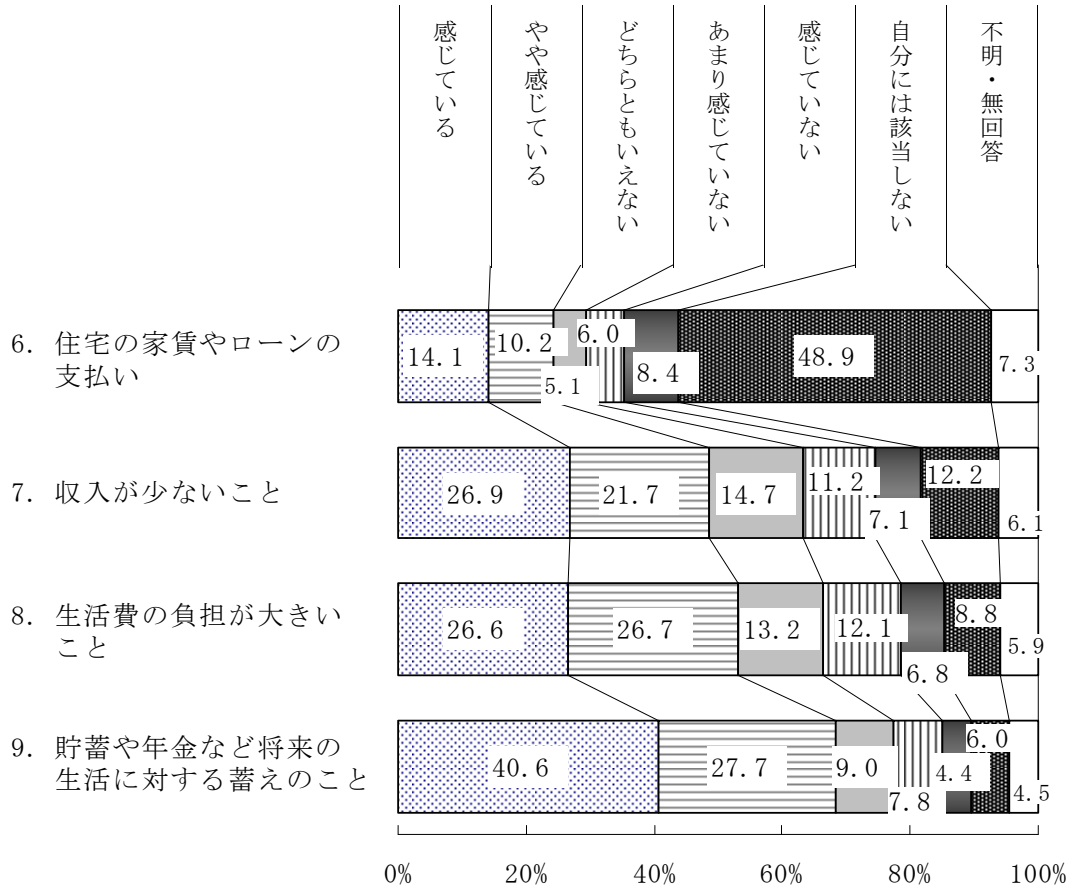
【仕事】



「景気がよくないこと」は「感じている」が29.8%を占めており、全ての項目の中で最も多く、『感じる』（「感じている」と「やや感じている」の合計）は、54.3%にのぼる。

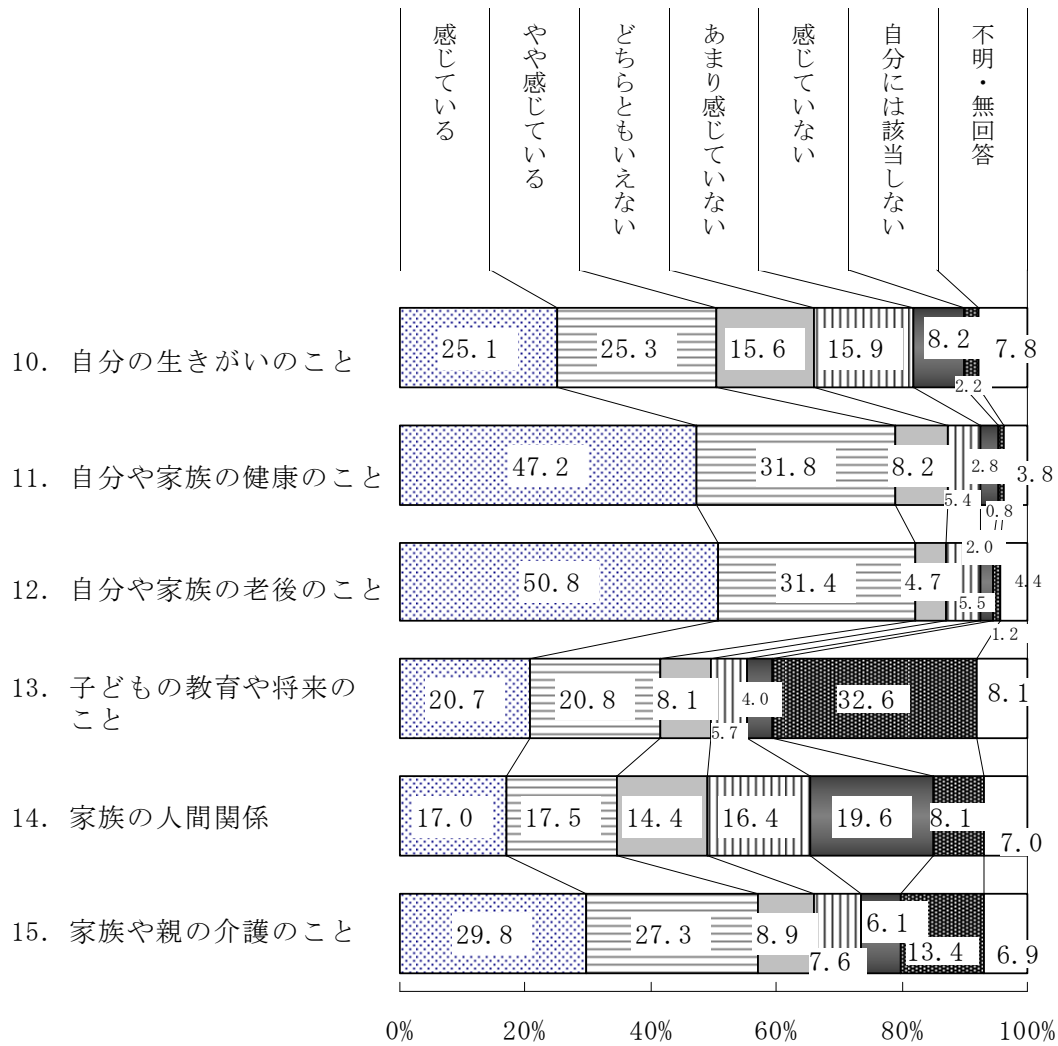
「仕事のやりがいのこと」は『感じる』（21.1%）が『感じない』（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）（14.1%）を上回っている。

【生活】



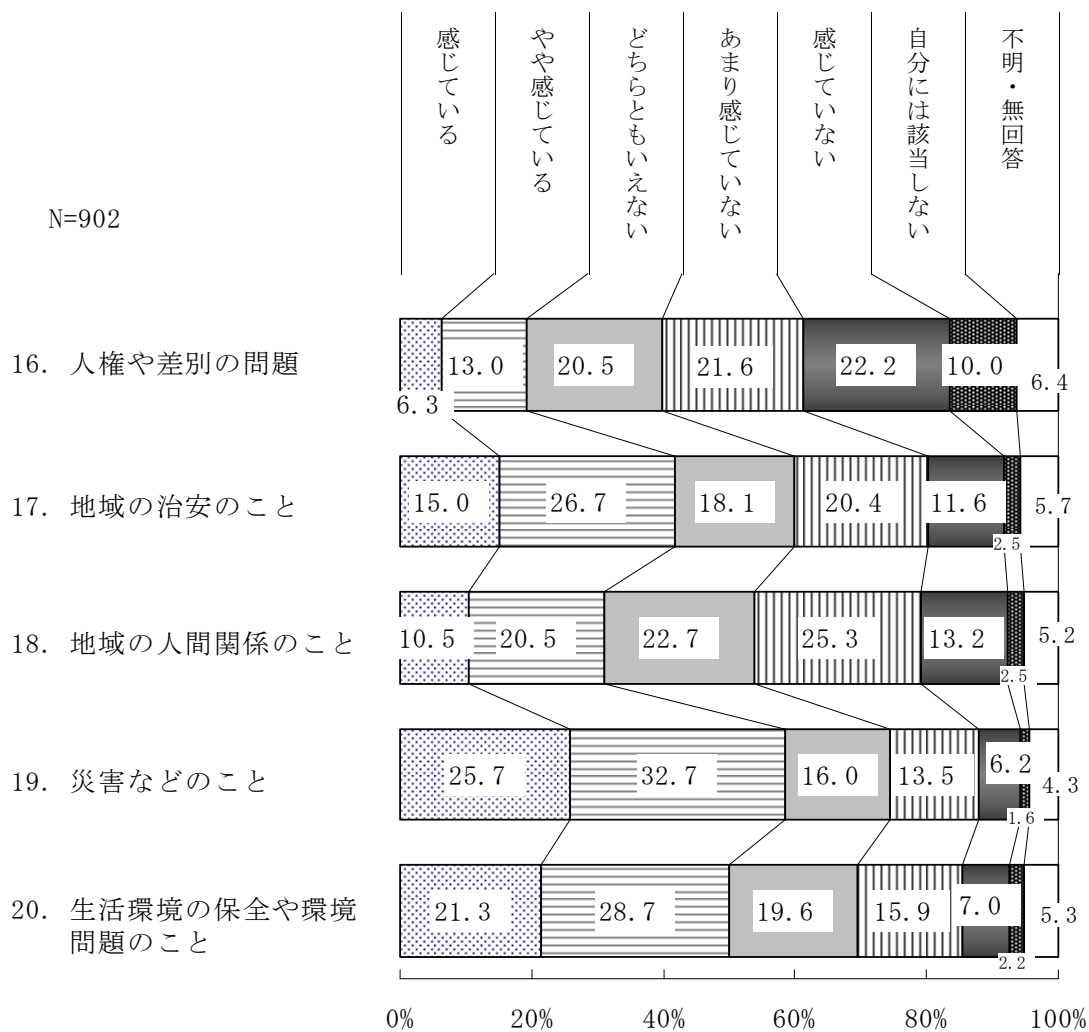
「貯蓄や年金など将来の生活に対する蓄えのこと」は『感じる』（「感じる」と「やや感じる」の合計）が68.3%で他の項目より多い。「生活費の負担が大きいこと」「収入が少ないこと」においても『感じる』がそれぞれ53.3%、48.6%を占めている。

【家族】



〔自分や家族の老後のこと〕〔自分や家族の健康のこと〕は『感じる』（「感じている」と「やや感じている」の合計）がそれぞれ 82.2%、79.0%と多い。一方、〔家族の人間関係〕は『感じない』（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）が 36.0%となっており、『感じる』を上回っている。

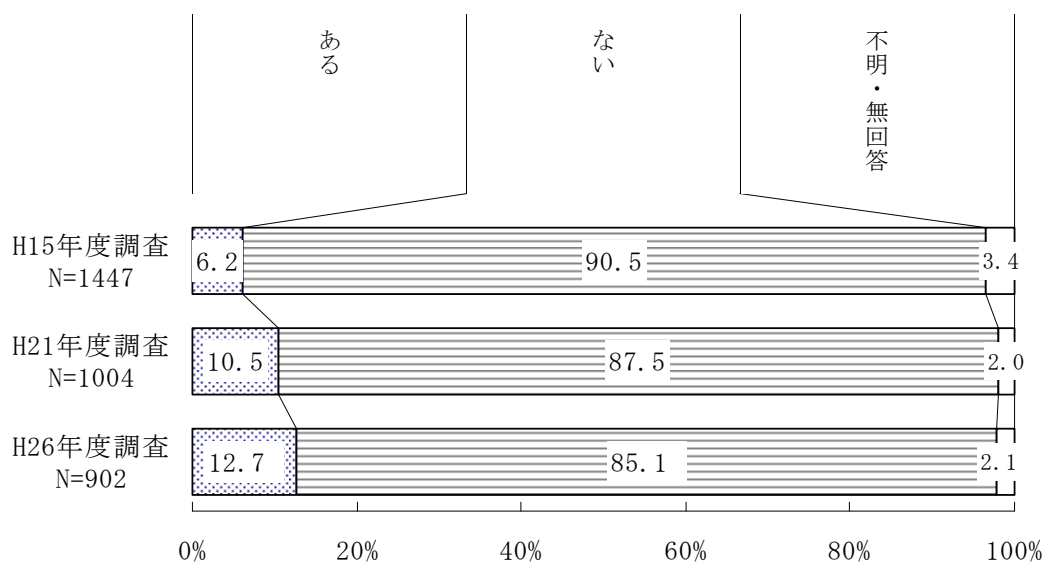
【地域や社会】



[災害などのこと] [生活環境の保全や環境問題のこと] では『感じる』（「感じている」と「やや感じている」の合計）がそれぞれ 58.4%、50.0%と半数以上を占めている。一方、[人権や差別の問題] [地域の人間関係のこと] は『感じない』（「あまり感じていない」と「感じていない」の合計）がそれぞれ 43.8%、38.5%となっている。

問 24. 悩みや不安の相談先などについておうかがいします。

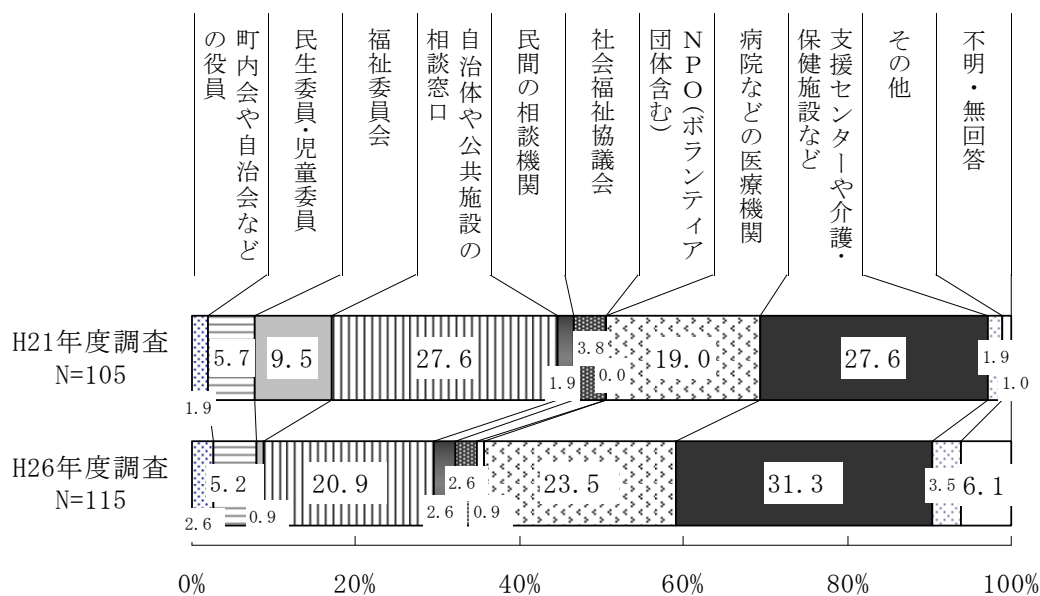
(1) あなたは、福祉関係での悩みや不安で困った時に相談機関で相談したことがありますか。



相談経験が「ある」は12.7%にとどまっておき、「ない」が85.1%を占める。過去調査と比較すると、今回調査の方が相談経験が多くなっている。

(2) 「1. ある」とお答えの方におうかがいします。

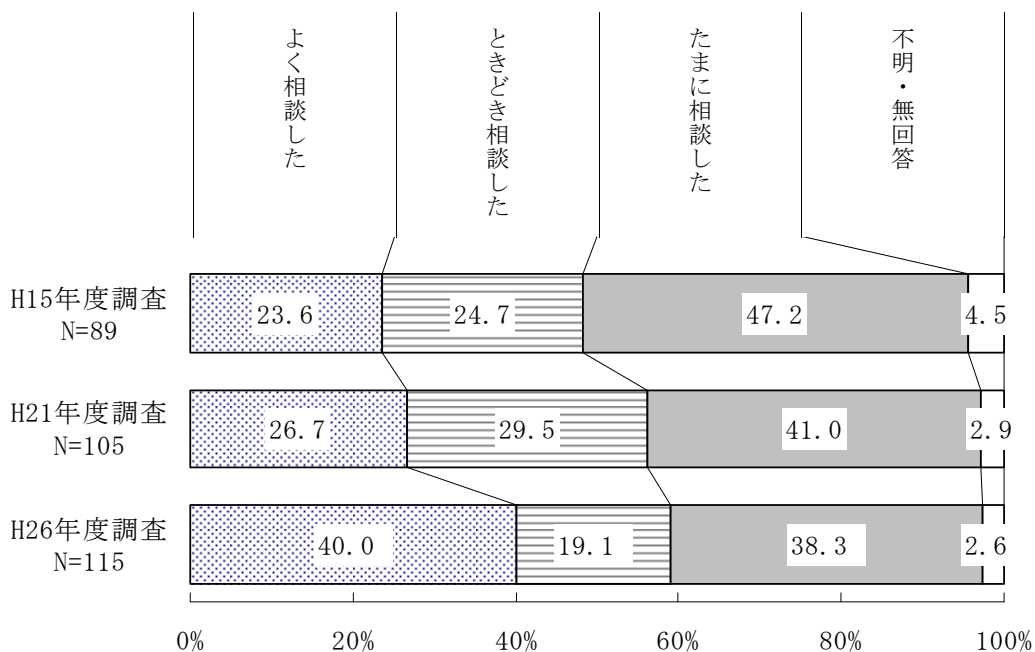
a) 最初に相談した相談機関はどこですか。(1つだけ○)



相談先は、「支援センターや介護・保健施設など」が31.3%で最も多く、次に「病院などの医療機関」が23.5%、「自治体や公共施設の相談窓口」が20.9%となっている。

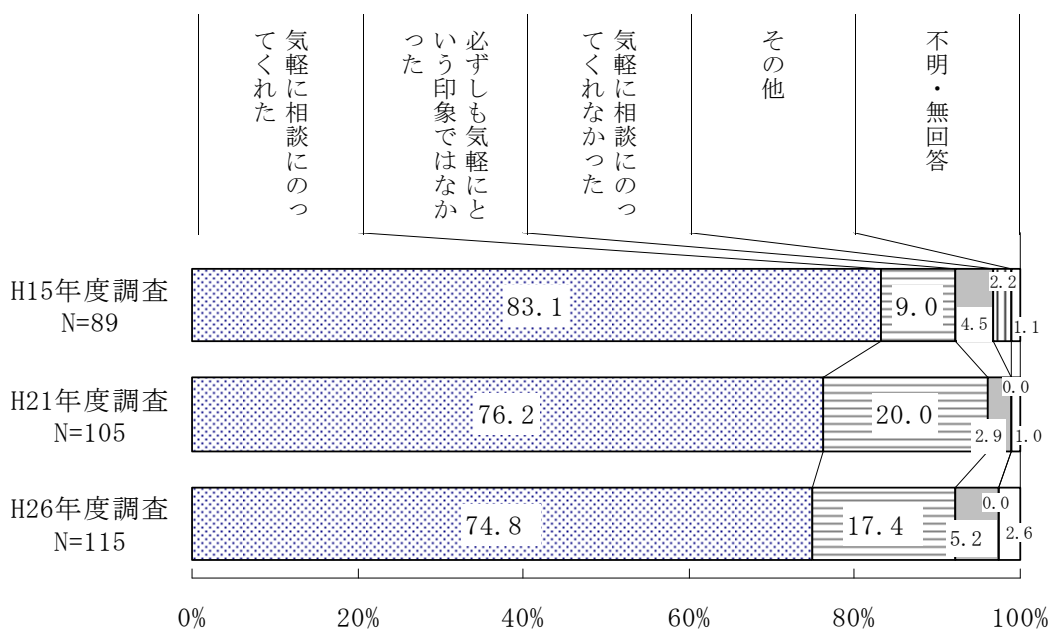
平成21年度調査と比較すると、今回調査の方が「自治体や公共施設の相談窓口」が6.7ポイント少なくなっている。

b) どの程度、その相談機関で相談しましたか。(1つだけ○)



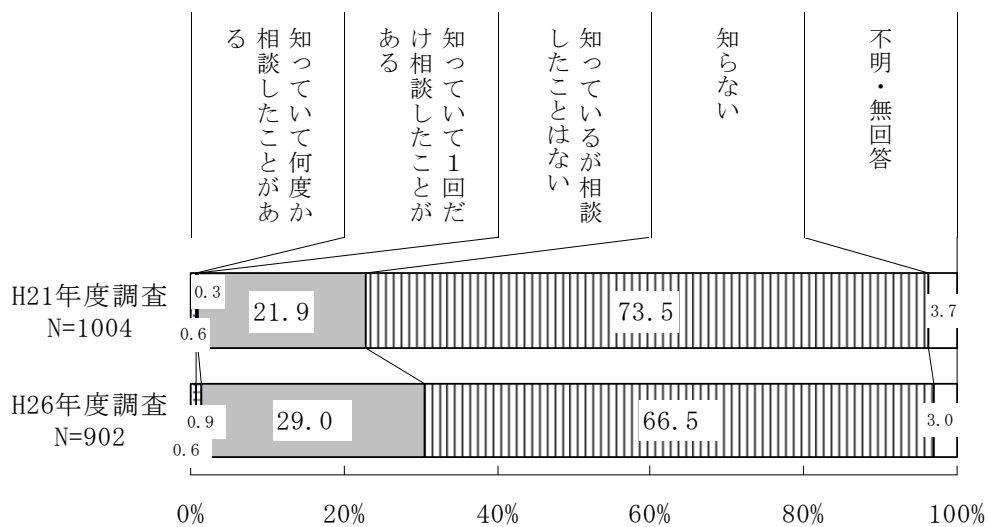
「よく相談した」が40.0%で最も多く、次に「たまに相談した」が38.3%、「ときどき相談した」が19.1%となっており、よく相談する人とたまに相談するだけの人が拮抗している。過去調査と比較すると、今回調査では「よく相談した」が10ポイント以上多くなっている。

c) その相談機関についてどのような印象をもたれましたか。(1つだけ○)



「気軽に相談にのってくれた」が74.8%で最も多く、次に「必ずしも気軽にという印象ではなかった」が17.4%となっている。過去調査と比較すると、今回調査の方が「気軽に相談にのってくれた」が少なくなっている。

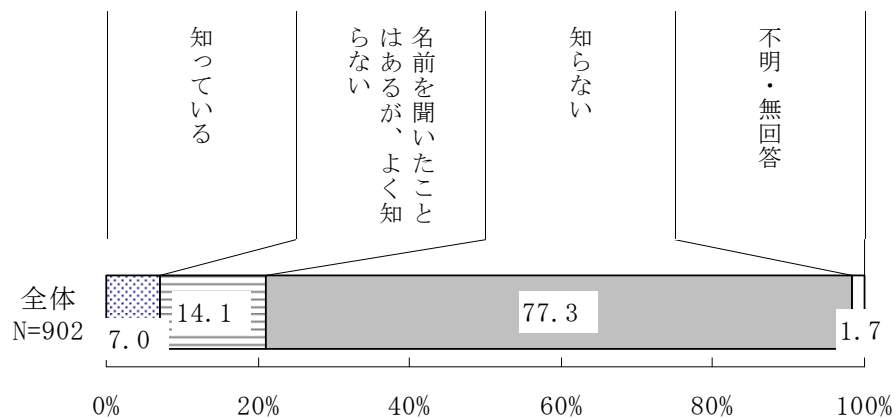
(3) みなさんにおうかがいします。あなたは市内の公民館やコミュニティセンター内にある「いきいきネット相談支援センター」のことを知っていますか。(1つだけ○)



「知らない」が66.5%で最も多く、次に「知っているが相談したことはない」が29.0%で続いており、認知度、利用度ともに低い。

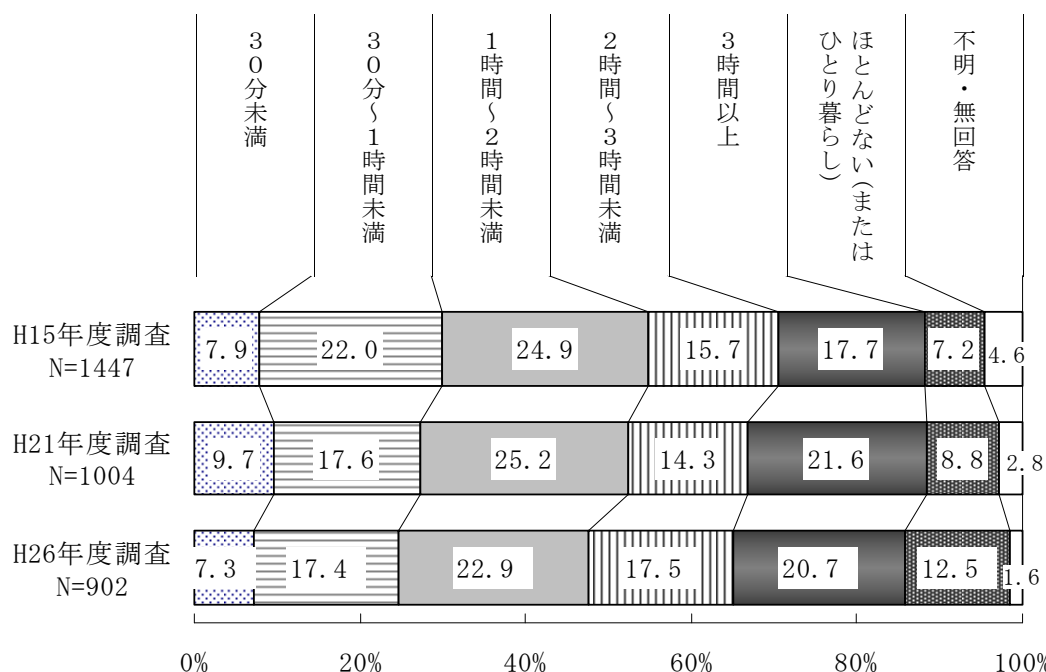
平成21年度調査と比較すると、今回調査の方が「知っているが相談したことはない」が7.1ポイント多い。

(4) あなたは「いきいきネット相談支援センター」に常駐して、地域の相談に対応するコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を知っていますか。(1つだけ○)



「知らない」が77.3%で最も多く、次に「名前を聞いたことはあるが、よく知らない」が14.1%、「知っている」が7.0%となっている。

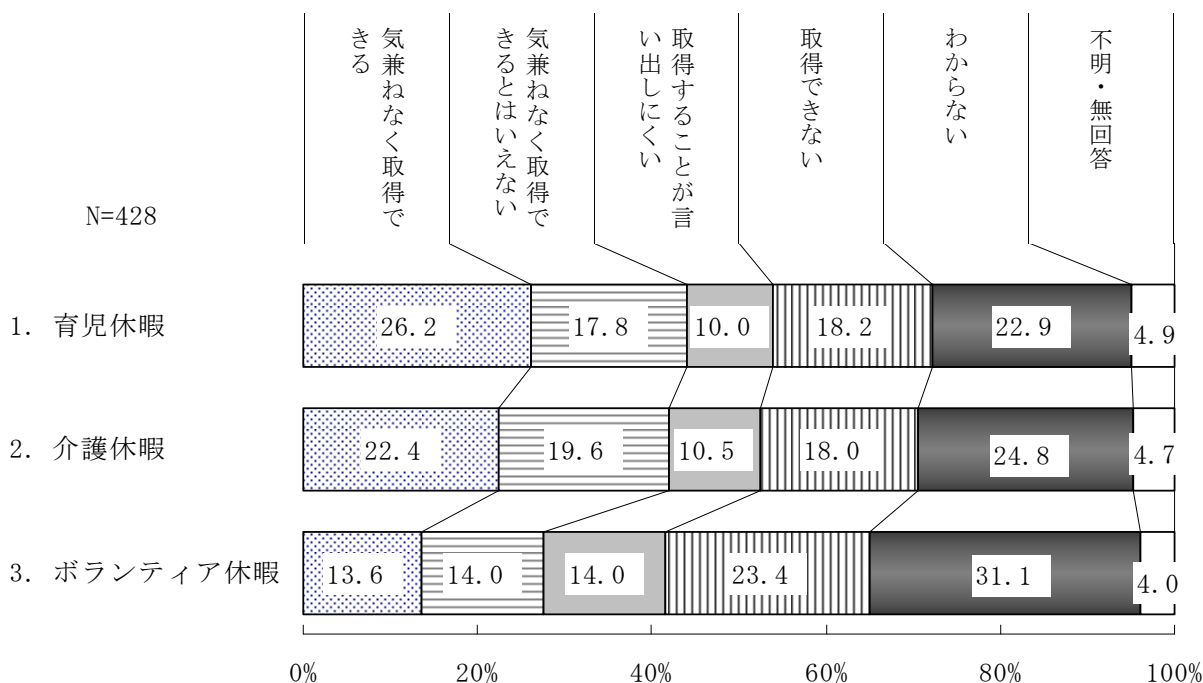
問 25. あなたのお宅では、家族の団らんなどの時間は、平均して平日(月～金) 1日につきどれくらいですか。(1つだけ○)



「1時間～2時間未満」が22.9%で最も多く、次に「3時間以上」が20.7%となっている。1時間以上団らんの時間がとれているのは61.1%にのぼる。一方で、1時間未満が24.7%、「ほとんどない(またはひとり暮らし)」が12.5%となっている。

過去調査と比較すると、今回調査では「ほとんどない(またはひとり暮らし)」がやや多くなっている。

問 47. (仕事を)「1. している」とお答えの方におうかがいします。あなたの職場では育児や介護などの家庭に事情がある場合やボランティア活動に従事したい場合は休暇を取得することができますか。(1つだけ○)



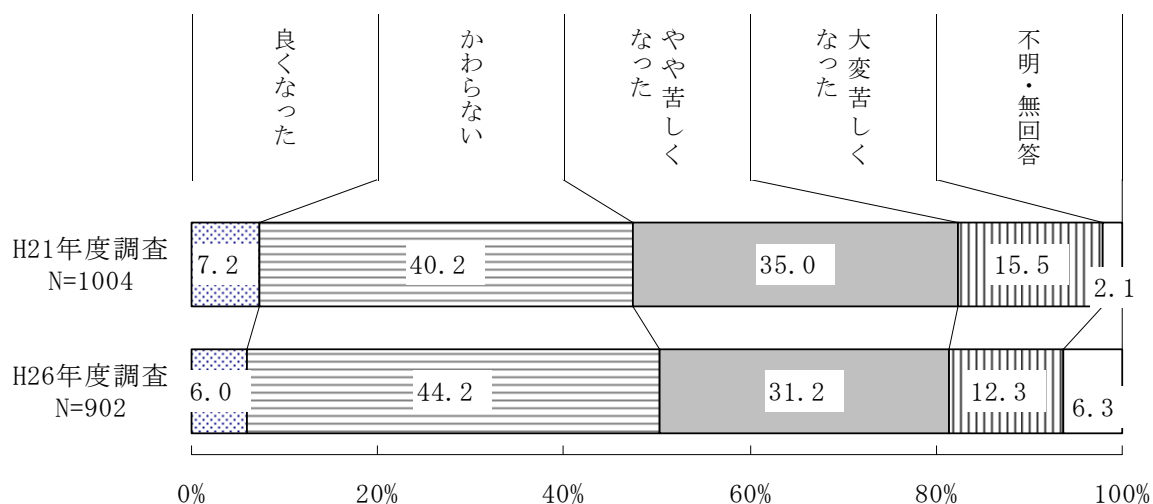
「育児休暇」は「気兼ねなく取得できる」が26.2%で最も多く、他の項目と比べても多い。次に「取得できない」が18.2%、「気兼ねなく取得できるとはいえない」が17.8%、「取得すること

が言い出しにくい」が 10.0%となっており、全体的には 46.0%が休暇を気軽に取れない状況である。

〔介護休暇〕は「わからない」を除くと「気兼ねなく取得できる」(22.4%)が最も多く、次に「気兼ねなく取得できるとはいえない」が 19.6%で続いている。

〔ボランティア休暇〕においても「わからない」を除くと「取得できない」が 23.4%で最も多く、3項目の中で最も割合が多い。

問 48. あなたのお宅では以前（約5年前）と比べて生活状況はどうか変わりましたか。（1つだけ〇）



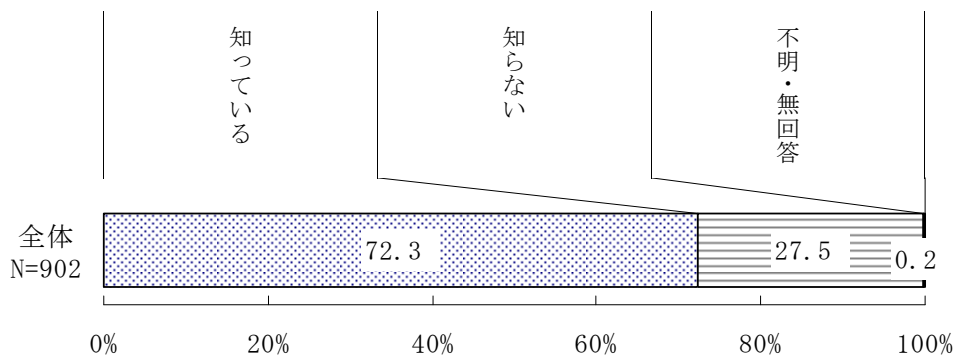
「かわらない」が 44.2%で最も多い。次に「やや苦しくなった」が 31.2%、「大変苦しくなった」が 12.3%で続いており、合計すると『苦しくなった』（「やや苦しくなった」と「大変苦しくなった」の合計）が 43.5%を占めている。

平成 21 年度調査と比較すると、今回調査では「かわらない」が 4.0 ポイント多くなり、『苦しくなった』が 7.0 ポイント少なくなっている。

4. 市営斎場建替事業について

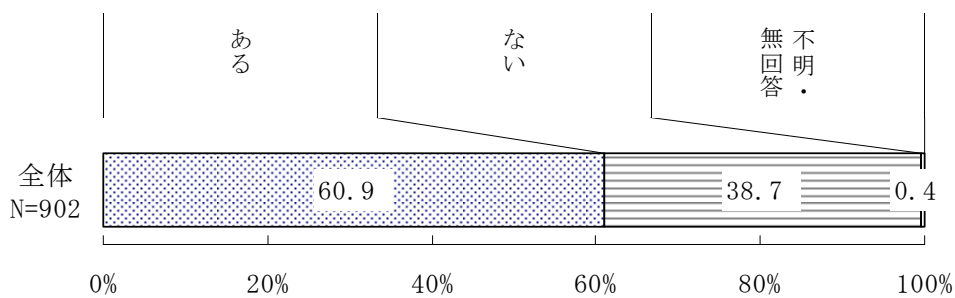
●葬儀のあり方について

問 26. あなたは現在の市営斎場がどこにあるかご存知ですか。(どちらかに○)



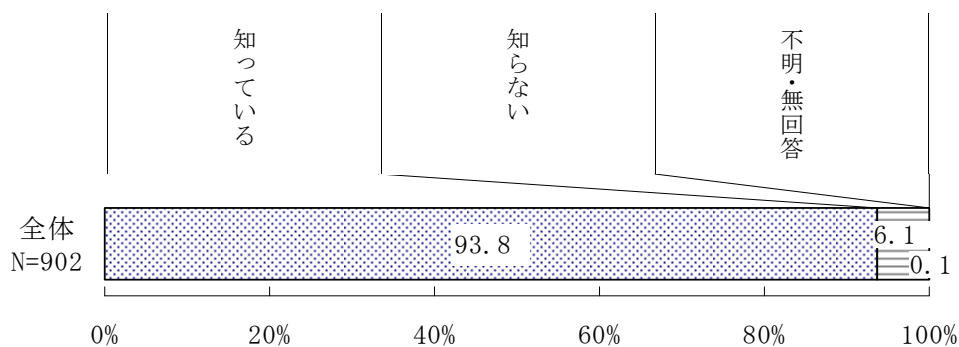
「知っている」が72.3%を占め、「知らない」は27.5%となっている。

問 27. あなたは現在の市営斎場に行かれたことがありますか。(どちらかに○)



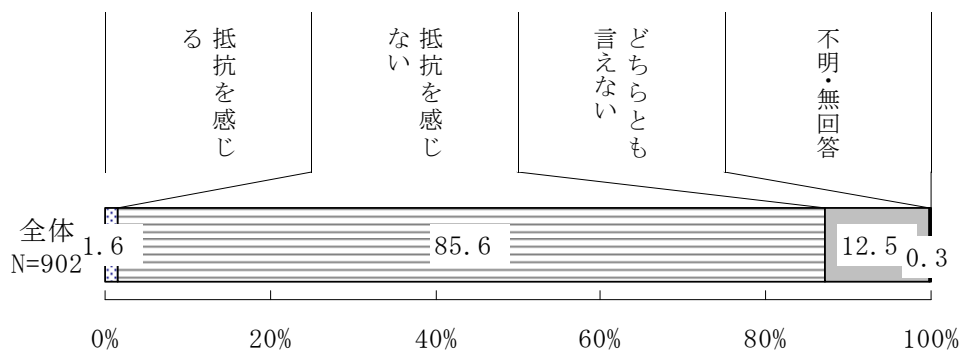
「ある」が60.9%で最も多く、「ない」が38.7%となっている。

問 28. あなたは家族葬というものをご存知ですか。(どちらかに○)



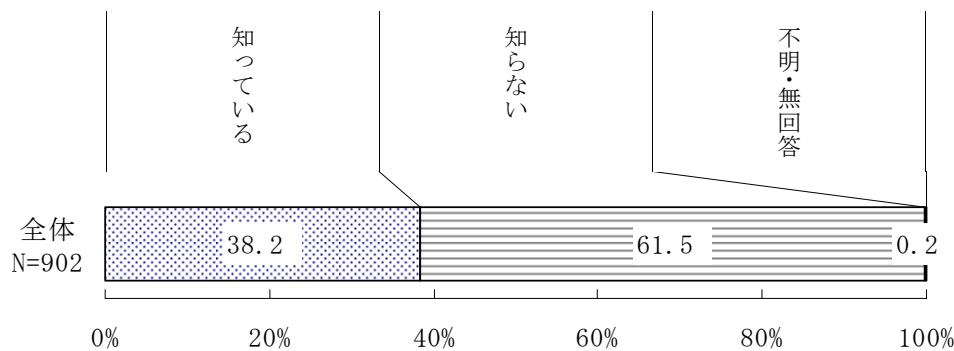
「知っている」が93.8%を占め、「知らない」は6.1%となっている。

問 29. あなたは家族や親しい人だけで執り行われる家族葬について、抵抗を感じますか。
 (1つだけ○)



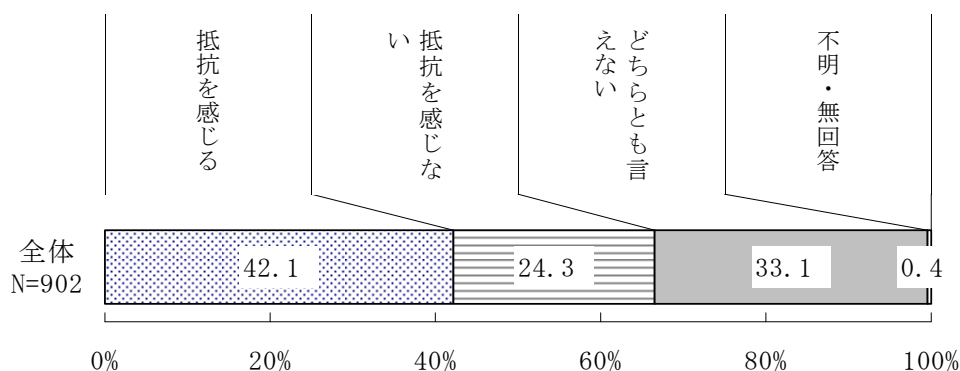
「抵抗を感じない」が 85.6%で最も多く、次に「どちらとも言えない」が 12.5%、「抵抗を感じる」が 1.6%となっている。

問 30. あなたは直葬^{ちよくそう}というものをご存知ですか。(どちらかに○)



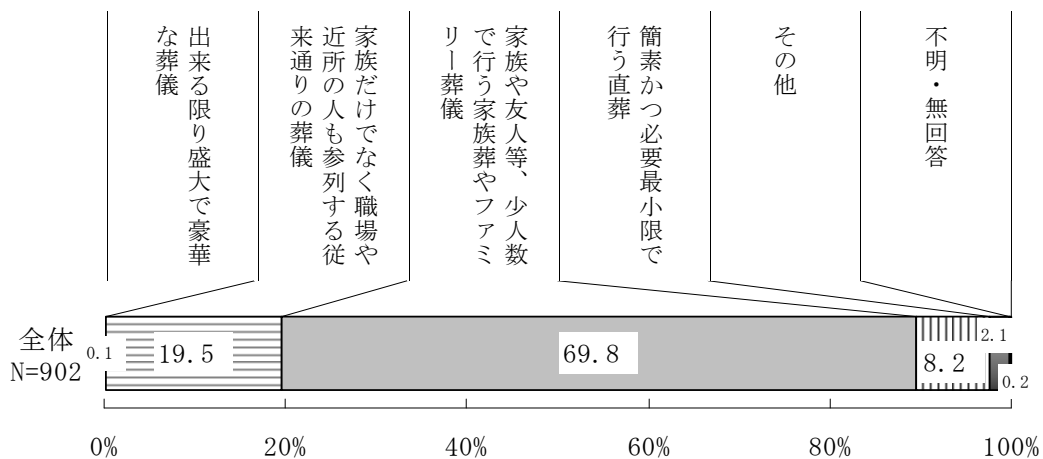
「知らない」が 61.5%を占め、「知っている」は 38.2%となっている。

問 31. あなたは通夜や告別式などの宗教的儀式を行わず、すぐに火葬を行う直葬について、抵抗を感じますか。(1つだけ○)



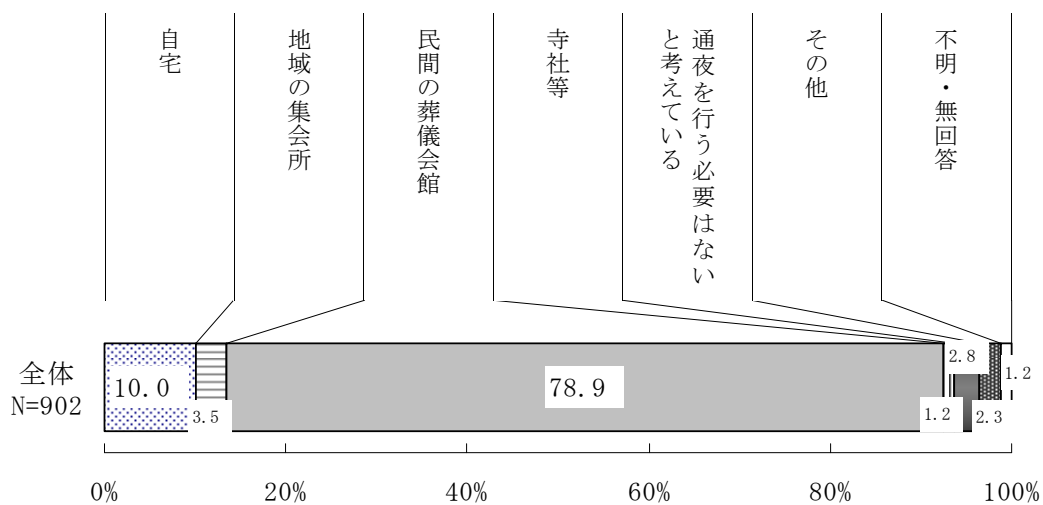
「抵抗を感じる」が 42.1%で最も多く、次に「どちらとも言えない」が 33.1%、「抵抗を感じない」が 24.3%となっている。

問 32. あなたはご家族などが亡くなったときには、どのような葬儀を行うと思いますか。
 (1つだけ○)



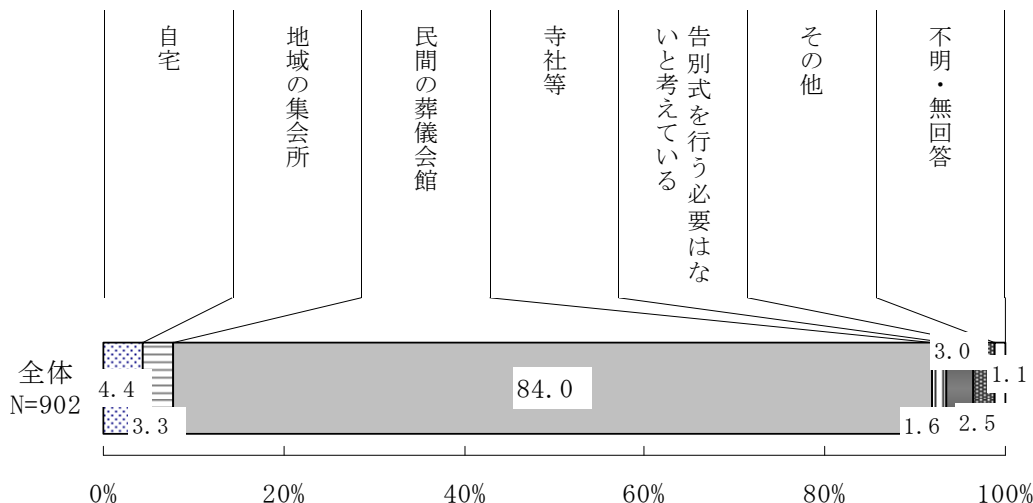
「家族や友人等、少人数で行う家族葬やファミリー葬儀」が 69.8%で最も多く、次に「家族だけでなく職場や近所の人にも参列する従来通りの葬儀」が 19.5%、「簡素かつ必要最小限で行う直葬」が 8.2%となっている。

問 33. あなたがご家族の通夜を行うとしたら、どこで行いたいと思いますか。(1つだけ○)



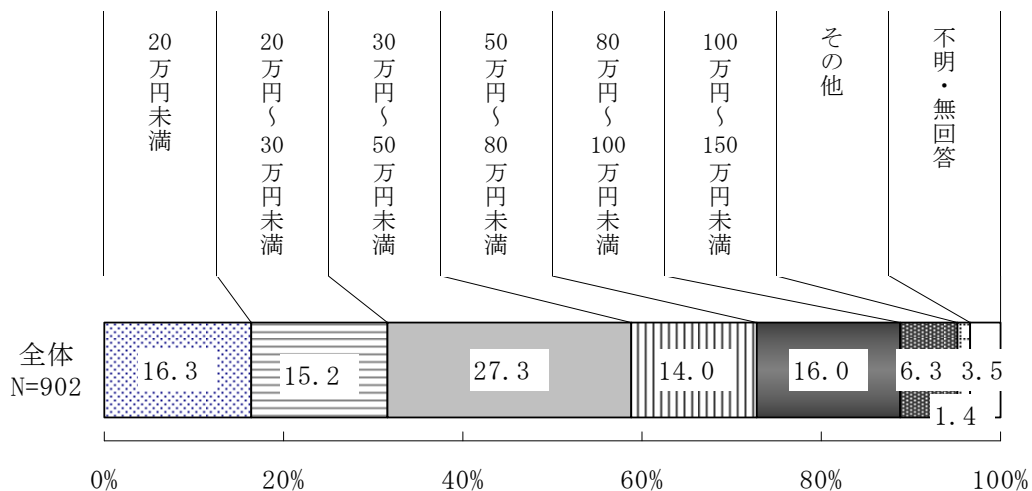
「民間の葬儀会館」が 78.9%で最も多く、次に「自宅」(10.0%)、「地域の集会所」(3.5%)、「通夜を行う必要はないと考えている」(2.8%)、「その他」(2.3%)、「寺社等」(1.2%)となっている。

問 34. あなたがご家族の告別式を行うとしたら、どこで行いたいと思いますか。(1つだけ○)



「民間の葬儀会館」が84.0%で最も多く、次に「自宅」(4.4%)、「地域の集会所」(3.3%)、「告別式を行う必要はないと考えている」(3.0%)、「その他」(2.5%)、「寺社等」(1.6%)となっている。通夜と比べると、「民間の葬儀会館」が多くなり、「自宅」が減っている。

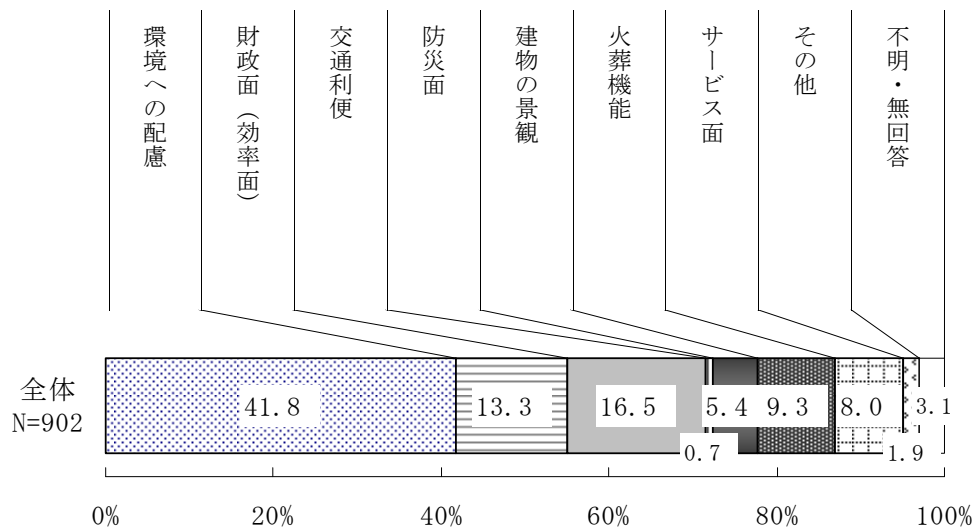
問 35. あなたは飲食費用や宗教関係者等の費用を除いた葬儀の費用について、下記のいずれの金額を妥当なものと考えますか。(1つだけ○)



「30～50万円未満」が27.3%で最も多く、次に「20万円未満」が16.3%、「80～100万円未満」が16.0%、「20～30万円未満」が15.2%となっている。50万円未満が58.8%を占めている。

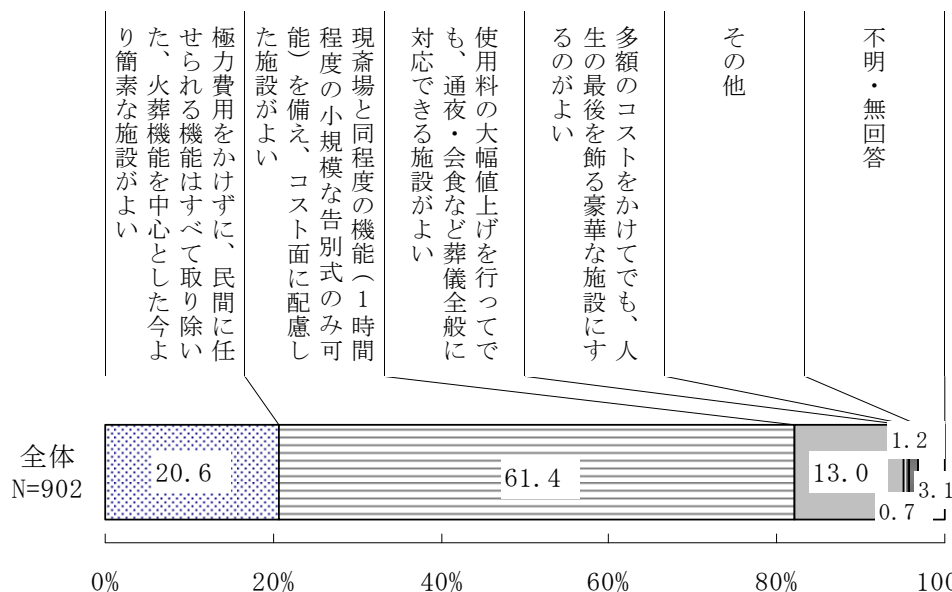
●斎場建設の方向性について

問 36. 現在市では斎場の建替事業を進めています。あなたは新しい斎場を建設するにあたって、何を重視すべきだと思いますか。あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。また、よろしければ、その具体的内容についてもお答えください。



「環境への配慮」が 41.8%で最も多く、次に「交通利便」が 16.5%、「財政面（効率面）」が 13.3%となっている。

問 37. あなたは新しい斎場の設備や費用について、どのようにお考えですか。（1つだけ○）

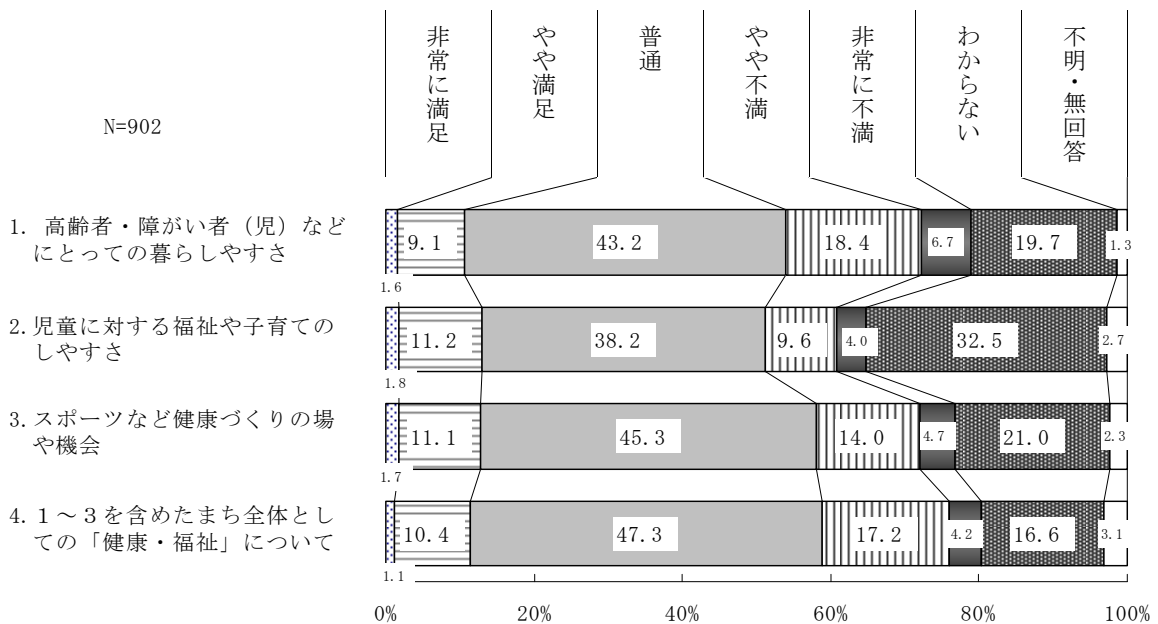


「現斎場と同程度の機能（1時間程度の小規模な告別式のみ可能）を備え、コスト面に配慮した施設がよい」が 61.4%で最も多く、次に「極力費用をかけずに、民間に任せられる機能はすべて取り除いた、火葬機能を中心とした今より簡素な施設がよい」が 20.6%、「使用料の大幅値上げを行ってでも、通夜・会食など葬儀全般に対応できる施設がよい」13.0%となっている。

5. 市政全般について

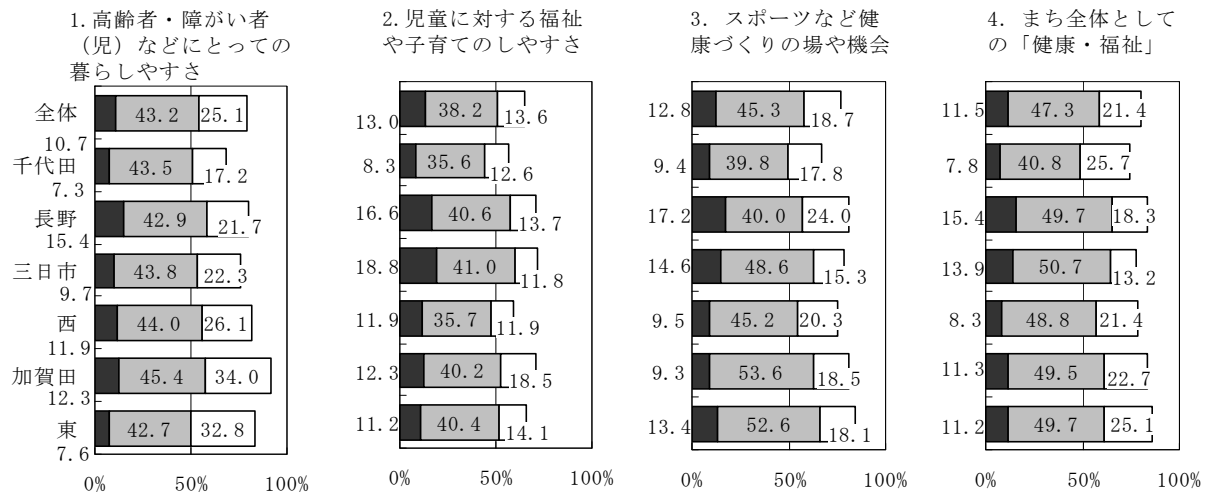
問 38. あなたは、現在の河内長野市の生活環境についてどの程度満足されていますか。次の各項目についてあなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。

<健康・福祉>



[まち全体としての「健康・福祉」について]は、「普通」が47.3%で最も多く、次に『不満』（「非常に不満」と「やや不満」の合計）が21.4%、『満足』（「非常に満足」と「やや満足」の合計）が11.5%となっており、満足度は低い。[高齢者・障がい者（児）などにとっての暮らしやすさ]については、『不満』が25.1%と多くなっている。

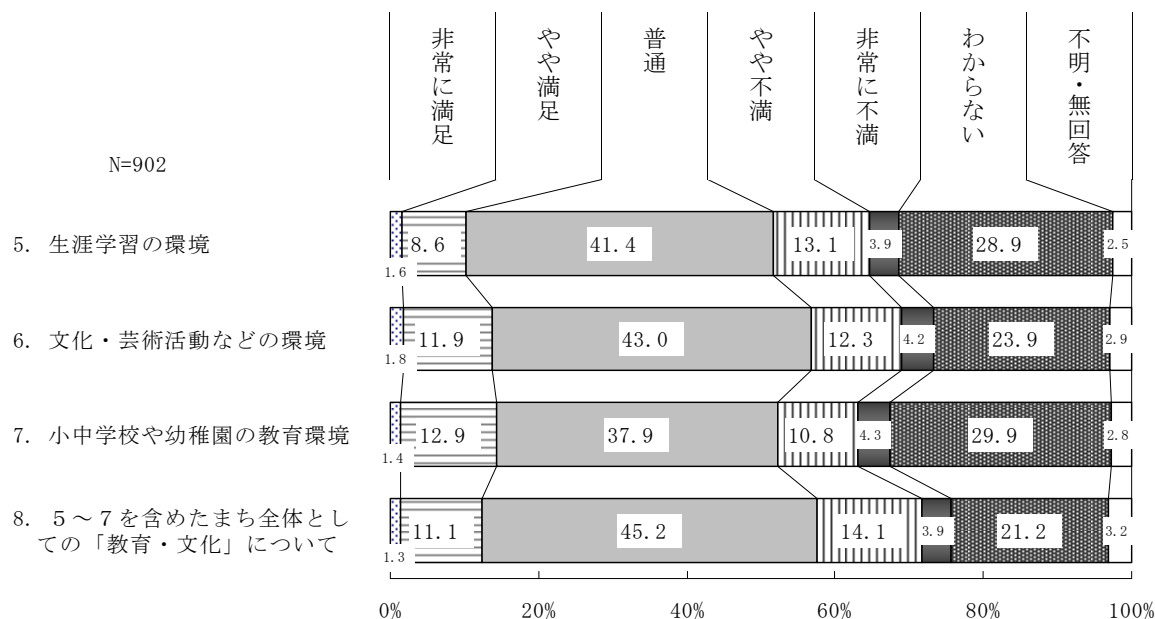
【地域別】



凡例
 ■ 満足（「非常に満足」＋「満足」）
 ■ 普通
 □ 不満（「やや不満」＋「非常に不満」）
 全体 N=902
 千代田地域 N=191 長野地域 N=175 三日市地域 N=144 西地域 N=84 加賀田地域 N=97 東地域 N=171

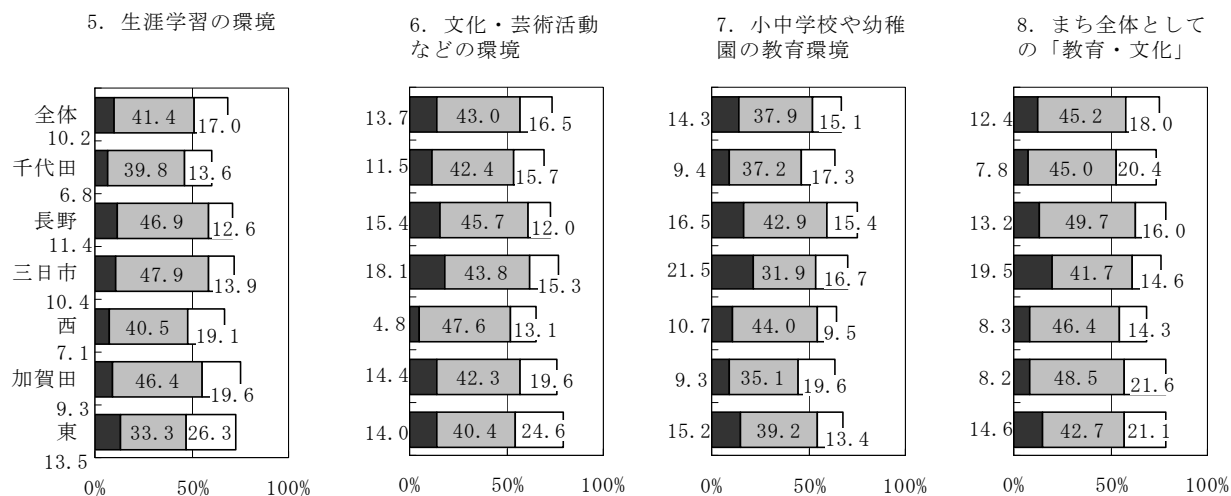
地域別にみると、長野地域ではいずれの項目も『満足』が他の地域よりも多く、15%を超えている。

<教育・文化>



[まち全体としての「教育・文化」について]は、『不満』が18.0%で『満足』(12.4%)を上回る。[文化・芸術活動などの環境]と[小中学校や幼稚園の教育環境]については、『満足』が[生涯学習の環境]と比べてやや多くなっている。

【地域別】



凡例

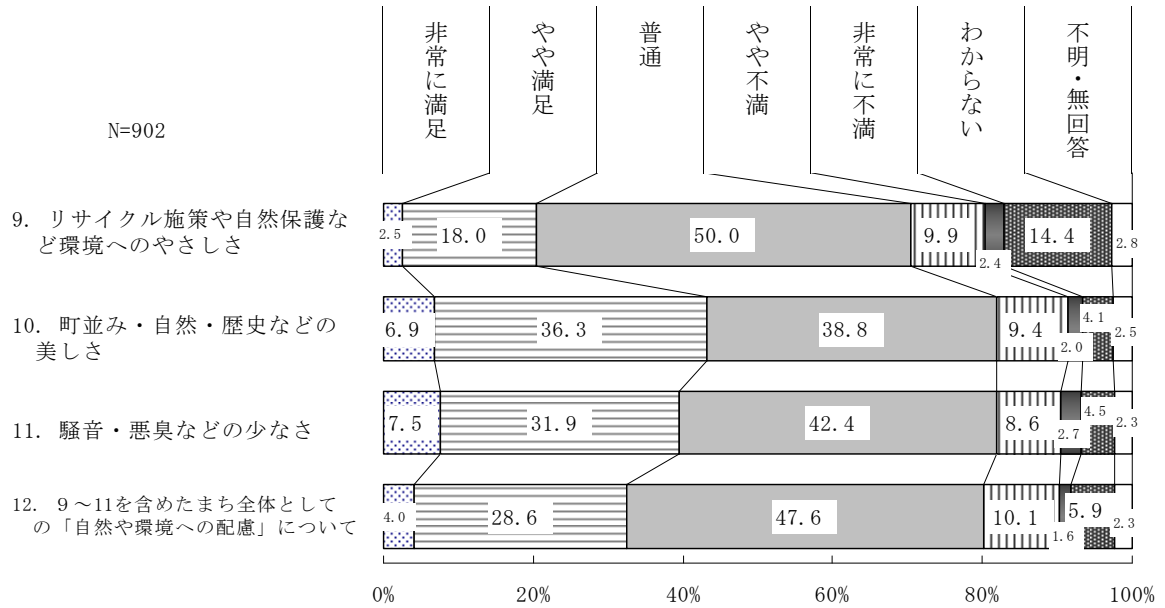
■ 満足（「非常に満足」＋「満足」） ■ 普通 □ 不満（「やや不満」＋「非常に不満」）

全体 N=902

千代田地域 N=191 長野地域 N=175 三日市地域 N=144 西地域 N=84 加賀田地域 N=97 東地域 N=171

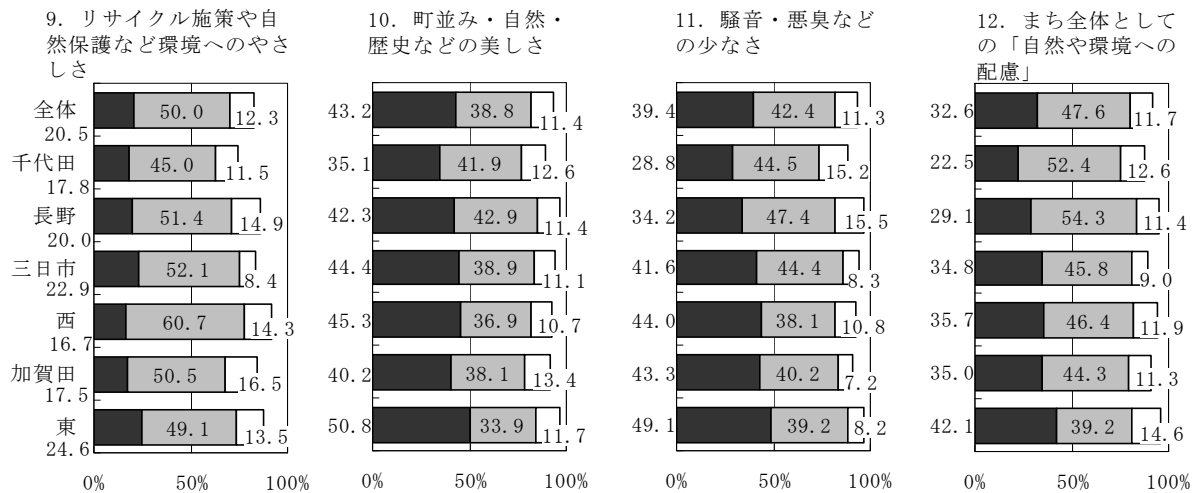
地域別にみると、三日市地域では、[小中学校や幼稚園の教育環境]の「満足」が21.5%と多い。千代田地域と加賀田地域と東地域では[まち全体としての「教育・文化」について]は、『不満』が2割を超えている。

<自然や環境への配慮>



[まち全体としての「自然や環境への配慮」について]は、『満足』が32.6%、『不満』が11.7%となっており、満足度が高い。[町並み・自然・歴史などの美しさ]は『満足』が43.2%で全ての項目の中で最も多い。[リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ]は『満足』が20.5%、『不満』が12.3%と他の項目に比べて満足度がやや低い。

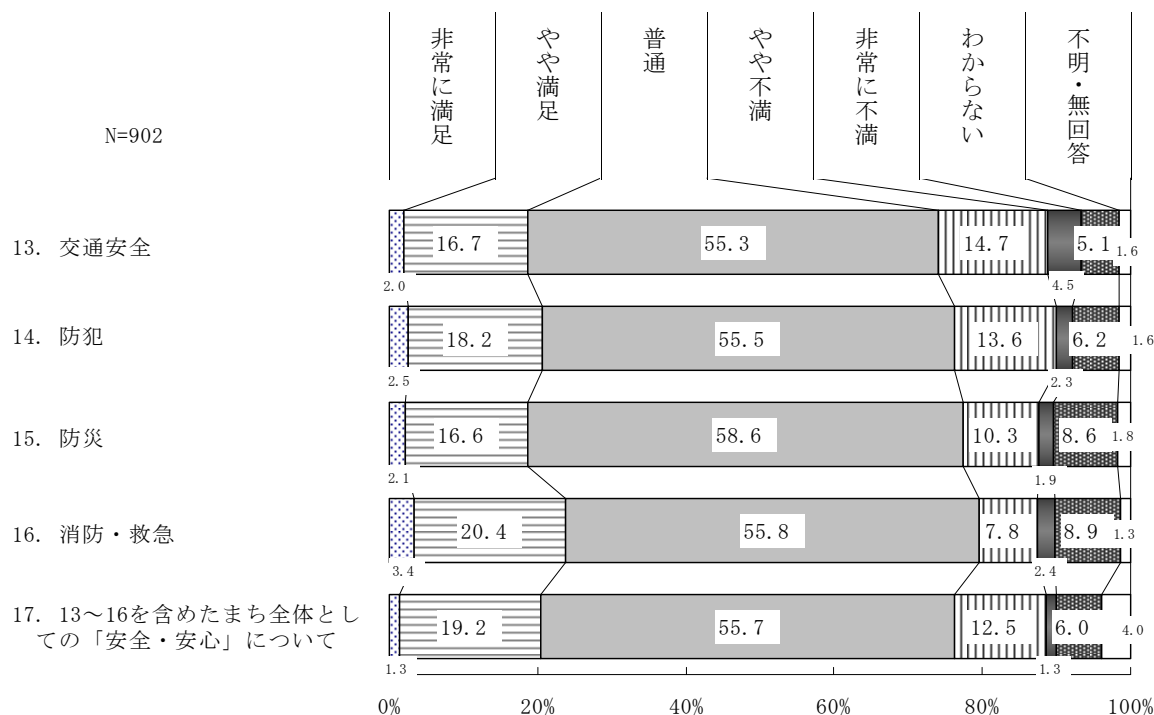
【地域別】



凡例
 ■ 満足（「非常に満足」＋「満足」） □ 普通 □ 不満（「やや不満」＋「非常に不満」）
 全体N=902
 千代田地域N=191 長野地域N=175 三日市地域N=144 西地域N=84 加賀田地域N=97 東地域N=171

地域別にみると、東地域では[町並み・自然・歴史などの美しさ][騒音・悪臭などの少なさ]で『満足』が約5割を占め、満足度が高い。

<安全・安心>



[まち全体としての「安全・安心」について] は、「普通」が55.7%で過半数を占める。『満足』が20.5%、『不満』が13.8%で『満足』が上回っている。[防犯][消防・救急]では『満足』が2割を超えて他の項目に比べてやや多い。

【地域別】

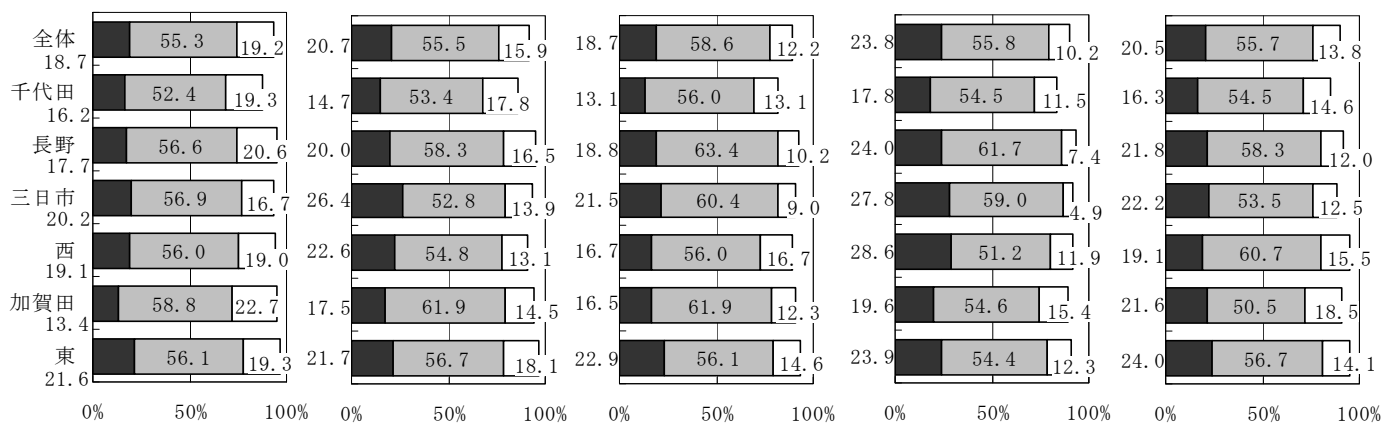
13. 交通安全

14. 防犯

15. 防災

16. 消防救急

17. まち全体としての「安全・安心」



凡例

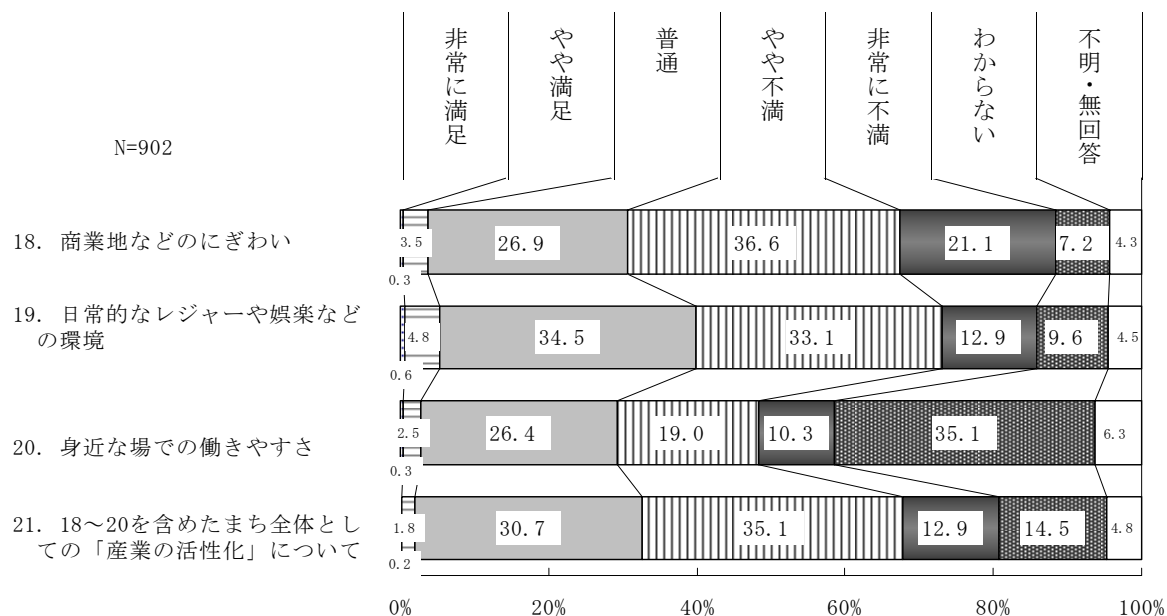
■ 満足（「非常に満足」+「満足」） ■ 普通 □ 不満（「やや不満」+「非常に不満」）

全体 N=902

千代田地域 N=191 長野地域 N=175 三日市地域 N=144 西地域 N=84 加賀田地域 N=97 東地域 N=171

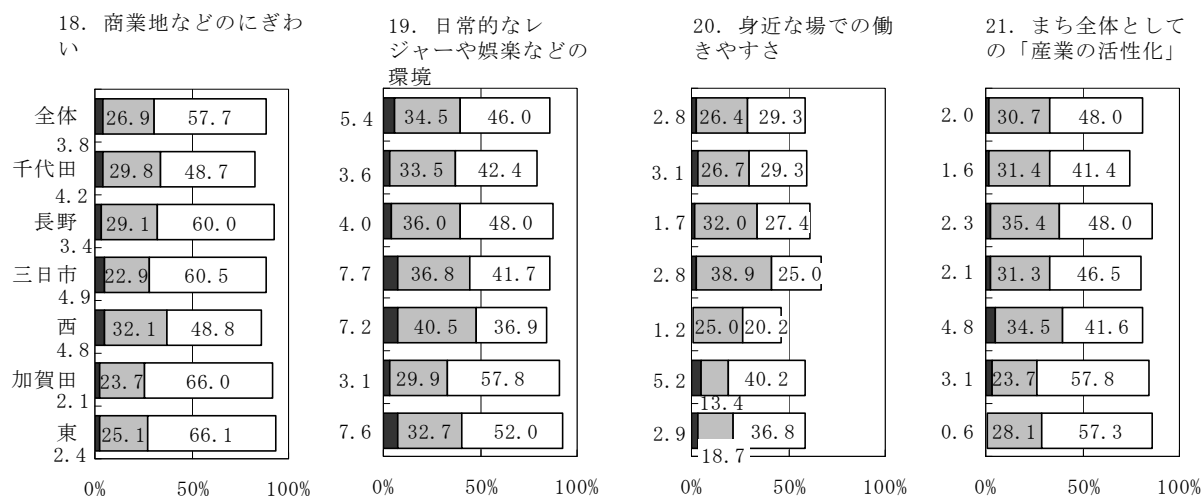
地域別にみると、三日市地域と西地域では[消防・救急]で『満足』が3割近くになっている。[交通安全]では三日市地域以外は『不満』が約2割となっている。

<産業の活性化>



[まち全体としての「産業の活性化」について]は、「やや不満」が35.1%で最も多く、『不満』は48.0%を占めている。[商業地などのにぎわい]は『不満』が57.7%にのぼっており、全ての項目の中で最も不満度が高い。[日常的なレジャーや娯楽などの環境]においても『不満』は46.0%と比較的多い。

【地域別】



凡例

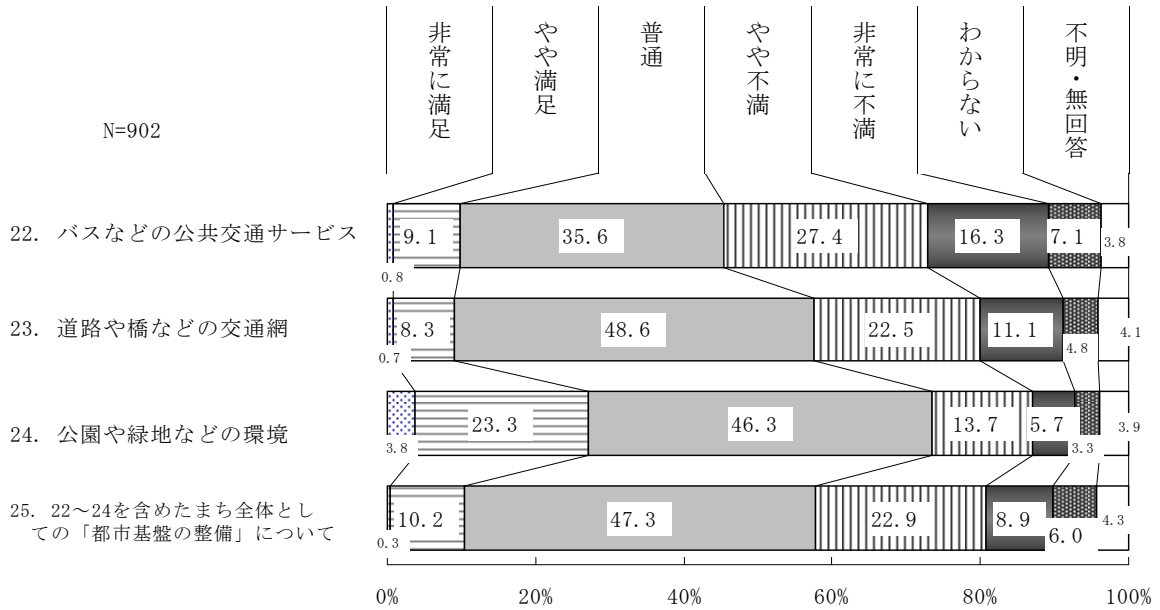
■ 満足（「非常に満足」＋「満足」） □ 普通 □ 不満（「やや不満」＋「非常に不満」）

全体 N=902

千代田地域 N=191 長野地域 N=175 三日市地域 N=144 西地域 N=84 加賀田地域 N=97 東地域 N=171

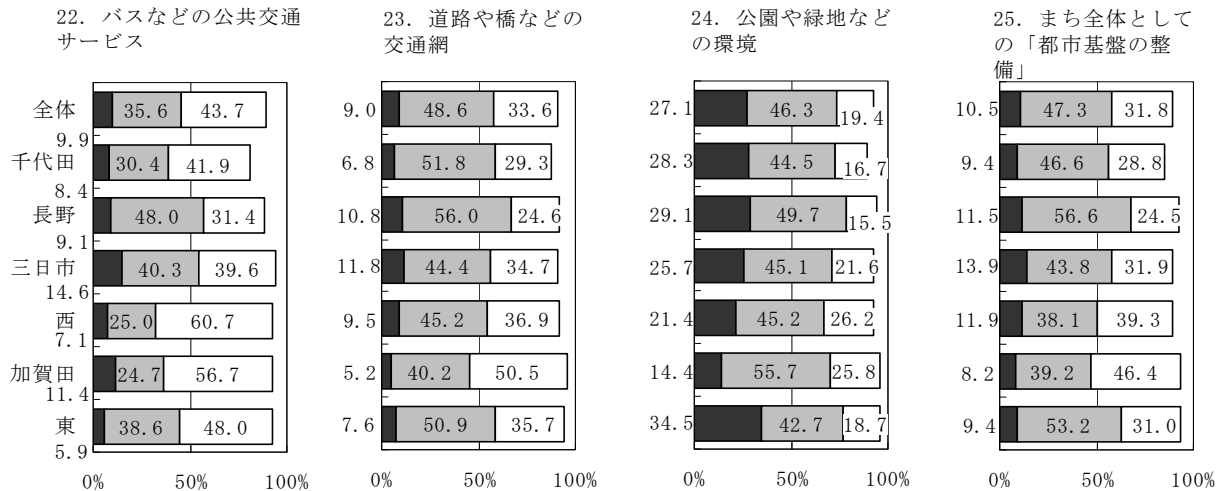
地域別にみると、[商業地などのにぎわい]は、千代田地域と西地域以外で『不満』が6割を超えて多い。[日常的なレジャーや娯楽などの環境]においては加賀田地域と東地域で『不満』が5割を超え他の地域に比べて多くなっている。

<都市基盤の整備>



[まち全体としての「都市基盤の整備」について]は、「普通」が47.3%で最も多く、『不満』が31.8%で『満足』(10.5%)を大きく上回っている。[バスなどの公共交通サービス][道路や橋などの交通網]は『不満』がそれぞれ43.7%、33.6%で不満度が高い。

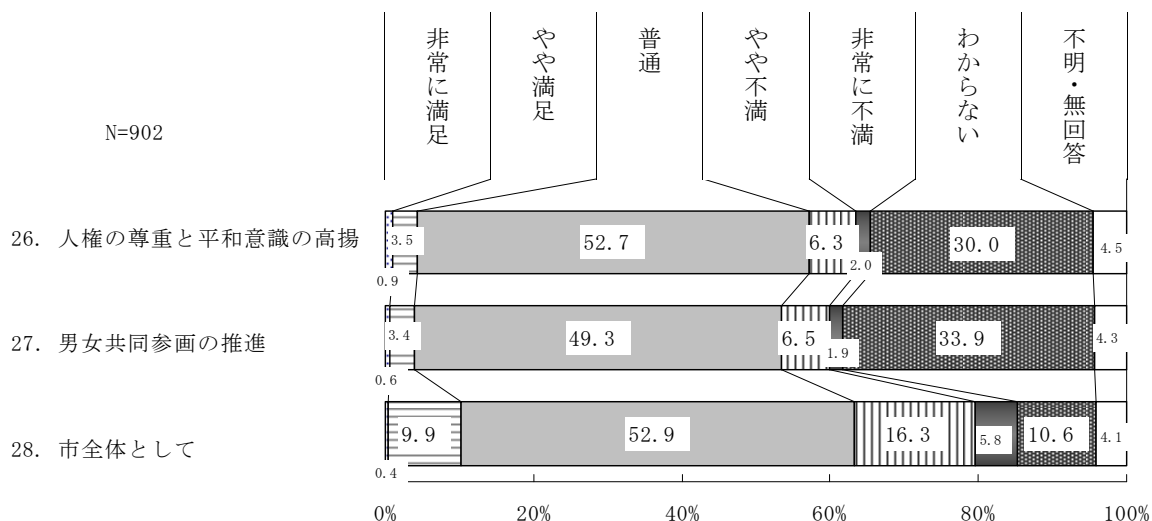
【地域別】



凡例
 ■ 満足（「非常に満足」＋「満足」）
 ■ 普通
 □ 不満（「やや不満」＋「非常に不満」）
 全体N=902
 千代田地域N=191 長野地域N=175 三日市地域N=144 西地域N=84 加賀田地域N=97 東地域N=171

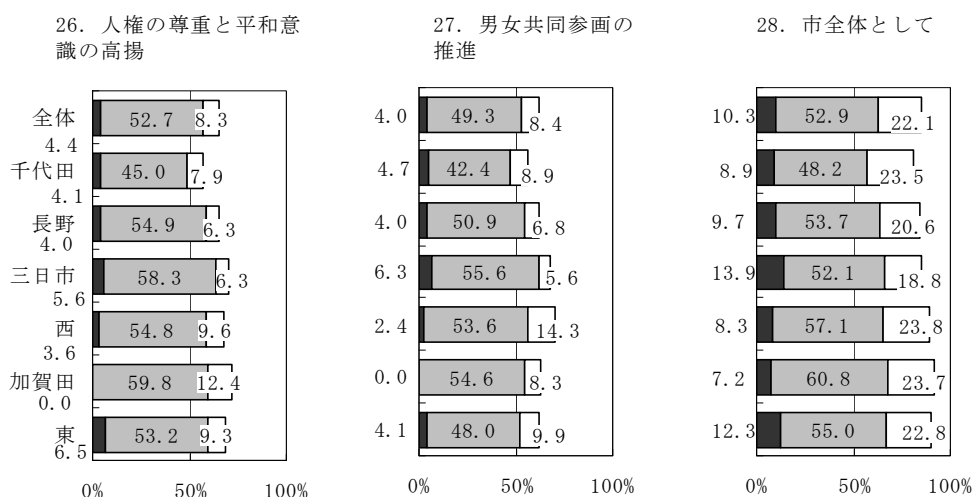
地域別にみると、東地域では[公園や緑地などの環境]で『満足』が3割を超えて多い。加賀田地域では[道路や橋などの交通網]で『不満』が5割と過半数を占める。また、加賀田地域では、[まち全体としての「都市基盤の整備」について]においても『不満』が約5割と他の地域に比べて多い。

<人権と男女共同参画、市全体について>



〔市全体として〕は、「普通」が 52.9%で最も多く、次に「やや不満」(16.3%)、「やや満足」(9.9%)の順となっており、『不満』(22.1%)が『満足』(10.3%)を上回っている。〔人権の尊重と平和意識の高揚〕は、「普通」が 52.7%で『不満』が 8.3%、『満足』が 4.4%となっている。〔男女共同参画の推進〕は「普通」が 49.3%、『不満』が 8.4%、『満足』が 4.0%となっている。

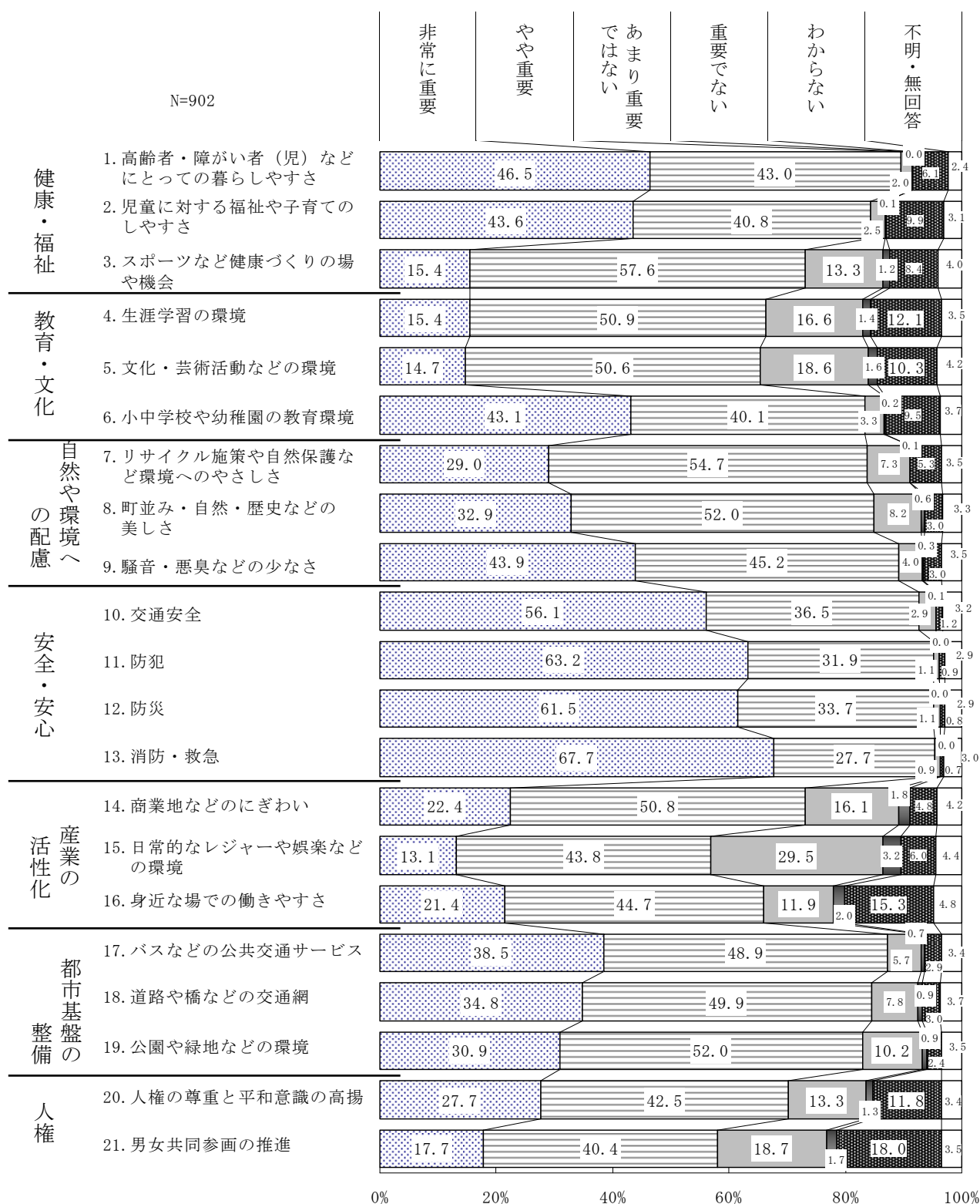
【地域別】



凡例
 ■ 満足（「非常に満足」＋「満足」） ■ 普通 □ 不満（「やや不満」＋「非常に不満」）
 全体 N=902
 千代田地域 N=191 長野地域 N=175 三日市地域 N=144 西地域 N=84 加賀田地域 N=97 東地域 N=171

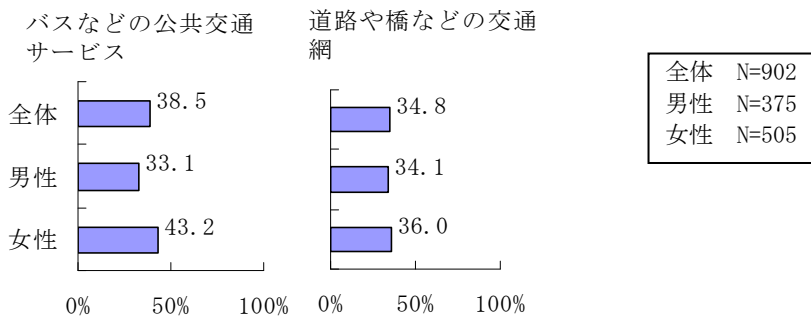
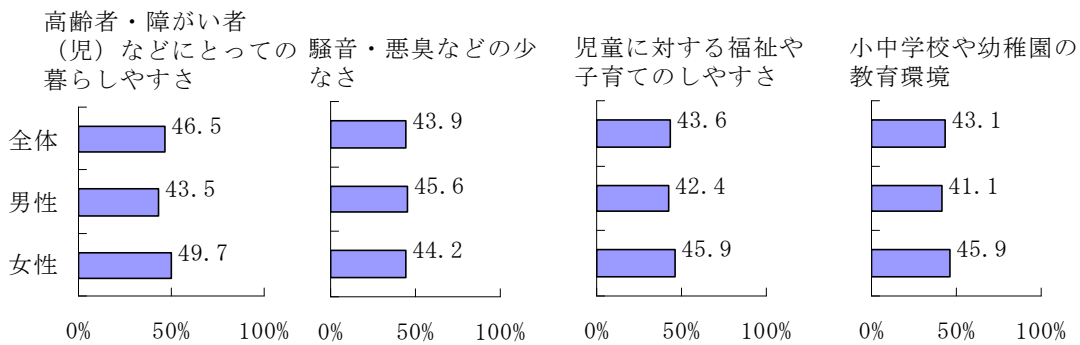
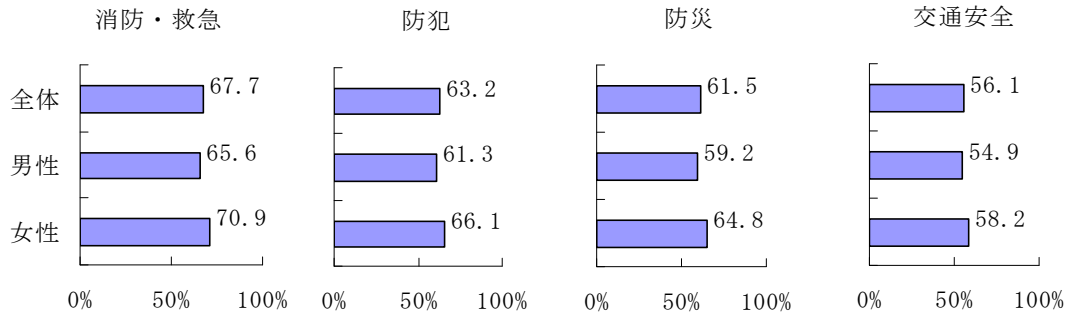
地域別にみると、三日市地域、東地域では〔市全体として〕で『満足』が1割を超えており、他の地域に比べてやや多い。西地域では〔男女共同参画の推進〕で『不満』が1割を超えて他の地域よりも多い。

問 39. あなたは、次のそれぞれについて、どの程度重要だと思われますか。各項目についてあなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。



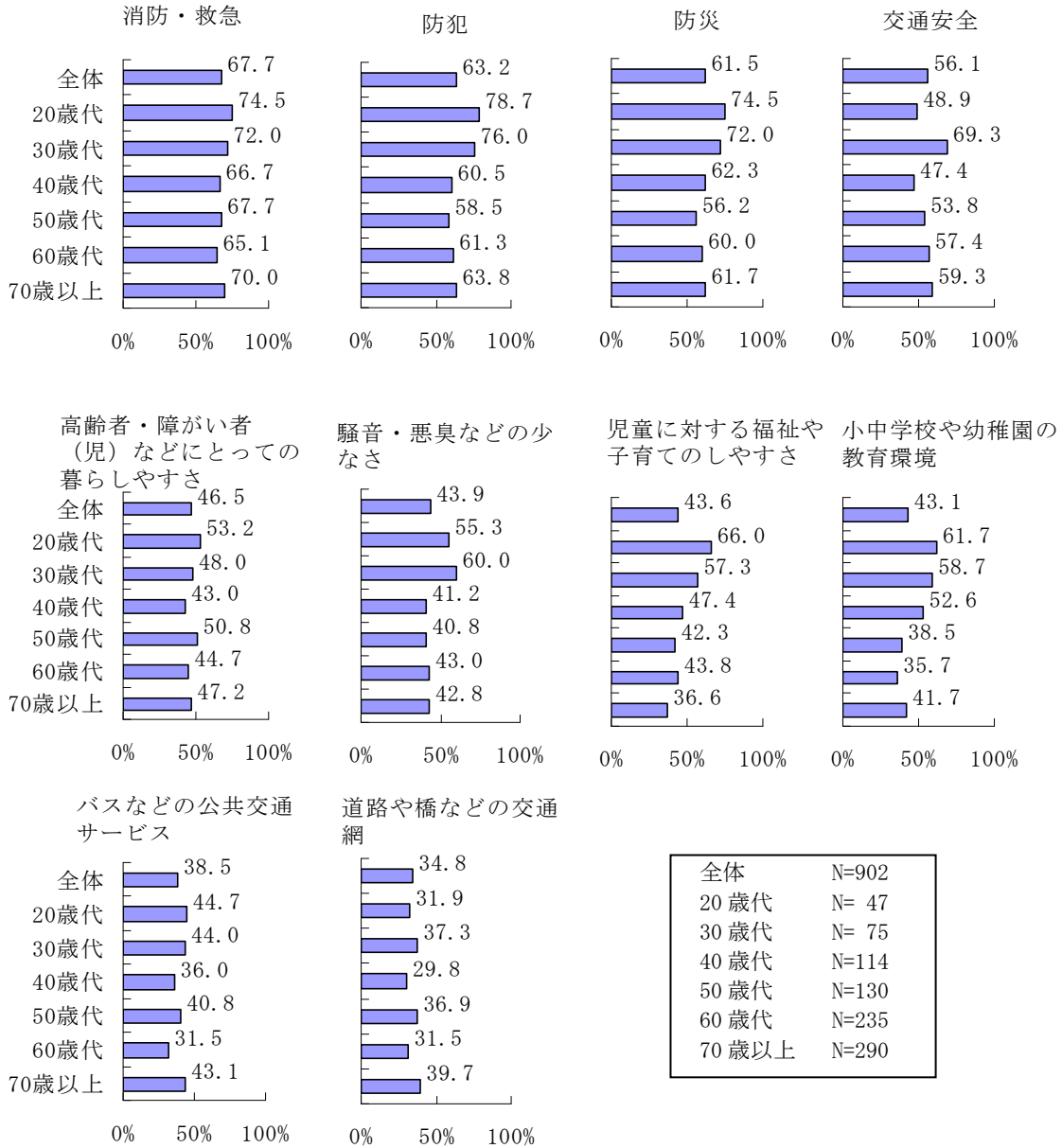
『重要』（「非常に重要」と「やや重要」）の割合をみると、[消防・救急]が95.4%で最も多く、次に[防災]（95.2%）、[防犯]（95.1%）、[交通安全]（92.6%）が9割台となっている。

【性別】



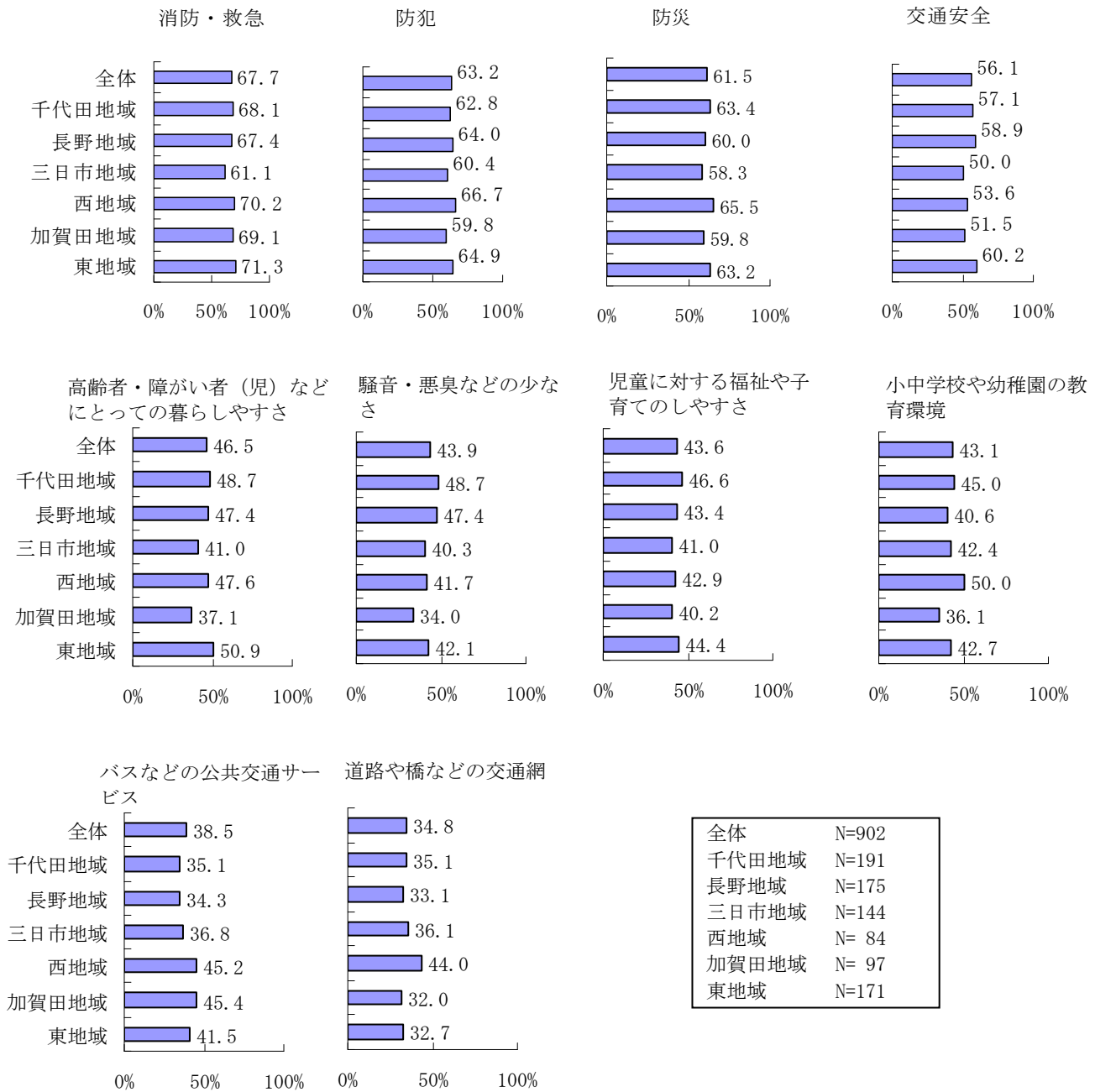
市の施策の重要度について、5段階評価のうち「非常に重要」の回答のみを抽出し、上位10項目を性別で集計した。ほとんどの項目において、女性の方が男性よりも「非常に重要」の割合が多くなっており、とりわけ「バスなどの公共交通サービス」において10.1ポイント大きく上回っている。

【年代別】



年代別にみると、子育て世代の多い20～30歳代では「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」と「小中学校や幼稚園の教育環境」で重要度が6割前後と他の年代に比べて高くなっている。また上位の「消防・救急」「防犯」「防災」の項目においても他の年代より重要度が高くなっている。

【地域別】



地域別にみると、東地域は「高齢者・障がい者（児）などにとっての暮らしやすさ」が、西地域は「小中学校や幼稚園の教育環境」が約5割で重要度が他の地域よりも高くなっている。

IV. まとめ

1. 地域とのかかわりについて

『自分の地域』として認識している範囲は、広域の「自分が住んでいる市」が約5割、狭域の「自分が属している町内会や自治会」が3割強とやや拮抗している。年代別にみると、30歳代を中心とした比較的若い世代では広域、年齢が高くなるほど狭域の認識が強い傾向にある。

地域に対して『愛着がある』（「愛着を感じている」と「少し愛着を感じている」の合計）は8割台で地域への愛着は強く、その傾向は、居住年数30年以上でさらに強まっている。

愛着を感じている要素としては、「長い間住み続けて、なじみがあるから」が約5割、「静けさや緑が多いなど、環境がよいから」が3割で、居住年数が長いほどなじみ深さが強く、居住年数が短いと環境のポイントが高い。

近所づきあいの程度は、「会えば親しく話をする人がいる」が4割、次に「あいさつ程度がほとんど」が4割弱、「近所の仲の良い人とよく行き来している」が2割弱でほとんどの人が良好な関係を築いている。年代別では70歳以上の人、居住年数では50年以上の人で「近所の仲の良い人とよく行き来している」の割合が、他の年代や居住年数に比べて多く、地域への愛着度と近所づきあいの親密度とも相関がみられる。

近隣や地域との関わり方については、「今のままでよい」が約8割を占める。

地域における行事や活動への参加状況は、[地域の祭りや盆踊りなど][町内会などの活動]は『参加』（「参加している」「参加したことがある」の合計）はそれぞれ6割台と多いものの、[青少年健全育成の活動][福祉委員会の活動][老人会の活動]は、参加割合、認知度がともに低い。

同居している家族については、本人も含めて「65歳以上の方」が6割を超え、8割近くが高校生以下の子どもや高齢者、要介護者、障がい者と同居している。地域別にみると、西地域は高齢者が多く、三日市地域は高校生以下の子どもが多い。

地域の福祉課題について関心のある人は9割弱と関心度が高い。また、今住んでいる地域への愛着度が高いほど、地域の福祉課題への関心も高くなっている。

地域の福祉課題に対する住民相互の自主的な支えあいや助けあいの必要性については、9割を超える人が必要性を感じており、前問の福祉課題への関心度別にみると、関心度が高いほど必要性も強く感じている。また、5年前との変化は、「必要性が強くなったと思う」が5割強にのぼる。

自身や家族に日常生活で介助や支援が必要になったとき、近所の人などから手助けしてもらうことについて、「少し抵抗感があるがお願いしたい」が半数を占めており、「ぜひお願いしたい」と合わせると6割強が手助けを求めている。災害等の場合の手助けになると、『お願いしたい』（「ぜひお願いしたい」と「少し抵抗感があるがお願いしたい」の合計）は8割強になる。

また、災害時における地域での助けあいに備えて個人情報地域で収集しておくことについて、8割弱は必要だと考えている。

地域まちづくり協議会は各小学校区で設立中であるため、約半数で認知されているものの、その参加経験者は1割程度にとどまっている。

ボランティア活動に参加している人は、いずれの活動も1割未満と少なく、今後の参加意向も低い。活動項目の中では、[ボランティア団体などに加入しての活動]が参加率、参加意向ともに他の活動よりやや多い。活動に参加できない理由としては、「学校、仕事、家事などが忙しく、時間が取れない」が4割で最も多く、50歳未満では6～7割台にのぼり、また、30歳代で

は「小さな子どもや介護を必要とする家族がいる」が約3割となっており、若い世代のワーク・ライフ・バランスの難しさは平成21年度調査から変わっていない。60歳以上になると「健康・体力面に自信がない」が3～5割程度にのぼる。

地域やまちづくりの活動への参加は、「ほとんどない」が過半数を占め、年に1回以上参加している人を上回る。特に若い世代では、7～9割がほとんど参加していない状況である。

協働のまちづくりについては、全体ではいずれの項目も『感じる』（「非常に感じる」と「やや感じる」の合計）よりも『感じない』（「あまり感じない」と「ほとんど感じない」の合計）の割合が多くなっているが、地域やまちづくりの活動に「週に1回程度」参加している人では『感じる』が『感じない』よりも多くなっているなど、参加している人の方が協働のまちづくりへの評価は高い傾向にある。

2. 地域の福祉サービスなどについて

高齢者・障がい者や子育て支援などのサービスを最近1年間に自身または家族が利用したことがある人は2割弱で、そのうち7割がサービスに満足している。

社会福祉協議会の認知度は、7割を超えており、平成21年度調査より認知度が上がっている。

福祉委員会の認知度は6割強で、その割合は増えている。福祉委員会が中心となって行う小地域ネットワーク活動の認知度では、知らない人が過半数を占めるが、平成21年度調査よりも認知度は上昇傾向にある。活動内容の中で、受けたことのあるサービスでは「見守り、声かけ訪問活動」と「いきいきサロン活動」がそれぞれ2割弱となっている。

民生委員・児童委員の認知度は8割強で、そのうち担当委員の名前まで知っているのは5割弱にとどまる。

3. 「つながり」などについて

地域で高齢者や障がい者（児）が困っている場面にあった時の対応としては、「ためらわずに援助する」が6割強で最も多いが、次に「わからない」が2割強となっている。

日頃の生活の中で悩みや不安を『感じる』（「感じている」と「やや感じている」の合計）ことは、全項目中で「自分や家族の老後のこと」が8割強で不安感が大きい。カテゴリー別に見ると、【仕事】では「景気がよくないこと」が5割強、【生活】では「貯蓄や年金など将来の生活に対する蓄えのこと」が7割弱、「生活費の負担が大きいこと」と「収入が少ないこと」がそれぞれ約5割、【家族】では「自分や家族の老後のこと」と「自分や家族の健康のこと」がそれぞれ約8割、【地域や社会】では「災害などのこと」と「生活環境の保全や環境問題のこと」がともに5割台で不安が大きくなっている。

福祉関係の悩みで相談機関を利用した経験がある人は1割強で、相談先としては、「支援センターや介護・保健施設など」が3割強、「病院などの医療機関」と「自治体や公共施設の相談窓口」がそれぞれ2割強となっている。そのうち、頻繁に相談した人は4割で、前回調査から10ポイント以上多くなっている。相談機関の印象としては、7割強が「気軽に相談にのってくれた」と感じているが、その割合は年々減少しつつある。

いきいきネット相談支援センターの認知度は、「知らない」が7割弱、「知っているが相談したことはない」が約3割で、認知度、利用度ともに低い。センターに常駐するコミュニティソーシャルワーカーについても、「知らない」が8割近いことから、今後も広報が必要である。

家族団らんで過ごす時間は、約6割が1時間以上とれている一方で、1時間未満が2割強と

なっている。

仕事をしている人に休暇制度の取得状況をたずねたところ、[育児休暇]と[介護休暇]は「気兼ねなく取得できる」が2割台で比較的取得しやすく、[ボランティア休暇]では1割強にとどまっている。全体的には、制度の有無がわからない、取得できない、の合計が各制度でそれぞれ4～5割台となっており、制度の周知と利用促進が求められる。

5年前と比べての生活状況の変化は、『苦しくなった』と「かわらない」がそれぞれ4割で拮抗している。

4. 市営斎場建替事業について 葬儀のあり方について

市営斎場の場所を知っている人は7割強で、行ったことがある人は6割を占める。

家族葬は、認知度が9割を超えており、9割近い人に抵抗なく受け入れられている。

直葬については、知らない人が6割で、4割強が抵抗感をもっている。

家族の葬儀では、「家族や友人等、少人数で行う家族葬やファミリー葬儀」が7割、「家族だけでなく職場や近所の人も参列する従来通りの葬儀」が2割で、家族葬が広まっている。通夜、告別式の場合としては、「民間の葬儀会館」が8割前後で利用が多い。

葬儀費用として妥当と考える額は、50万円未満が6割弱を占めており、家族葬などを想定した金額が主流になりつつある。

斎場建設の方向性について

市が新しい斎場を建設するにあたり重視すべきこととしては、「環境への配慮」が4割、「交通便利」と「財政面（効率面）」がそれぞれ1割強となっている。

新しい斎場の設備や費用については、「現斎場と同程度の機能（1時間程度の小規模な告別式のみ可能）を備え、コスト面に配慮した施設がよい」が6割、「極力費用をかけずに、民間に任せられる機能はすべて取り除いた、火葬機能を中心とした今より簡素な施設がよい」が2割、「使用料の大幅値上げを行ってでも、通夜・会食など葬儀全般に対応できる施設がよい」が1割強で、現状保持が優勢ではあるが小規模化のニーズも高まっている。

5. 市政全般について

市の生活環境については、全項目中[町並み・自然・歴史などの美しさ]と[騒音・悪臭などの少なさ]で約4割が『満足』（「非常に満足」と「満足」の合計）しており、[まち全体としての「自然や環境への配慮」]が高い評価を得ている。反対に、[商業地などのにぎわい]では6割近くが『不満』（「やや不満」と「非常に不満」の合計）を感じており、[まち全体としての「産業の活性化」]は不満度が高い。

市の施策として重要度が高いものは、[消防・救急][防災][防犯][交通安全]といった安心・安全に関わる項目で、いずれも『重要』（「非常に重要」と「やや重要」の合計）が9割を超えている。性別にみると、ほとんどの項目において女性の方が男性よりも「非常に重要」の割合が多くなっており、年代別にみると、子育て世代の多い20～30歳代では[児童に対する福祉や子育てのしやすさ]と[小中学校や幼稚園の教育環境]の「非常に重要」が6割前後と高い。地域別にみると、東地域で[高齢者・障がい者（児）などにとっての暮らしやすさ]、西地域では[小中学校や幼稚園の教育環境]の重要度が高い。

6. 経年比較

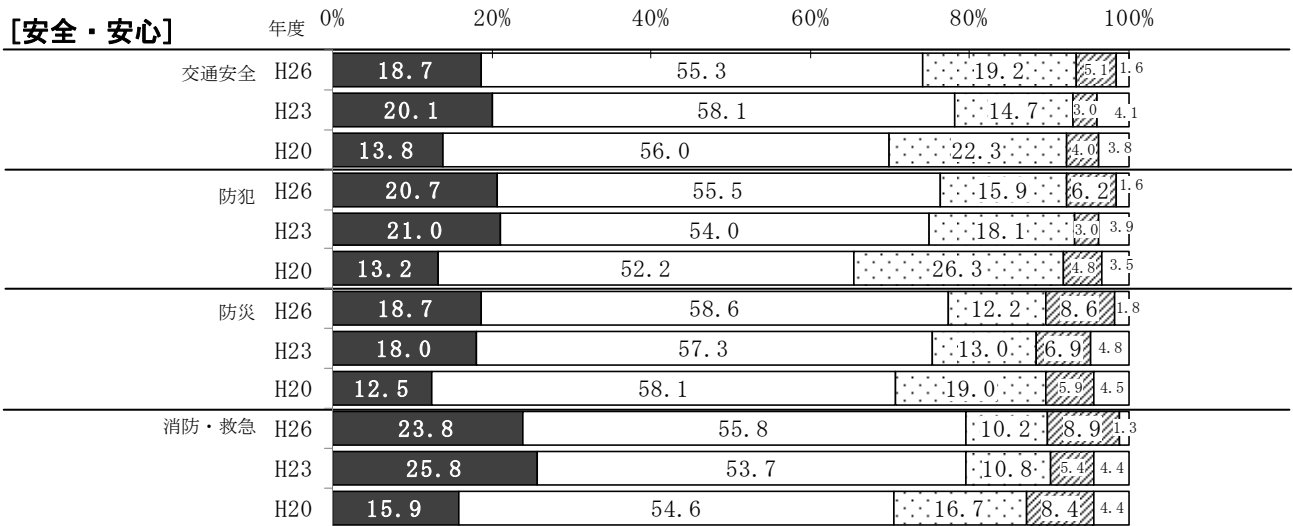
■満足度

現在の河内長野市の生活環境の満足度について経年比較でみると、「児童に対する福祉や子育てのしやすさ」「防災」でわずかに上昇しているが、多くの項目で、平成20年度調査に比べて上昇傾向にあるものの、平成23年度調査と比べると減少傾向にある。

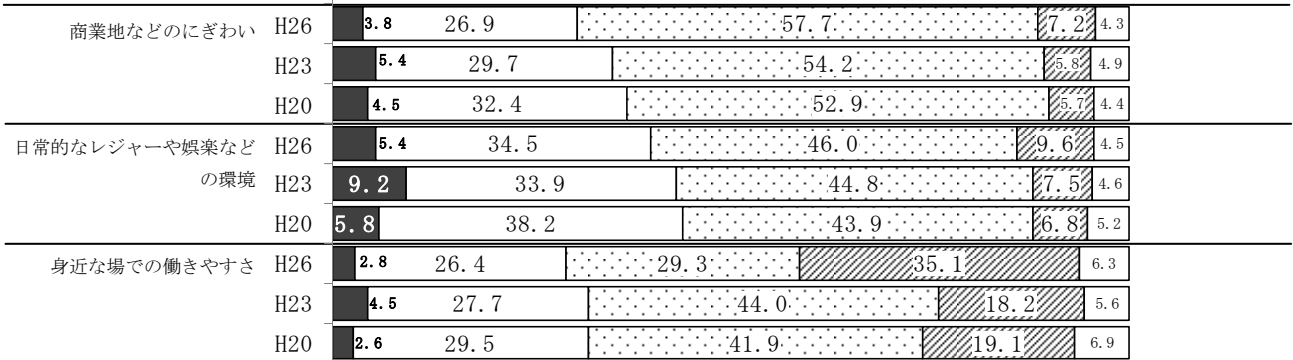


■満足 □普通 □不満 □わからない □不明・無回答

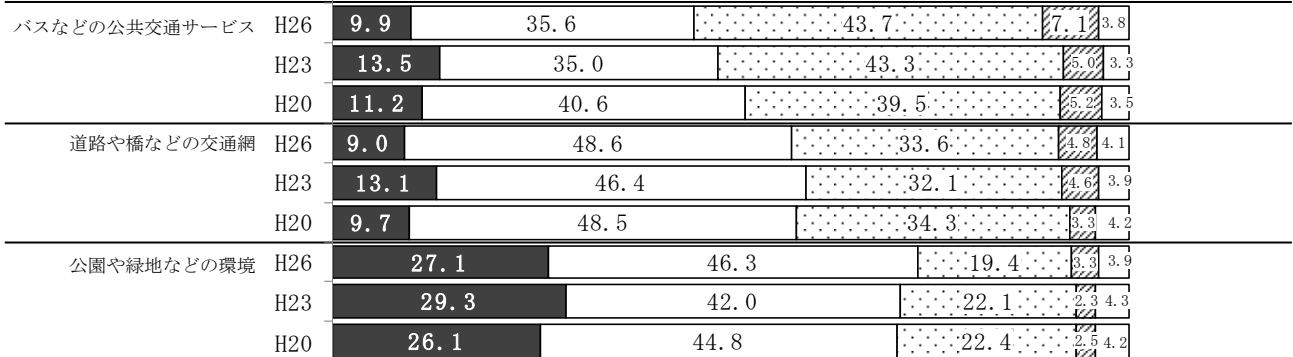
[安全・安心]



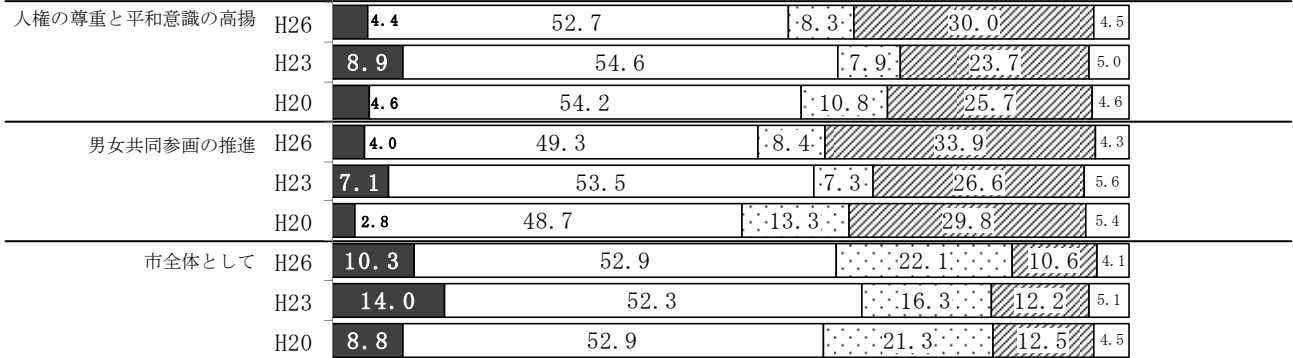
[産業の活性化]



[都市基盤の整備]

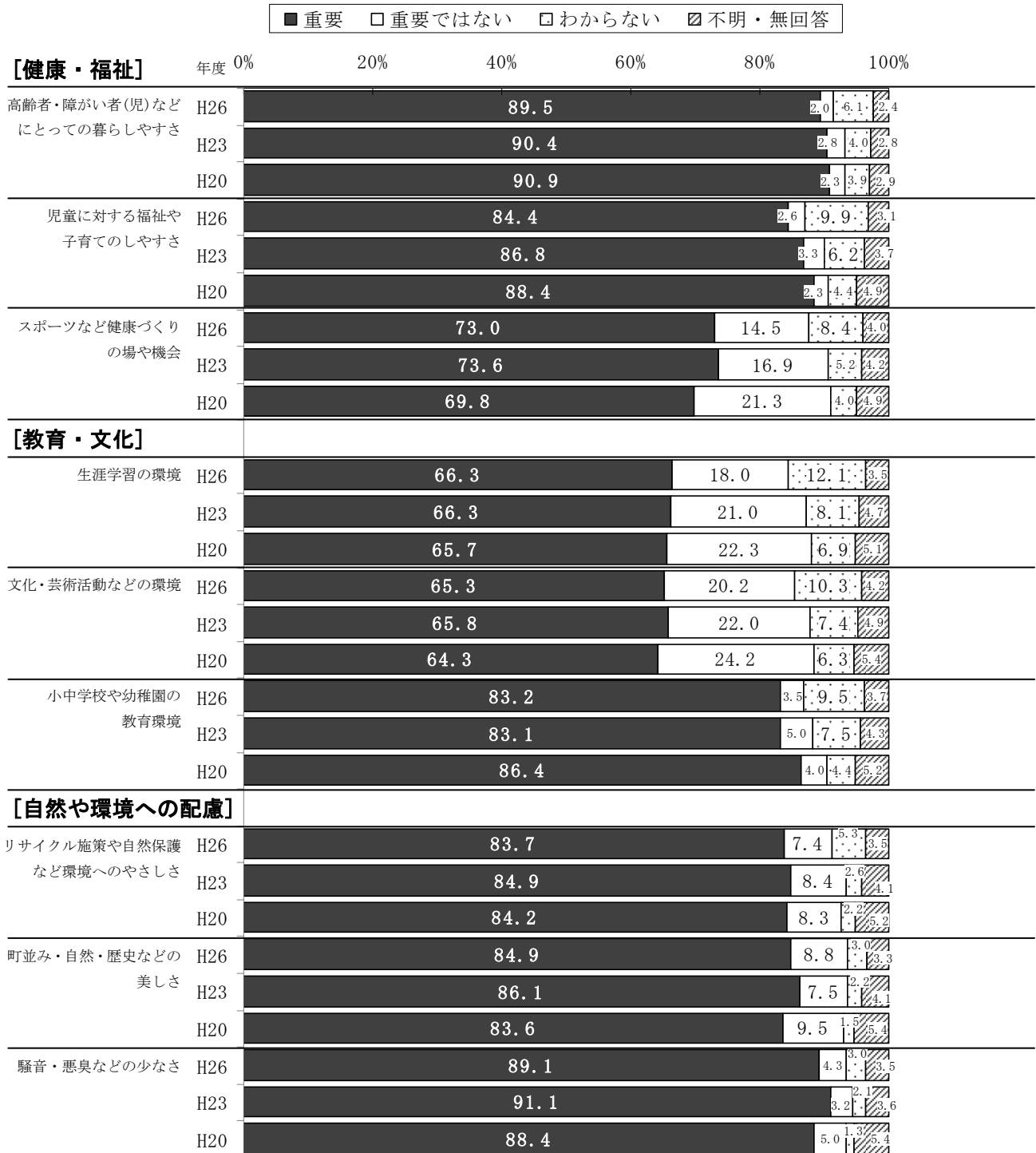


[人権・市全体]

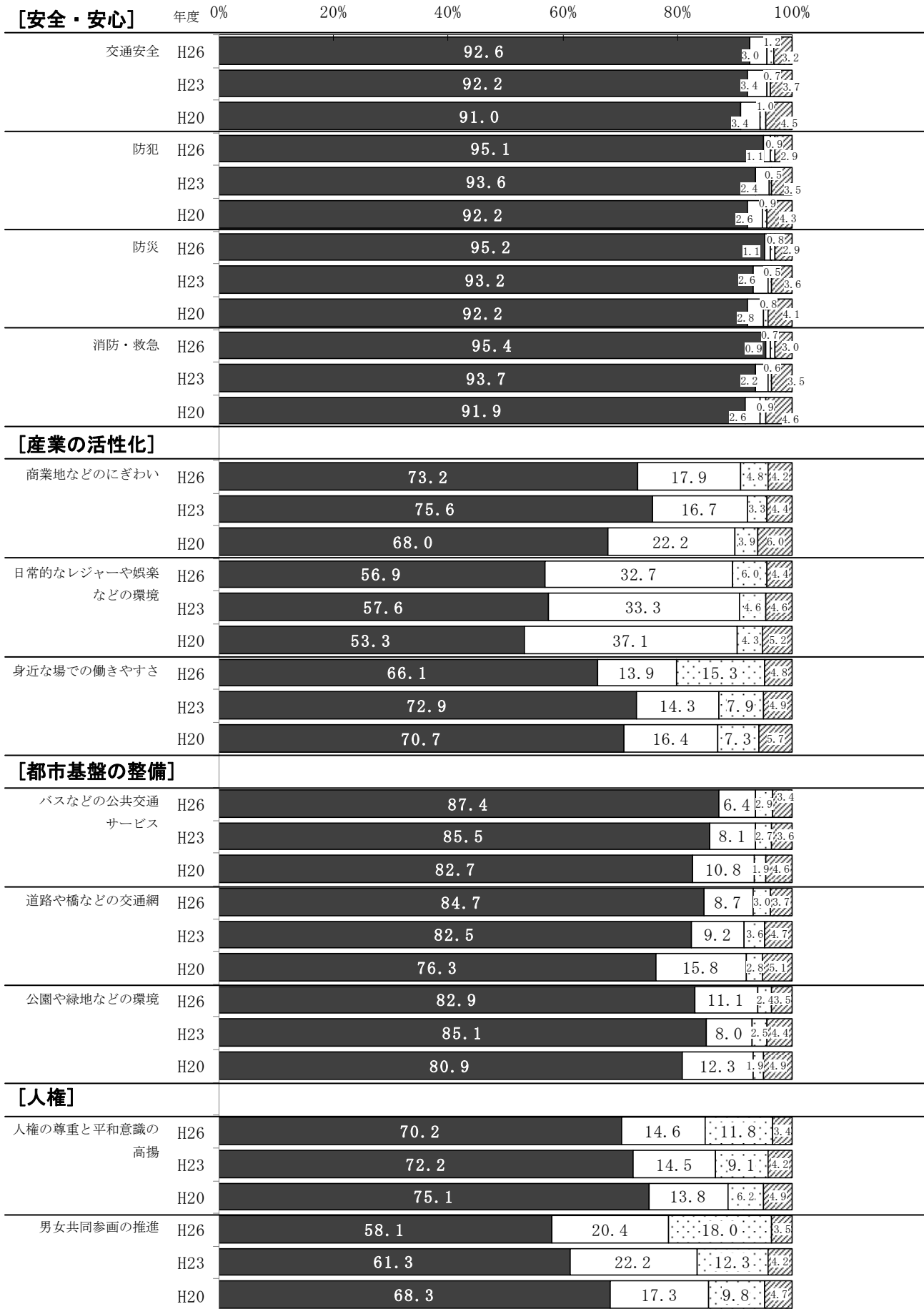


■重要度

河内長野市の生活環境の重要度について経年比較でみると、「バスなどの公共交通サービス」「道路や橋などの交通網」で上昇している。また、「安全・安心」の4項目においては重要度が常に90%台で、いずれも上昇している。



■重要 □重要ではない □わからない ▨不明・無回答



市政アンケート調査のお願い

市民のみなさんには、日頃から市政に対し、何かとご理解とご協力をご協力をたまわりありがとうございます。

さて、今年も「市民の声」を市政に反映するため、20歳以上の市民のみなさんの中から2,000人の方を無作為に選ばせていただき、アンケート調査を実施させていただきます。

今年も、2つのテーマ＜地域福祉＞と＜斎場整備＞について、市民のみなさんの率直なご意見を伺います。今後の各施策をすすめるうえでの参考資料にしたいと考えております。

アンケートの結果については、すべて統計的に処理し、報告書として市のホームページ、情報センターや図書館で閲覧していただくことができます。（報告書の公開は来年3月頃予定です。）また、この調査の目的以外には使用いたしません。

ご多忙の折とは存じますが、**8月8日（金）まで**にご回答くださいますよう、ご協力のほどお願い申し上げます。



平成26年7月

河内長野市長

ご記入にあたってのお願い

- このアンケート調査は個人を対象にしていますので、本人による記入が困難な場合を除き、封筒のあて名の方がご自身でご記入ください。
- 回答は問1から順に、質問ごとに用意してある答えの中から、あなたのお考えにあてはまる番号または項目に○をつけてください。また「その他」に○をつけられた場合は、()内に具体的に記入してください。
- 記入後は同封の返信用封筒に入れて封をし、名前を書かずに郵便ポストへご投函ください。切手は不要です。
- このアンケート調査についてのお問い合わせなどがありましたら、下記までご連絡ください。

＜お問い合わせ先＞ 設問 1～25 子ども・福祉部 生活福祉課
TEL: 53-1111 (内線 385・386)
設問 26～37 環境共生部 斎場整備課
TEL: 53-1111 (内線 561)
設問 38～49 総合政策部 都市魅力戦略課
TEL: 53-1111 (内線 421)

用語説明：このアンケートの中で使用される用語の内容は次のとおりです。

<p>福祉委員会 ※1 地域内に住む全ての住民が安心して暮らせるよう、住民が主体となって地域ぐるみできめ細やかな福祉活動を進めていく組織です。市内には15の地区(校区)福祉委員会があり、その中にはさらに小地域ごとの福祉委員会が活動しています。</p>	<p>地域まちづくり協議会 ※2 様々な地域課題の解決に向けて、自治会・町内会、各種地域団体、特定非営利活動法人、ボランティア団体及び事業者など多様な担い手が参加し、それぞれの特性を生かしながら、地域課題に主体的に対応するための組織で、市ではその活動を支援しています。小学校区を単位として設立を指しており、現在、7地区で協議会が活動されています。他地区でも設立に向け、準備がすすんでいます。</p>
<p>社会福祉協議会 ※3 社会福祉法第109条に基づき、市内の社会福祉事業者や社会福祉活動を行う者によって組織され、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間団体です。各種の福祉サービスの提供や、地域の福祉活動の支援などを行っています。</p>	<p>小地域ネットワーク活動 ※4 福祉委員会を中心となつて行っている個別援助活動(見守り・声かけなど)やグループ援助活動(子育てサロン、いきいきサロン、ふれあい食事会など)のことで、助けあい・支えあいによる福祉のまちづくりを進めています。</p>
<p>いきいきネット相談支援センター ※7 市内の公民館やコミュニティセンターなどの中にあり(現在7カ所)、支援を必要とする人を対象に福祉サービス全般に関する相談などに応じる窓口で、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が常駐しています。</p>	<p>民生委員・児童委員 ※5 民生委員は、厚生労働大臣からの委嘱を受けて、各地域において常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めるボランティアで、「児童委員」を兼ねています。 児童委員は、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援などを行います。</p>
<p>NPO ※6 Nonprofit Organization(非営利組織)の略で、ボランティア団体も含まれます。NPOのうち、特定非営利活動促進法に基づき設立認証された法人は「NPO法人」となります。</p>	<p>コミュニティソーシャルワーカー (CSW) ※8 制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組みするために、要援護者に対する個別支援や住民活動のコーディネートなどを行います。</p>

※ 1～※8の語句につきましては、ご案内文の裏面に用語説明があります。

I. あなたと地域とのかかわりについておうかがいします。

問1. あなたが「自分の地域」と感じておられるのはどの範囲ですか。(1つだけ○)

1. 自分が住んでいる市
2. 自分が住んでいる中学校区
3. 自分が住んでいる小学校区
4. 自分が属している町内会や自治会
5. わからない
6. その他(具体的に)

問2. 今お住まいの地域に対して、どのように感じておられますか。(1つだけ○)

1. 愛着を感じている
2. 少し愛着を感じている
3. あまり愛着を感じていない
4. まったく愛着を感じていない
5. わからない

▶問3. 「1. 愛着を感じている」「2. 少し愛着を感じている」とお答えの方におうかがいします。お住まいの地域に愛着を感じているのはどういうことですか。(1つだけ○)

1. 長い間住み続けて、なじみがあるから
2. 地域の人と親しくしているから
3. 親、きょうだいや親類がいるから
4. 地域の行事や活動が楽しいから
5. 静けさや緑が多いなど、環境がよいから
6. 治安がよいなど、安心して住めるから
7. 福祉サービスなどが充実しているから
8. その他(具体的に)

問4. あなたの近所づきあいの程度はどのようなものですか。(1つだけ○)

1. 近所の仲の良い人とよく行き来している
2. 会えば親しく話をする人がいる
3. あいさつ程度がほとんど
4. 近所づきあいをほとんどしていない

問5. あなたは近隣や地域ともっと深く関わりたいと思いますか。(1つだけ○)

1. もっと色々な関わりがしたい
2. 今のままでよい
3. 関わりを減らしたい
4. わからない

問6. お住まいの地域で行われている行事や活動の参加状況についておうかがいします。(それぞれの項目の該当する番号に1つだけ○)

	参加している	参加したことがある	参加しているが 参加したことはない	知らな いな は 該 当 な し
1. 地域の祭りや盆踊りなど	1	2	3	4
2. 町内会などの活動	1	2	3	4
3. 子ども会の活動	1	2	3	4
4. PTA活動	1	2	3	4
5. 青少年健全育成の活動	1	2	3	4
6. 福祉委員会の活動 ※1	1	2	3	4
7. 老人会の活動	1	2	3	4
8. 地域の防犯活動	1	2	3	4
9. 地域の防災活動	1	2	3	4

問7. あなたが現在一緒にお住まいのご家族の中に、次のような方(あなた自身も含みます)はおられますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 乳幼児(小学校入学前の子ども)
2. 小学生
3. 中学生
4. 高校生
5. 65歳以上の方
6. 介護を必要とする方
7. 障がいのある方
8. いずれもない

問8. あなたは、高齢者や子ども、障がいのいる方、その他のさまざまな社会的立場の弱い人々をとりまく地域の福祉課題に関心がありますか。(1つだけ○)

1. とても関心がある
2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない
4. まったく関心がない

問9. あなたは、地域の福祉課題に対し、住民相互の自主的な支えあい、助けあいの必要性についてどう思いますか。(1つだけ○)

1. とても必要だと思う
2. ある程度必要だと思う
3. あまり必要だとは思わない
4. まったく必要だとは思わない

問10. 問9の答えは以前(約5年前)と比べてどのように変化したと感じますか。(1つだけ○)

1. 必要性が強くなったと思う
2. 必要性が弱くなったと思う
- 3.かわらない

問11. あなたやご家族が日常生活で介助や支援が必要になった場合、近所の人などから手助けしてもらおうことについてどう思いますか。(1つだけ○)

1. ぜひお願いしたい
2. 少し抵抗感があるがお願いしたい
3. あまり手助けしてほしいとは思わない
4. 手助けは必要ない

問12. あなたやご家族が災害などのため、日常生活に支障が生じた場合、近所の人などから手助けしてもらおうことについてどう思いますか。(1つだけ○)

1. ぜひお願いしたい
2. 少し抵抗感があるがお願いしたい
3. あまり手助けしてほしいとは思わない
4. 手助けは必要ない

問13. 問12のような災害時に地域で助けあうことができよう、個人情報(住所、氏名、家族構成、連絡先など)を普段から地域で収集しておくことについてどう思いますか。(1つだけ○)

1. ぜひしておく必要がある
2. 少し抵抗感があるが必要である
3. あまり必要とは思わない
4. 必要ない
5. よくわからない

問14. あなたは地域や社会の課題解決に取り組む「地域まちづくり協議会」などの取組みに参加したことがありますか。(1つだけ○)

1. よく参加している
2. 時々参加している
3. 1回だけ参加した
4. あるのは知っているが参加したことがない
5. そのような集まりがあることを知らない

問15. ボランティア活動などについてお答えをお願いします。

(1) あなたは、過去1年間にボランティア活動に参加したことがありますか。また、今後の参加意向についてお答えください。(それぞれの項目の該当する番号に○)

	活動状況		今後の意向	
	と参加がある	と参加がない	と参加したい	と参加したくない
1. 近所の子どもの保育所などへの送迎など	1	2	1	2
2. 老人の話相手や身の回りや食事の世話など	1	2	1	2
3. 障がい者(児)の日常生活の介護など	1	2	1	2
4. ボランティア団体などに加入しての活動	1	2	1	2
5. 個人で福祉施設などで活動	1	2	1	2
6. その他(具体的に)	1	2	1	2

(2) 「参加したことがない」または「参加したくない」とお答えの方におうかがいします。その理由は何ですか。(3つまで○)

1. 学校、仕事、家事などが忙しく、時間が取れない
2. 時間や日にちの都合が合わない
3. 活動に関する情報が少ない、少ない
4. 活動したい気持はあるが、きっかけがつかめない
5. 小さな子どもや介護を必要とする家族がいる
6. 健康・体面に自信がない
7. 興味の持てる活動がない
8. 身近に活動グループや仲間がいない
9. 活動のための費用(交通費、食費など)がない
10. 活動する上での人間関係がわずらわしい
11. 活動のための資格、技術がない
12. 家族や職場の理解が得られない
13. その他(具体的に)

問16. あなたはこの1年で、市内の「地域やまちづくりの活動」にどの程度参加されましたか。(1つだけ○)

◆ 「地域やまちづくりの活動」とは、自治会・町内会、PTA、教育、青少年、環境、美化、福祉など、有償・無償を問わず、幅広く社会貢献活動のことを言います。

1. 週に2～3回以上
2. 週に1回程度
3. 月に1回程度
4. 年に数回程度
5. 年に1回程度
6. ほとんどない

問 17. あなたは、次のそれぞれについて、どのように感じていますか。各項目についてあなたのお考えに近い番号に○をつけてください。(それぞれの項目の該当する番号に○)

	非常に感じる	やや感じる	普通	あまり感じない	ほとんど感じない	わからない
1. 市内の地域やまちづくりの活動が充実している	1	2	3	4	5	6
2. 市民と行政の連携や・協働が進んでいる	1	2	3	4	5	6
3. 市民同士の連携や・協働が進んでいる	1	2	3	4	5	6

◆「協働」とは、市民・行政・事業者などが、お互いの立場を理解し、尊重し合いながら、対等な関係で、共通の目的を持って、まちづくりを進めることを言います。

Ⅱ. 地域の福祉サービスなどについてお考えをお願いします。

問 18. 高齢者・障がい者や子育て支援などの福祉サービスについてお考えをお願いします。

(1) あなたを含め、ご家族の中で最近 1 年間に福祉サービスを利用した方がおられますか。(1つだけ○)

1. 自分自身が利用した
2. 家族が利用した
3. 自分と家族の両方が利用した
4. 自分も家族も利用していない

-> (2) 「1. 自分自身が利用した」、「2. 家族が利用した」または「3. 自分と家族の両方が利用した」とお答えの方にお考えをお願いします。あなたやあなたのご家族が利用した福祉サービスに満足していますか。(1つだけ○)

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. 普通
4. やや不満である
5. 不満である

※³ 社会福祉協議会を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない
3. 知らない

※¹ 福祉委員会についてお考えをお願いします。

問 20. 福祉委員会についてお考えをお願いします。
(1) あなたがお住まいの小学校区に福祉委員会があることを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない
3. 知らない

※⁴
(2) あなたは、福祉委員会が中心となって行っている「小地域ネットワーク活動」を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない
3. 知らない

-> (3) 「1. 知っている」とお答えの方にお考えをお願いします。あなたは「小地域ネットワーク活動」のどのようなサービスを受けたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 見守り、声かけ訪問活動
2. 子育てサロン活動
3. いきいきサロン活動
4. 会食会などのふれあい食事サービス活動
5. 世代間交流活動
6. その他(具体的に)
7. 受けたことがない

※⁵

問 21. 民生委員・児童委員についてお考えをお願いします。

(1) あなたは民生委員・児童委員を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない
3. 知らない

-> (2) 「1. 知っている」とお答えの方にお考えをお願いします。あなたがお住まいの地域を担当している民生委員・児童委員をどの程度知っていますか。(1つだけ○)

1. 担当委員の顔や名前を知っている
2. 担当委員の名前を知っている
3. 誰か知らない

Ⅲ. 「つながり」などについておうかがいします。

問 22. あなたのお住まいの地域の中で高齢者や障がい者(児)の方が困っている場面にあった時、どのように対応されますか。(1つだけ○)

1. ためらわずに援助する
 2. 誰かが援助するのを待つ
 3. 見て見ぬふりをする
 4. わからない
 5. その他(具体的に)

問 23. 日頃の生活の中で、あなたの悩みや不安を感じていることについて、各項目ごとのように感じているか○をつけてください。(それぞれの項目の該当する番号に○)

	感じている	やや感じている	どちらともいえない	あまり感じていない	感じていない	自分には該当しない
1. 景気がよくないこと	1	2	3	4	5	6
2. 失業のおそれがあること	1	2	3	4	5	6
3. 職場の人間関係のこと	1	2	3	4	5	6
4. 会社の業績のこと	1	2	3	4	5	6
5. 仕事のやりがいのこと	1	2	3	4	5	6
6. 住宅の家賃やローンの支払い	1	2	3	4	5	6
7. 収入が少ないこと	1	2	3	4	5	6
8. 生活費の負担が大きいかこと	1	2	3	4	5	6
9. 貯蓄や年金など将来の生活に対する蓄えのこと	1	2	3	4	5	6
10. 自分の生きがいのこと	1	2	3	4	5	6
11. 自分や家族の健康のこと	1	2	3	4	5	6
12. 自分や家族の老後のこと	1	2	3	4	5	6
13. 子どもの教育や将来のこと	1	2	3	4	5	6
14. 家族の人間関係	1	2	3	4	5	6
15. 家族や親の介護のこと	1	2	3	4	5	6
16. 人権や差別の問題	1	2	3	4	5	6
17. 地域の治安のこと	1	2	3	4	5	6
18. 地域の間関係のこと	1	2	3	4	5	6
19. 災害などのこと	1	2	3	4	5	6
20. 生活環境の保全や環境問題のこと	1	2	3	4	5	6

問 24. 悩みや不安の相談先などについておうかがいします。

(1) あなたは、福祉関係での悩みや不安で困った時に相談機関で相談したことがありますか。

1. ある
 2. ない

(2) 「1. ある」とお答えの方におうかがいします。

→ a) 最初に相談した相談機関はどこですか。(1つだけ○)

1. 町内会や自治会などの役員
 2. 民生委員・児童委員 ※5
 3. 福祉委員会 ※1
 4. 自治体や公共施設の相談窓口
 5. 民間の相談機関
 6. 社会福祉協議会
 ※6
 7. NPO(ボランテニア団体含む)
 8. 病院などの医療機関
 9. 支援センターや介護・保健施設など
 10. その他(具体的に)

→ b) どの程度、その相談機関で相談しましたか。(1つだけ○)

1. よく相談した
 2. ときどき相談した
 3. たまに相談した

→ c) その相談機関についてどのような印象をもたれましたか。(1つだけ○)

1. 気軽に相談にのってくれた
 2. 必ずしも気軽にという印象ではなかった
 3. 気軽に相談にのってくれなかった

(3) みなさんにおうかがいします。あなたは市内の公民館やコミュニティセンター内にある※7「いきいきネット相談支援センター」のことを知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っていて何度か相談したことがある
 2. 知っていて1回だけ相談したことがある
 3. 知っているが相談したことはない
 4. 知らない

(4) あなたは「いきいきネット相談支援センター」に常駐して、地域の相談に対応するコミ ュニティソーシャルワーカー(CSW)を知っていますか。(1つだけ○)

1. 知っている
 2. 名前を聞いたことはあるが、よく知らない
 3. 知らない

問 25. あなたのお宅では、家族の団らんなどの時間は、平均して平日(月～金)1日につきどれくらいですか。(1つだけ○)

1. 30分未満
 2. 30分～1時間未満
 3. 1時間～2時間未満
 4. 2時間～3時間未満
 5. 3時間以上
 6. ほどんどない(またはほとんど暮らし)

問 37. あなたは新しい斎場の設備や費用について、どのようにお考えですか。
(1つだけ○)

1. 極力費用をかけずに、民間に任せられる機能はすべて取り除いた、火葬機能を中心とした今より簡素な施設がよい
2. 現斎場と同程度の機能(1時間程度の小規模な告別式のみ可能)を備え、コスト面に配慮した施設がよい
3. 使用料の大幅値上げを行ってでも、通夜・会食など葬儀全般に対応できる施設がよい
4. 多額のコストをかけてでも、人生の最後を飾る豪華な施設にするのがよい
5. その他()

V. 市政全般に関連した内容についておうかがいします。

問 38. あなたは、現在の河内長野市の生活環境についてどの程度満足されていますか。
次の各項目についてあなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
1. 高齢者・障がい者(児)などにとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6
2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ	1	2	3	4	5	6
3. スポーツなど健康づくりの場や機会	1	2	3	4	5	6
4. 1～3を含めたまち全体としての「健康・福祉」について	1	2	3	4	5	6
5. 生涯学習の環境	1	2	3	4	5	6
6. 文化・芸術活動などの環境	1	2	3	4	5	6
7. 小中学校や幼稚園の教育環境	1	2	3	4	5	6
8. 5～7を含めたまち全体としての「教育・文化」について	1	2	3	4	5	6
9. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	1	2	3	4	5	6
10. 町並み・自然・歴史などの美しさ	1	2	3	4	5	6
11. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5	6
12. 9～11を含めたまち全体としての「自然や環境への配慮」について	1	2	3	4	5	6
13. 交通安全	1	2	3	4	5	6
14. 防犯	1	2	3	4	5	6
15. 防災	1	2	3	4	5	6
16. 消防・救急	1	2	3	4	5	6

	非常に満足	やや満足	普通	やや不満	非常に不満	わからない
17. 13～16を含めたまち全体としての「安全・安心」について	1	2	3	4	5	6
18. 商業地などのにぎわい	1	2	3	4	5	6
19. 日常的なレジャーや娯楽などの環境	1	2	3	4	5	6
20. 身近な場での働きやすさ	1	2	3	4	5	6
21. 18～20を含めたまち全体としての「産業の活性化」について	1	2	3	4	5	6
22. バスなどの公共交通サービス	1	2	3	4	5	6
23. 道路や橋などの交通網	1	2	3	4	5	6
24. 公園や緑地などの環境	1	2	3	4	5	6
25. 22～24を含めたまち全体としての「都市基盤の整備」について	1	2	3	4	5	6
26. 人権の尊重と平和意識の高揚	1	2	3	4	5	6
27. 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	6
28. 市全体として	1	2	3	4	5	6

問 39. あなたは、次のそれぞれについて、どの程度重要だと思われるか。各項目についてあなたのお考えに最も近い番号に○をつけてください。

	非常に重要	やや重要	あまり重要ではない	重要でない	わからない
1. 高齢者・障がい者(児)などにとっての暮らしやすさ	1	2	3	4	5
2. 児童に対する福祉や子育てのしやすさ	1	2	3	4	5
3. スポーツなど健康づくりの場や機会	1	2	3	4	5
4. 生涯学習の環境	1	2	3	4	5
5. 文化・芸術活動などの環境	1	2	3	4	5
6. 小中学校や幼稚園の教育環境	1	2	3	4	5
7. リサイクル施策や自然保護など環境へのやさしさ	1	2	3	4	5
8. 町並み・自然・歴史などの美しさ	1	2	3	4	5
9. 騒音・悪臭などの少なさ	1	2	3	4	5
10. 交通安全	1	2	3	4	5

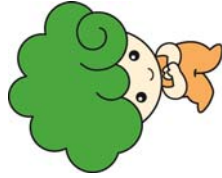
問 48. あなたのお宅では以前（約5年前）と比べて生活状況はどうか変わりましたか。
（1つだけ○）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 良くなった | 2. かわらない |
| 3. やや苦しくなった | 4. 大変苦しくなった |

問 49. 住んでおられる地区は、次のどれに該当しますか。記入例を参考に地区名を1つ選び、右側の囲み内のあてはまる町名に○をつけてください。

[記入例]

地区名	町名
⑨ 千代田地区	市町、木戸町、 木戸東町 、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町
地区名	町名
1 天野地区	天野町、下里町、緑ヶ丘北・中・南町
2 天見地区	天見、岩瀬、清水、流谷
3 小山田地区	小山田町、荘園町、千代田台町
4 加賀田地区	大矢船北・中・南・西町、加賀田、唐久谷、南ヶ丘
5 石仏地区	石仏、北・南青葉台
6 川上地区	石見川、太井、神ガ丘、河合寺、清見台1～5丁目、小深、寺元、鳩原、大師町、日東町
7 楠地区	あかしあ台1・2丁目、北・南真望ヶ丘、桐ヶ丘、楠町東・西、自由ヶ丘、松ヶ丘東・中・西町、木戸西町1～3丁目
8 高向地区	旭ヶ丘、滝畑、高向、日野
9 千代田地区	市町、木戸町、木戸東町、木戸1～3丁目、汐の宮町、千代田南町、向野町
10 長野地区	上原町、上原西町、菊水町、奏町、柴町、昭栄町、未広町、長野町、錦町、西代町、西之山町、野作町、原町、原町1～6丁目、古野町、本多町、本町
11 南花台地区	南花台1～8丁目
12 美加の台地区	美加の台1～7丁目
13 三日市地区	上田町、小塩町、中・西・東片添町、喜多町、楠ヶ丘、三日市町



※ お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。※

平成 26 年度
第 41 回 河内長野市民意識調査
＜地域福祉＞と＜斎場整備＞について

発行 河内長野市
発行年月日 平成 27 年（2015 年）1 月